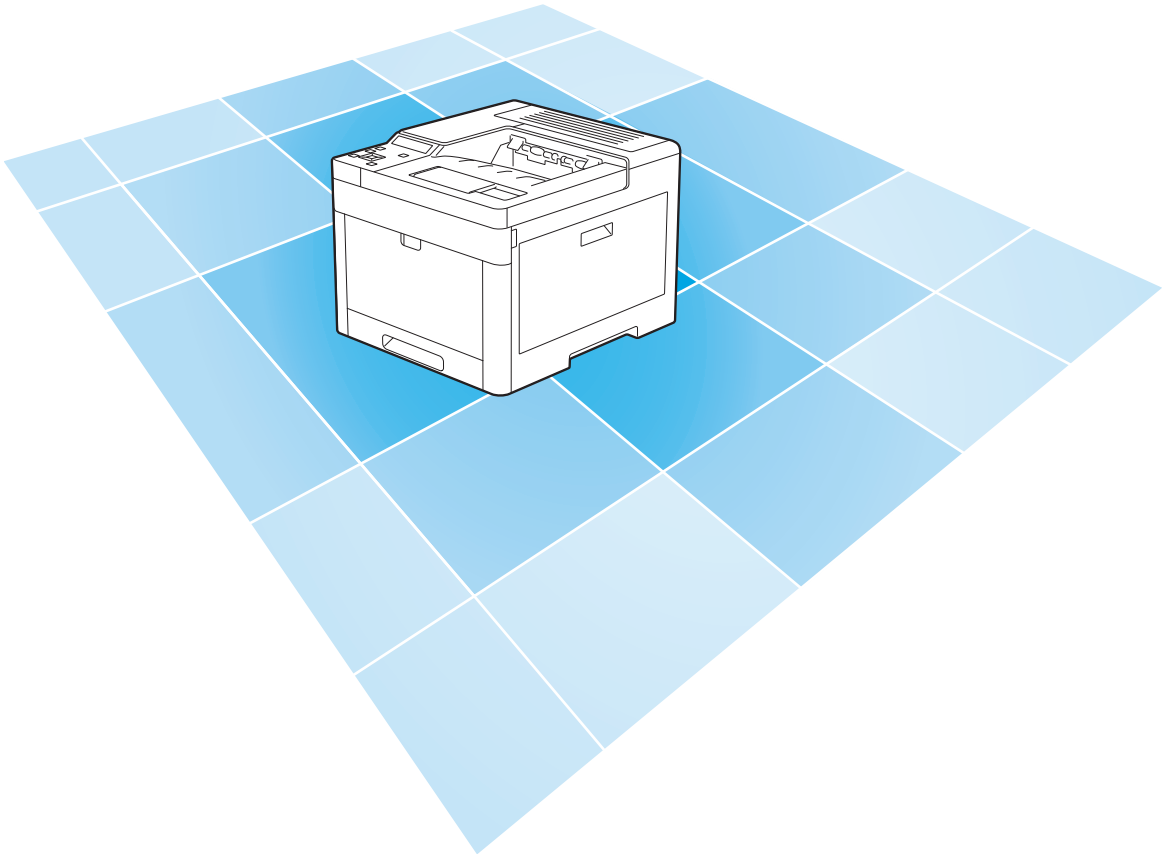
NEC

ColorMultiWriter 5850C
ColorMultiWriter 5800C

カラーページプリンタ



ユーザーズマニュアル

ME7957J9-3(第1版)
2017年9月

Microsoft、Windows Vista、Windows、Windows Server、およびInternet Explorer は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Bonjour、iPad、iPhone、Mac OS、OS Xは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

AirPrintおよびAirPrintロゴは、Apple Inc.の商標です。

Google、Google Chrome、Google Cloud Print、Google Play、およびAndroidは、Google Inc.の登録商標または商標です。

RSAおよびBSAFEは、EMCコーポレーションの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他の社名、または商品名等は各社の登録商標または商標です。

Microsoft Corporation の許可を得て画面写真を使用しています。

RSA BSAFEについて
本機は、EMCコーポレーションのRSA® BSAFE®ソフトウェアを搭載しています。

この取扱説明書のなかで⚠と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。

プリンターで紙幣を印刷したり、有価証券などを不正に印刷すると、その印刷物を使用するかどうかにかかわらず、法律に違反し罰せられます。

コンピューターウイルスや不正侵入などによって発生した障害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ご注意

1 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。

2 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

3 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。

4 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。

5 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。また、安全法規制(電波規制や材料規制など)は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

NEC、NECロゴは、日本電気株式会社の登録商標です。
MULTIWRITERおよびCentreWare は、米国ゼロックス社または富士ゼロックス株式会社の登録商標または商標です。

はじめに

このたびはColor MultiWriter 5850C/Color MultiWriter 5800C（以降、本機と呼びます）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書には、本機の操作方法および使用上の注意事項を記載しています。本機の性能を十分に発揮させ効果的にご利用いただくために、本書を最後までお読みください。
なお、本書の内容は、お使いのパーソナルコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。お使いのパーソナルコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法については、パーソナルコンピューター、オペレーティングシステム、ネットワークシステムなどに付属の説明書をお読みください。
本書は、読み終わったあとも必ず保管してください。本機をご使用中に、操作でわからないことや不具合が出たときに読みなおしてご活用いただけます。

日本電気株式会社

目次

はじめに 3

1 お使いいただく前に 7

1.1 マニュアル体系 8
1.1.1 本機に付属するマニュアル 8
1.1.2 オプション製品に付属するマニュアル 8
1.2 本書の使いかた 9
1.2.1 本書の構成 9
1.2.2 本書の表記 10
1.3 各部の名称 11
1.3.1 前面／内部／背面 11
1.3.2 操作パネル 14

2 本機のセットアップ 15

2.1 Wi-Fiアダプターを取り付ける 16
2.2 電源について 17
2.2.1 電源を入れる 17
2.2.2 電源を切る 18
2.3 本機をコンピューターと接続する 19
2.3.1 概要 19
2.3.2 無線 LAN で接続する 20
2.3.3 有線 LAN で接続する 22
2.3.4 USB で接続する 22
2.3.5 Windows® 用のソフトウェアをインストールする 22
2.3.6 Mac 用のソフトウェアをインストールする 26
2.3.7 Linux 用のプリンタードライバーをインストールする 28
2.4 IPアドレスを設定する 29
2.4.1 IP アドレスを設定する 29
2.4.2 ネットワーク設定を確認する 30

3 本機の基本操作 31

3.1 操作パネルを使用する 32
3.1.1 パネル操作を制限する 32
3.2 本機の設定メニューについて 34
3.2.1 [接続中の機器] 34
3.2.2 [レポート / リスト] 34
3.2.3 [メーター] 35
3.2.4 [管理者設定] 35
3.2.5 [トレイ設定] 49
3.2.6 [言語設定] 50
3.3 節電機能について 51
3.3.1 節電状態に移行する 51
3.3.2 節電機能の種類 51
3.3.3 節電状態に移行する時間を変更する 51
3.3.4 節電状態から復帰する 51
3.4 用紙について 52
3.4.1 弊社推奨の用紙 52
3.4.2 各トレイで使用できる用紙 52
3.4.3 用紙の保管と取り扱い 55
3.5 用紙をセットする 56
3.5.1 トレイ 1 とトレイモジュール（トレイ 2）（オプション）に用紙をセットする 56

3.5.2 手差しトレイに用紙をセットする 58
3.5.3 はがき、往復はがきをセットする 60
3.5.4 封筒をセットする 62

4 プリント 64
4.1 コンピューターからプリントする 65
4.2 プリントを中止する 66
4.2.1 操作パネルで中止する 66
4.2.2 コンピューターで中止する 66
4.3 カラープリントジョブを白黒でプリントする 67
4.4 蓄積プリント 68
4.4.1 概要 68
4.4.2 蓄積プリントをする 68

5 スマートフォン／タブレットからのプリント 70
5.1 本機をスマートフォン／タブレットと接続する 71
5.1.1 Wi-Fi で接続する 71
5.1.2 Wi-Fi Direct で接続する 71
5.2 Print Utilityを使ってプリントする 74
5.3 その他のサービスを利用する 75
5.3.1 AirPrint 75
5.3.2 Google クラウド プリント 76
5.3.3 Mopria プリントサービス 78

6 便利な使いかた 80
6.1 CentreWare Internet Services 81
6.1.1 Web ブラウザーの設定 81
6.1.2 CentreWare Internet Services を起動する 82
6.1.3 ユーザー認証とセキュリティー 83
6.2 本機のソフトウェア 84
6.2.1 概要 84
6.2.2 ソフトウェアをアップデートする 84

7 セキュリティー機能 85
7.1 プリント集計管理 86
7.1.1 概要 86
7.1.2 登録ユーザーだけにプリントを許可する 87
7.1.3 登録ユーザーごとにプリントの利用を制限する 89
7.1.4 アカウント情報を持たないジョブのプリントを許可する 95
7.1.5 プリントの利用状況を確認する 96
7.2 暗号化機能を使う 97
7.2.1 事前準備をする 97
7.2.2 暗号化機能を設定する 101

8 日常管理 103
8.1 消耗品を交換する 104
8.1.1 トナーカートリッジを交換する 104
8.1.2 ドラムカートリッジを交換する 106
8.1.3 トナー回収ボトルを交換する 111
8.2 清掃する 114
8.2.1 本体外部を清掃する 114
8.2.2 ディスプレイを清掃する 114
8.2.3 本体内部を清掃する 114
8.3 出力したページ数を確認する 124

8.3.1 メーター別に確認する 124
8.3.2 ユーザー別に確認する 124

9 困ったときには 125

9.1 紙詰まりに対処する 126
9.1.1 用紙が詰まった場合 126
9.2 トラブルを解決する 133
9.2.1 メニュー設定のトラブル 133
9.2.2 プリントのトラブル 133
9.2.3 画質のトラブル 135
9.2.4 電子証明書のトラブル 150
9.2.5 無線 LAN 接続のトラブル 151
9.2.6 Wi-Fi Direct のトラブル 151
9.2.7 トレイモジュール（トレイ 2）（オプション）のトラブル 152
9.2.8 その他のトラブル 153
9.3 エラーコードが表示されたら 154
9.4 修理に出す前に 156
9.4.1 修理依頼について 156

付録 157

主な仕様 158
保証について 162
保証書について 162
保守サービスについて 162
プリンターの耐久性について 163
消耗品の寿命について 164
補修用性能部品について 165
情報サービスについて 165
本機を移動する 168
オプション製品とWi-Fiアダプターを取り外す 169
トレイモジュール（トレイ 2）（オプション）を取り外す 169
専用キャビネット（オプション）を取り外す 170
トレイモジュール（トレイ 2）（オプション）と専用キャビネット（オプション）を取り外す 172
専用キャスター台（オプション）を取り外す 176
Wi-Fi アダプターを取り外す 179
最新のソフトウェアを入手する 181
本機のファームウェアを更新する 182

1　お使いいただく前に

1.1　マニュアル体系 8
1.2　本書の使いかた 9
1.3　各部の名称 11

1.1 マニュアル体系

1.1.1 本機に付属するマニュアル

はじめにお読みください

本機の設置手順や本機を安全にご使用いただくための注意事項などについて説明しています。

ユーザーズマニュアル（本書）（「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスク）

プリント機能の操作方法や、操作パネルのメニュー項目、トラブルの対処方法、日常の管理方法などについて説明しています。

1.1.2 オプション製品に付属するマニュアル

本機ではオプション製品をご用意しています。製品によっては設置手順などを説明したマニュアルが付属しています。

1.2 本書の使いかた

本書は、本機を初めてお使いになるかたを対象に、プリント機能の操作方法などについて説明しています。

補足

・本書では特に断りのない限り、コンピューターを使った手順ではMicrosoft® Windows® 7およびOS X 10.11を例に説明しています。

1.2.1 本書の構成

本書は、次の章で構成されています。

1 お使いいただく前に (P.7)

操作の前に知っていただきたい本機の基本的な情報について説明しています。

2 本機のセットアップ (P.15)

本機とコンピューターおよびネットワークの接続方法や、ソフトウェアのインストール方法について説明しています。

3 本機の基本操作 (P.31)

本機の画面、使用できる用紙、用紙のセット方法について説明しています。

4 プリント (P.64)

プリント機能の使いかたについて説明しています。

5 スマートフォン／タブレットからのプリント (P.70)

本機とモバイル機器の接続方法や、モバイル機器からのプリント方法について説明しています。

6 便利な使いかた (P.80)

本機に付属するソフトウェアや応用機能について説明しています。

7 セキュリティー機能 (P.85)

電子証明書を使ったデータの暗号化機能などセキュリティー機能について説明しています。

8 日常管理 (P.103)

本機の清掃など日常のお手入れについて説明しています。

9 困ったときには (P.125)

トラブルの対処方法について説明しています。

付録 (P.157)

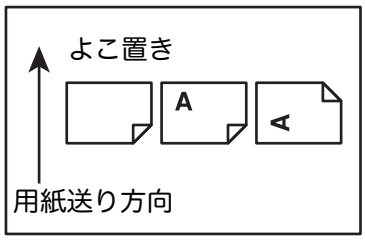
本機の仕様やサポート情報について説明しています。

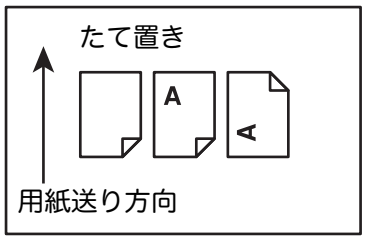
1.2.2　本書の表記

- 本書中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。
- お客様の設定内容によっては、本書に掲載している画面が実際の画面と異なる場合があります。
- 本書では、説明する内容に応じて、次のマークや記号を使用しています。

注記	操作の前に知っていただきたいことや、注意していただきたい重要事項を記述しています。
補足	補足事項を記述しています。
参照	参照先を記述しています。
「　」	・本書内にある参照先を表しています。 ・DVD-ROMや機能の名称、ディスプレイのメッセージ、入力文字などを表しています。
『　』	参照するマニュアルを表しています。
[　]	・本機のディスプレイに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。 ・コンピューターの画面に表示されるメニュー、ウインドウ、ダイアログボックスなどの名称と、それらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。
〈　〉	操作パネル上のハードウェアボタンを表しています。
＞	操作パネルやコンピューターで順に項目を選ぶ手順を、省略して表しています。

- 本文中では、原稿または用紙の向きを、次のように表しています。
  よこ置き：本機正面から見て、原稿や用紙をよこ長にセットした状態を表しています。
  たて置き：本機正面から見て、原稿や用紙をたて長にセットした状態を表しています。

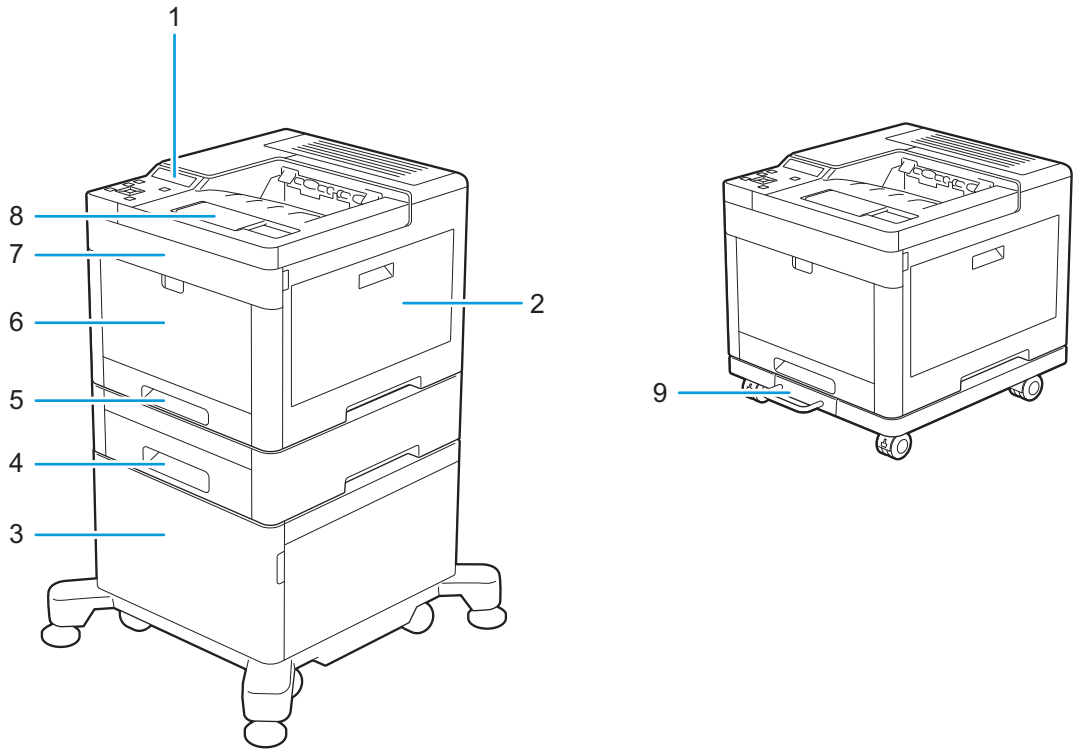




1.3 各部の名称

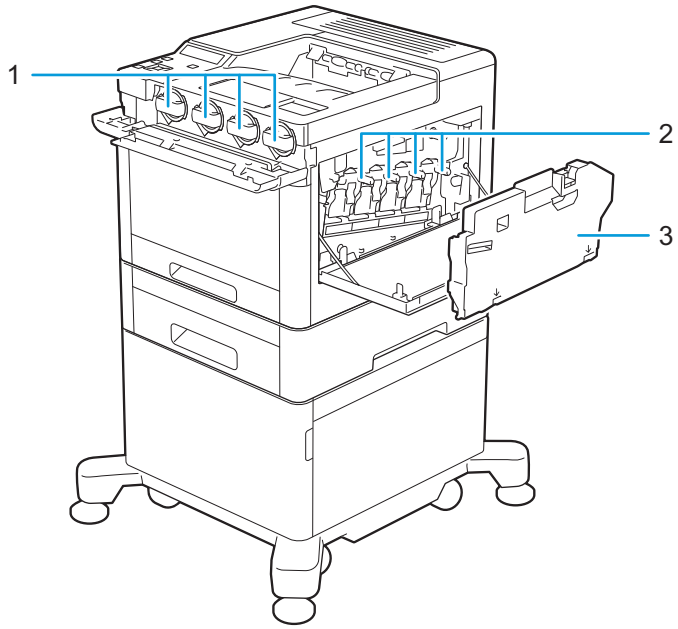
1.3.1 前面／内部／背面

前面



1	操作パネル	6	手差しトレイ
2	右サイドカバー	7	フロントカバー
3	専用キャビネット（オプション）	8	排出延長トレイ
4	トレイモジュール（トレイ2）（オプション）	9	専用キャスター台（オプション）
5	トレイ1		

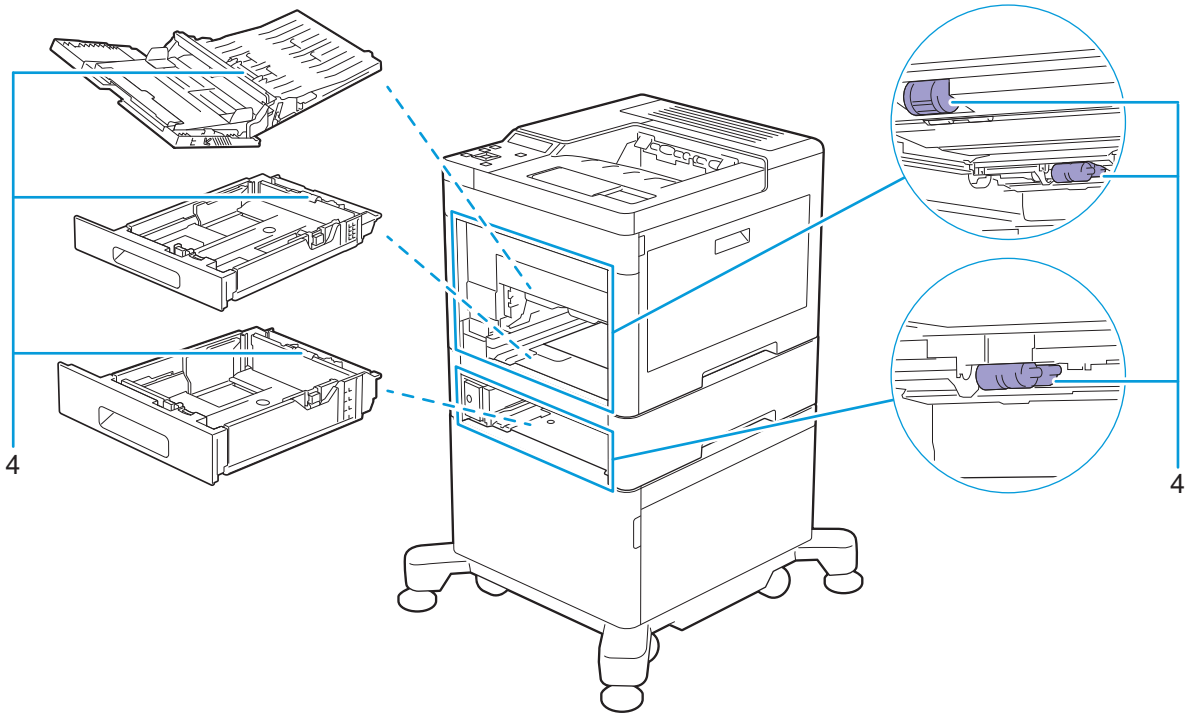
内部



1	トナーカートリッジ
2	ドラムカートリッジ
3	トナー回収ボトル

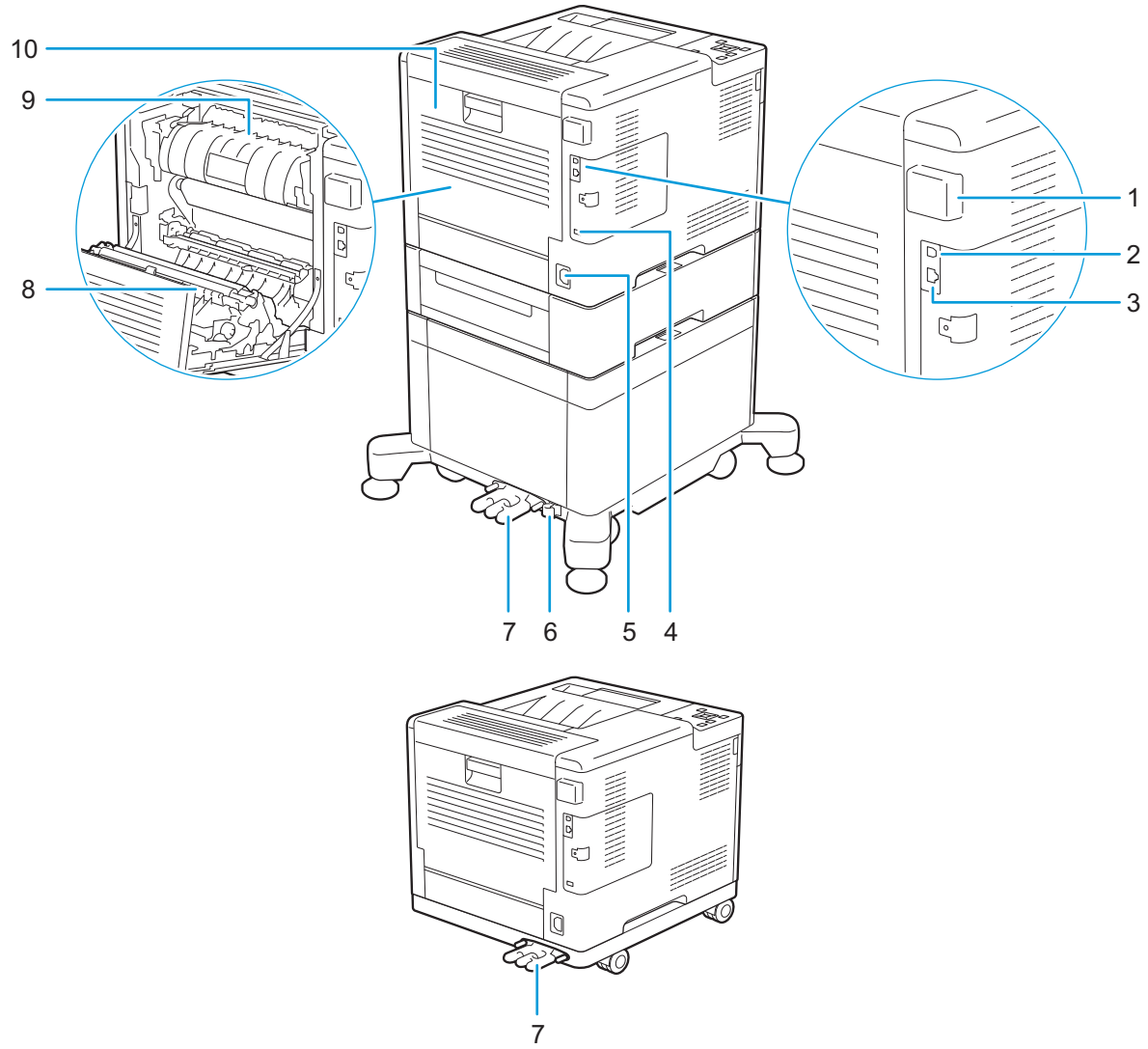
補足

・本機の動作中はトナーカートリッジを出し入れしないでください。



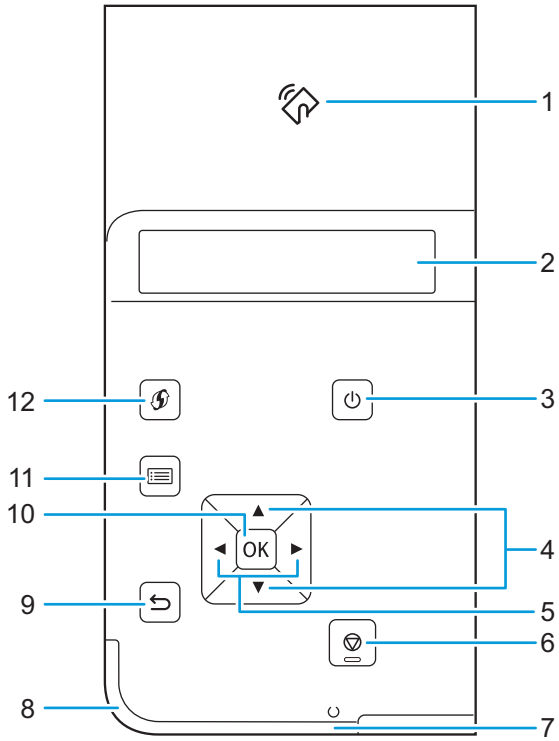
4	用紙送りローラー

背面



1	Wi-Fiアダプター	6	ケーブル固定具
2	USBインターフェイスコネクター	7	ケーブルフック
3	イーサネットインターフェイスコネクター	8	両面プリントユニット
4	ケンジントンロックスロット	9	定着ユニット
5	電源コード挿入口	10	背面カバー

1.3.2　操作パネル



1	〈NFCタッチエリア〉	モバイル機器をかざすと、本機とモバイル機器がNFC機能で通信を開始します。
2	ディスプレイ	各種設定、指示、エラーメッセージを表示します。
3	〈電源〉ボタン	・本機の電源を入れる／切るときに押します。 ・節電状態を解除するとき、または節電状態にするときに押します。本機が節電状態に入るとゆっくり点滅します。 **参照** ・電源を入れる／切る方法については、「電源について (P.17)」を参照してください。 ・節電機能については、「節電機能について (P.51)」を参照してください。
4	▲ ▼ボタン	メニューモードのメニューまたは設定値をスクロールします。数字またはパスワードの入力に使用します。
5	◀ ▶ボタン	メニューモードでサブメニューまたは設定値を選びます。
6	〈プリント中止〉ボタン	プリントジョブを中止、または入力した文字や数字を消去します。
7	プリント可ランプ	本機の待機時は点灯し、データの処理時は点滅します。
8	状態表示ランプ	・モバイル機器から識別信号を受信したときに青色に点滅します。 ・エラーが発生するとオレンジ色に点滅します。
9	〈戻る〉ボタン	ひとつ前の画面に戻ります。
10	OKボタン	選んだメニューや項目を表示したり、選んだ設定値を確定したりします。
11	〈メニュー〉ボタン	トップメニューに移動します。
12	〈WPS〉ボタン	Wi-Fi Protected Setup (PBC方式)による無線ネットワークへの接続設定を開始します。

2 本機のセットアップ

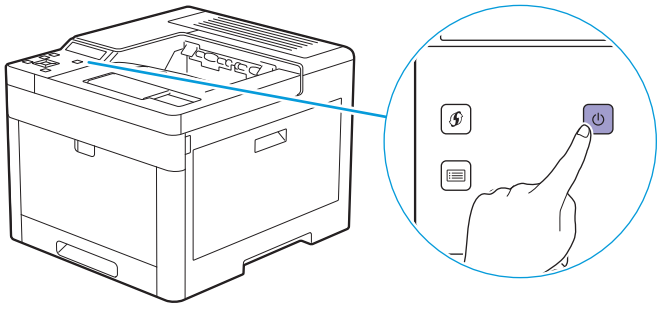
2.1 Wi-Fi アダプターを取り付ける 16
2.2 電源について 17
2.3 本機をコンピューターと接続する 19
2.4 IP アドレスを設定する 29

2.1 Wi-Fiアダプターを取り付ける

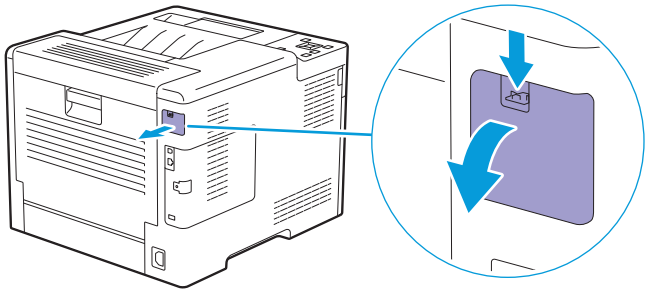
1. 本機の電源を切ります。

参照

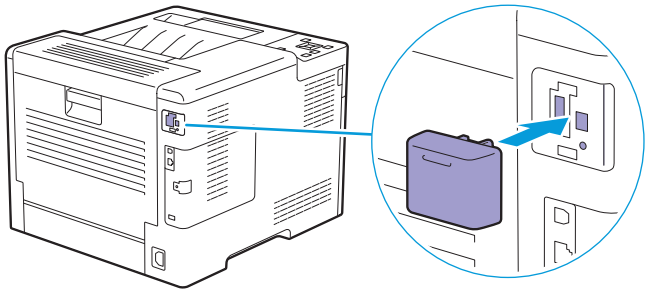
・電源を切る方法については、「電源を切る (P.18)」を参照してください。



2. Wi-Fiアダプターソケットのカバーを、ラッチを押し下げて取り外します。



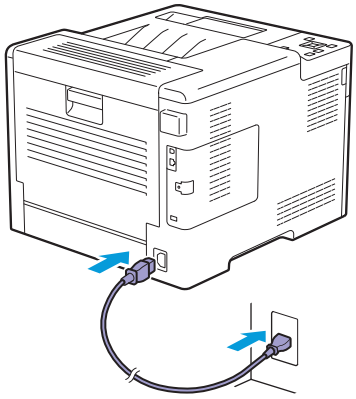
3. Wi-FiアダプターのコネクターをWi-Fiアダプターソケットに差し込みます。



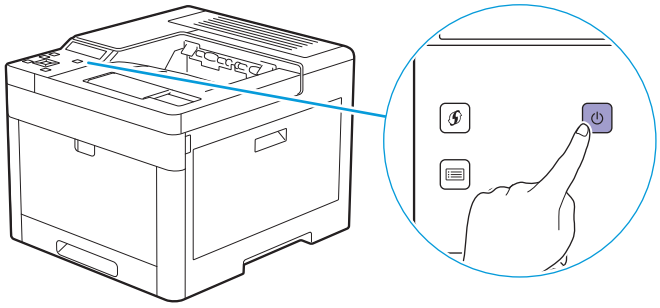
2.2 電源について

2.2.1 電源を入れる

1. 電源コードを本機背面の電源コード挿入口に接続したあと、電源コンセントに差し込みます。



2. ⏻〈電源〉ボタンを押します。

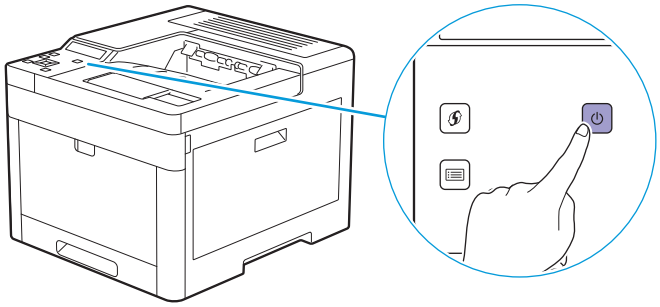


2.2.2　電源を切る

注記

・本機の電源を切るとメモリー内のデータは消去されます。

1. **⏻〈電源〉ボタンを押します。**



2. **ディスプレイに［電源オフ］が表示されていることを確認し、OKボタンを押します。**

補足

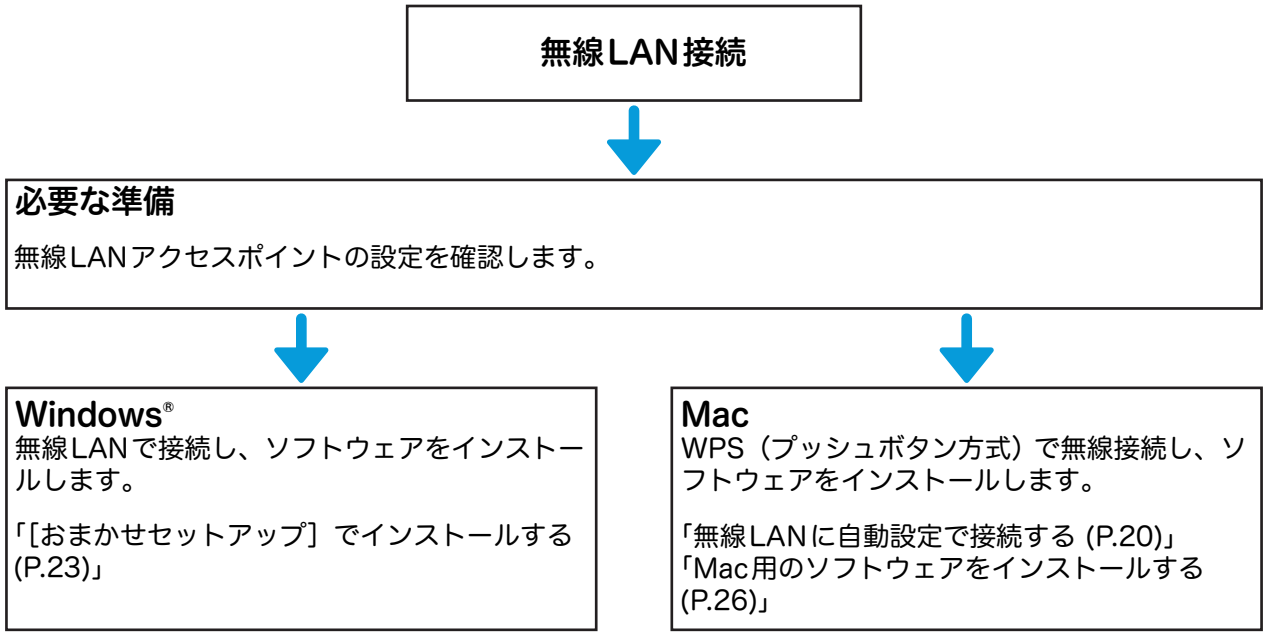
・ ⏻〈電源〉ボタンを3秒以上長押しすると本機の電源を直接切ることができます。

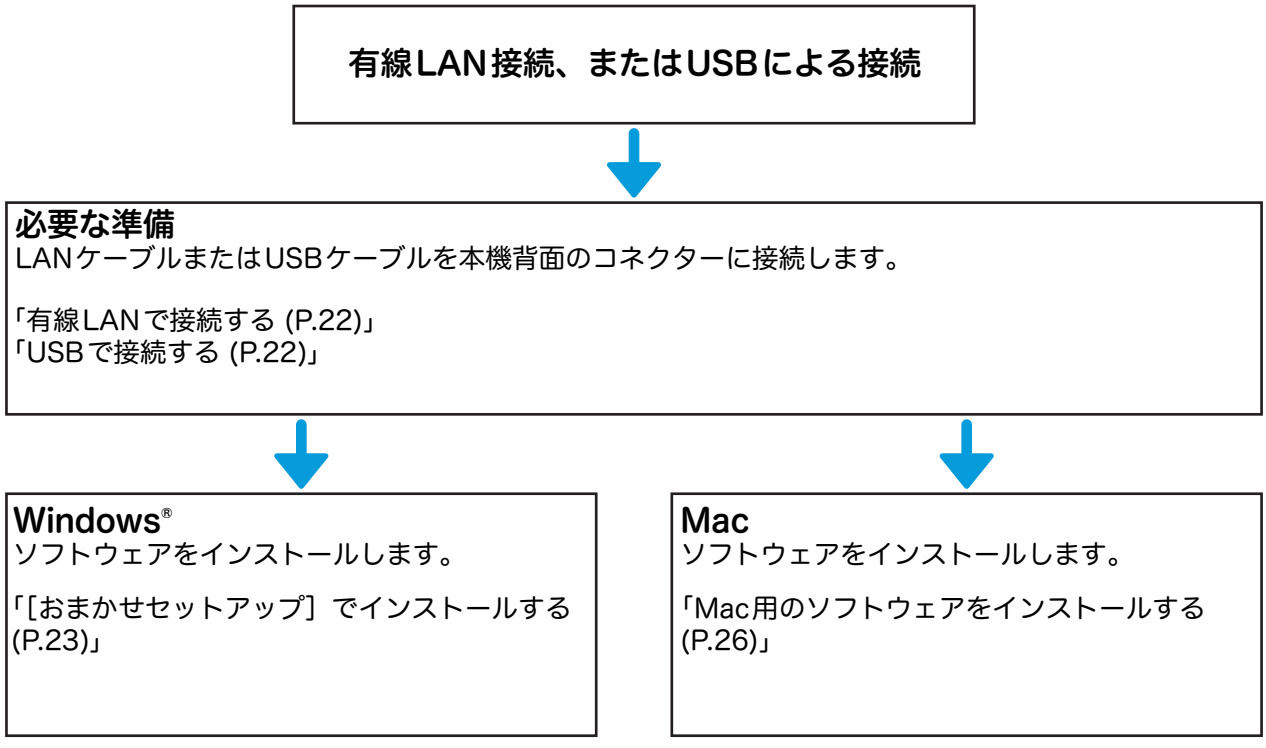
・本機の電源を完全に切るためには、電源コンセントから電源コードを抜く必要があります。緊急時に容易に電源コードを抜くことができるように、本機は電源コンセントの近くに設置してください。

2.3 本機をコンピューターと接続する

2.3.1 概要

本機は無線LAN接続、有線LAN接続、およびUSBによる接続に対応しています。接続には次の手順をおすすめします。





2.3.2　無線 LAN で接続する

無線LANを使うために必要な作業

無線LANを設定する前に、次の操作をしてください。

1. **Wi-Fiアダプターが本機に接続されていることを確認します。**

参照
・詳しくは、「Wi-Fiアダプターを取り付ける (P.16)」を参照してください。

2. **LANケーブルが本機に接続されていないことを確認します。**

無線LANに自動設定で接続する

本機はWPS（プッシュボタン方式）およびWPS（PINコード方式）を使用した無線LAN接続に対応しています。
WPS（プッシュボタン方式）では、設定を操作パネルから行ったあと、お使いの無線LANアクセスポイントに付いているWPSボタンを押して設定します。
WPS（PINコード方式）では、本機に割り当てられるPINコードを無線LANアクセスポイントに入力して設定します。
どちらの方法も無線LANアクセスポイントがWPS方式に対応している必要があります。

参照
・無線LANアクセスポイント側のWPS操作については、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

●WPS（プッシュボタン方式）で接続する場合

1. **〈WPS〉ボタンを長押ししてディスプレイに「無線LANルーターのWPSボタンを押してください」と表示させます。**
2. **無線LANアクセスポイントに付いているWPSボタンを2分以内に押します。**

補足
・設定メニューからも同様の設定ができます。詳しくは、「[WPSセットアップ] (P.39)」を参照してください。

●WPS（PINコード方式）で接続する場合

1. **〈メニュー〉ボタンを押します。**
2. **▲または▼ボタンを押して［管理者設定］を選び、OKボタンを押します。**
3. **▲または▼ボタンを押して［ネットワーク設定］を選び、OKボタンを押します。**
4. **▲または▼ボタンを押して［Wi-Fi設定］を選び、OKボタンを押します。**
5. **▲または▼ボタンを押して［WPSセットアップ］を選び、OKボタンを押します。**
6. **▲または▼ボタンを押して［PINコード方式］を選び、OKボタンを押します。**
7. **表示される8桁のPINコードをメモするか、▲または▼ボタンを押して［PINコードをプリント］を選び、OKボタンを押してPINコードを出力します。**
8. **▲または▼ボタンを押して［設定開始］を選び、OKボタンを押します。**
9. **「ワイヤレスルーターの操作をしてください」のメッセージが表示されたら、PINコードを無線LANアクセスポイントに入力します。**

参照
・PINコードの入力方法については、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

無線LANに手動設定で接続する

無線LANアクセスポイントを一覧から選ぶか、またはSSIDを指定して無線LANに接続します。

補足

・無線LANアクセスポイントのSSIDと、WEPキーまたはパスフレーズが必要になります。詳しくは、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

●無線LANアクセスポイントを一覧から選んで接続する場合

1. 〈メニュー〉ボタンを押します。
2. ▲または▼ボタンを押して［管理者設定］を選び、OKボタンを押します。
3. ▲または▼ボタンを押して［ネットワーク設定］を選び、OKボタンを押します。
4. ▲または▼ボタンを押して［Wi-Fi設定］を選び、OKボタンを押します。
5. ▲または▼ボタンを押して［Wi-Fiセットアップ］を選び、OKボタンを押します。
6. ▲または▼ボタンを押して接続先の無線LANアクセスポイントを選び、OKボタンを押します。

補足

・無線LANアクセスポイントが表示されない場合は、手動で入力してSSIDを設定します。詳しくは、「SSIDを手動で入力して接続する場合 (P.21)」を参照してください。

7. WEPキーまたはパスフレーズを入力し、OKボタンを押します。

●SSIDを手動で入力して接続する場合

1. 〈メニュー〉ボタンを押します。
2. ▲または▼ボタンを押して［管理者設定］を選び、OKボタンを押します。
3. ▲または▼ボタンを押して［ネットワーク設定］を選び、OKボタンを押します。
4. ▲または▼ボタンを押して［Wi-Fi設定］を選び、OKボタンを押します。
5. ▲または▼ボタンを押して［Wi-Fiセットアップ］を選び、OKボタンを押します。
6. ▲または▼ボタンを押して［手動設定］を選び、OKボタンを押します。
7. SSIDを入力し、OKボタンを押します。
8. ▲または▼ボタンを押して［インフラストラクチャー］または［アドホック］をお使いの環境に合わせて選び、OKボタンを押します。

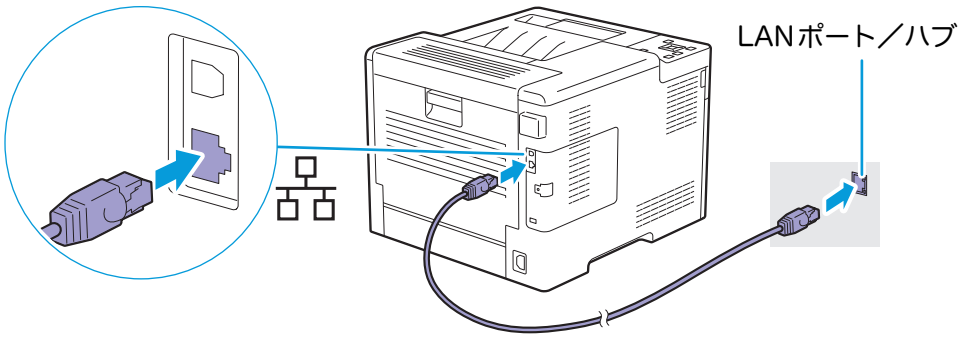
補足

・［Wi-Fi Direct設定］が有効な場合は、［アドホック］を使用できません。

9. ▲または▼ボタンを押して暗号化方式を設定します。
10. OKボタンを押します。
11. 必要に応じてWEPキーまたはパスフレーズを入力し、OKボタンを押します。

2.3.3　有線 LAN で接続する

本機とLANポートまたはハブをLANケーブルで接続します。



2.3.4　USB で接続する

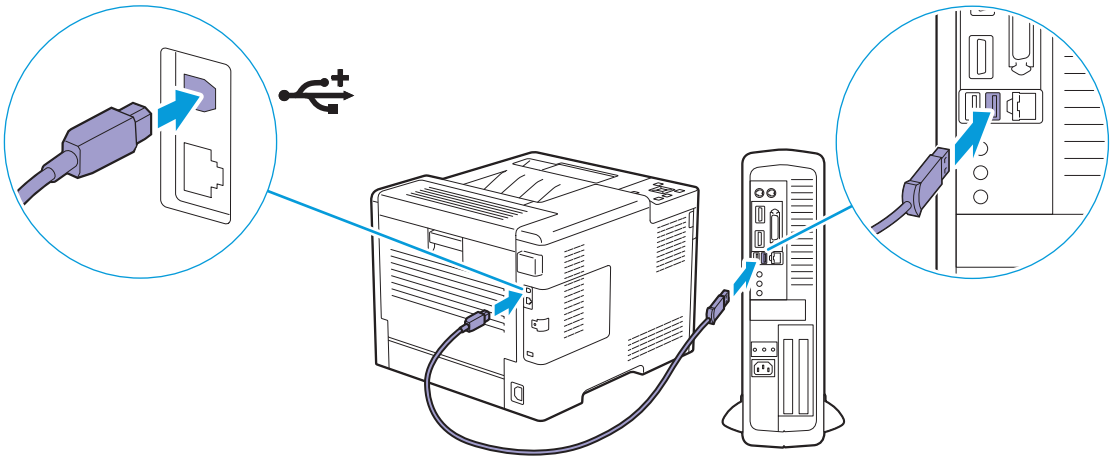
本機とコンピューターをUSBケーブルで接続します。

注記

・本機をUSBハブに接続しないでください。

補足

・ケーブルのUSBマークと本機のUSBマークが一致していることを確認してください。



2.3.5　Windows® 用のソフトウェアをインストールする

補足

・本機がコンピューターまたはネットワークに接続されていることを確認してからインストールを開始してください。詳しくは、以下を参照してください。
-「無線LANで接続する (P.20)」
-「有線LANで接続する (P.22)」
-「USBで接続する (P.22)」

[おまかせセットアップ] でインストールする

次のソフトウェアをインストールできます。

- PCLドライバー
- Print & Scan Hub

無線LAN環境で利用する場合は、本機をネットワークに簡単に接続できます。

補足

・暗号化方式をWEPに設定して無線LAN環境に接続する場合は、[おまかせセットアップ] は使用できません。無線LAN設定を本機の操作パネルから行い、ソフトウェアを [お好みインストール] でインストールします。無線LAN設定については、「無線LANに手動設定で接続する (P.21)」を、ソフトウェアのインストールについては、「[お好みインストール] でインストールする (P.23)」を参照してください。

参照

・MultiWriter共通ドライバーをインストールするには、「[お好みインストール] でインストールする (P.23)」を参照してください。

・XML Paper Specification (XPS) ドライバーをインストールするには、「XML Paper Specification (XPS) ドライバーをインストールする (P.24)」を参照してください。

1. 「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクをコンピューターにセットします。

補足

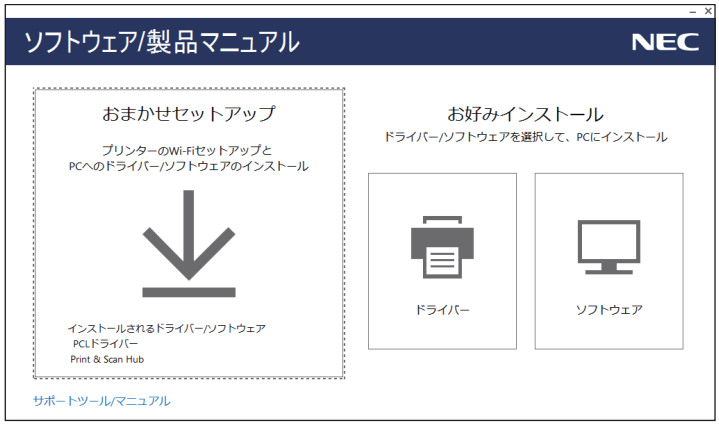
・「http://jpn.nec.com/printer/laser/download/」にアクセスして最新版のソフトウェアをダウンロードすることもできます。

・「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクが起動しない場合は、次の操作をしてください。

1 [スタート] > [すべてのプログラム] > [アクセサリ] > [ファイル名を指定して実行] をクリックします。
Windows® 10 の場合は、スタートボタンを右クリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックします。

2 「D:¥Launcher.exe」(「D」は光学ディスクドライブの名称) を入力し、[OK] をクリックします。

2. [おまかせセットアップ] をクリックします。



3. 画面の指示に従ってインストールを完了します。

[お好みインストール] でインストールする

必要なソフトウェアだけを選んでインストールできます。

補足

・MultiWriter共通ドライバーはWindows® 8.1 以降用に最適化されたプリンタードライバーです。

1. **「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクをコンピューターにセットします。**

補足

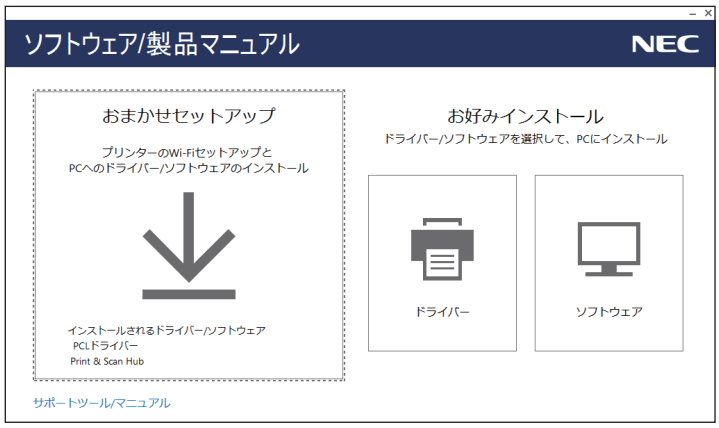
・「http://jpn.nec.com/printer/laser/download/」にアクセスして最新版のソフトウェアをダウンロードすることもできます。

・「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクが起動しない場合は、次の操作をしてください。

1 ［スタート］＞［すべてのプログラム］＞［アクセサリ］＞［ファイル名を指定して実行］をクリックします。
Windows® 10 の場合は、スタートボタンを右クリックし、［ファイル名を指定して実行］をクリックします。

2 「D:¥Launcher.exe」（「D」は光学ディスクドライブの名称）を入力し、［OK］をクリックします。

2. **［ドライバー］または［ソフトウェア］をクリックします。**
［ソフトウェア］を選んだ場合は、手順5に進みます。



3. **［使用許諾契約］に同意する場合は、［使用許諾契約の条項に同意する］を選び、［次へ］をクリックします。**
4. **お使いの接続方法を選び、［次へ］をクリックします。**
5. **画面の指示に従ってインストールを完了します。**

XML Paper Specification (XPS)ドライバーをインストールする

補足

・XML Paper Specification (XPS)ドライバーはWindows Vista®以降に対応しています。

ここでは、Windows® 7およびWindows® 10を例に手順を説明します。

●Windows® 7の場合

1. **「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクをコンピューターにセットします。**
2. **ディスク内にあるフォルダーを、［Software］＞［XPS］＞［i386_amd64］の順に開きます。**
3. **使用する言語フォルダーを開き、フォルダー内にあるzipファイルを任意の場所に解凍します。**
4. **［スタート］＞［デバイスとプリンター］＞［プリンターの追加］をクリックします。**

補足

・［ユーザー アカウント制御］ダイアログボックスが表示された場合は、［はい］をクリックします。

5. **［プリンタードライバーのインストール］画面が表示されるまで、画面の指示に従って操作します。**
6. **［ディスク使用］＞［参照］をクリックします。**
7. **手順3で解凍したフォルダー内にあるinfファイルを選び、［開く］をクリックします。**

8. [OK]をクリックします。
9. 画面の指示に従ってインストールを完了します。

●Windows® 10の場合

1. 「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクをコンピューターにセットします。
2. ディスク内にあるフォルダーを、[Software] > [XPS] > [i386_amd64]の順に開きます。
3. 使用する言語フォルダーを開き、フォルダー内にあるzipファイルを任意の場所に解凍します。
4. スタートボタンを右クリックし、[コントロールパネル]をクリックします。
5. [ハードウェアとサウンド] > [デバイスとプリンター] > [プリンターの追加]をクリックします。
6. [プリンターが一覧にない場合]をクリックします。
7. [ローカル プリンターまたはネットワーク プリンターを手動設定で追加する]を選び、[次へ]をクリックします。
8. [プリンタードライバーのインストール]画面が表示されるまで、画面の指示に従って操作します。
9. [ディスク使用] > [参照]をクリックします。
10. 手順3で解凍したフォルダー内にあるinfファイルを選び、[開く]をクリックします。
11. [OK]をクリックします。
12. 画面の指示に従ってインストールを完了します。

サポートツールを使用してセットアップディスクの作成やネットワークの設定をする

付属するインストーラーを使用してセットアップディスクを作成したり、ネットワークの設定をしたりできます。インストーラーのトップメニューから[サポートツール/マニュアル]をクリックすると、次の設定メニューにアクセスできます。

・ [ドライバーセットアップディスク作成]
ドライバーのセットアップディスクを作成できます。複数のコンピューターに同じ設定でドライバーをインストールする場合は、CD-Rなどの媒体かネットワーク上のサーバーにディスクデータを作成します。セットアップディスクを使用することで、ドライバーインストール時の作業負荷を軽減できます。

補足

・セットアップディスクは、ディスクを作成したOSと異なるOSのコンピューターでは使用できません。OSごとにセットアップディスクを作成してください。

・［IPアドレス設定］
IPアドレスを設定できます。
・［Wi-Fi設定］
無線LANを設定できます。

2.3.6 Mac用のソフトウェアをインストールする

ソフトウェアをインストールする

1. 「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクをコンピューターにセットします。
2. ディスク内にあるフォルダーを、［Software］＞［MacPrinter］＞［MacOSX］＞［Common］の順に開きます。
3. フォルダー内にあるpkgファイルをダブルクリックします。
4. 画面の指示に従ってインストールを完了します。

USB接続で本機を追加する

ここでは、OS X 10.11を例に手順を説明します。

1. 本機の電源を入れます。
2. USBケーブルで本機とコンピューターを接続します。
3. ［システム環境設定］ウインドウを開き、［プリンタとスキャナ］をクリックします。
4. ［プリンタ］に本機が表示されていることを確認します。

補足

・本機が表示されない場合は、手順5以降に従って本機を追加します。

5. ＋をクリックします。

6. ［デフォルト］をクリックします。
7. ［種類］列に［USB］と表示されている本機の名前を、［名前］から選びます。
8. ［ドライバ］から、本機に対応するドライバーを選びます。

9. [追加]をクリックします。
10. 本機に装着済みのオプション製品を設定し、[OK]をクリックします。
11. [プリンタ]に本機が表示されていることを確認します。

LPD接続で本機を追加する

ここでは、OS X 10.11を例に手順を説明します。

1. 本機の電源を入れます。
2. 本機とコンピューターが接続されていることを確認します。
   有線LAN接続の場合は、本機をLANケーブルで接続します。
   無線LAN接続の場合は、本機とコンピューターの無線LAN接続が確立されていることを確認します。
3. [システム環境設定]ウインドウを開き、[プリンタとスキャナ]をクリックします。
4. ＋をクリックします。

5. [IP]をクリックします。
6. [プロトコル]から[LPD（Line Printer Daemon）]を選びます。
7. 本機のIPアドレスを[アドレス]に入力します。
8. [ドライバ]から、本機に対応するドライバーを選びます。
9. [追加]をクリックします。
10. 本機に装着済みのオプション製品を設定し、[OK]をクリックします。
11. [プリンタ]に本機が表示されていることを確認します。

Bonjour接続で本機を追加する

ここでは、OS X 10.11を例に手順を説明します。

1. 本機の電源を入れます。
2. 本機とコンピューターが接続されていることを確認します。
   有線LAN接続の場合は、本機をLANケーブルで接続します。
   無線LAN接続の場合は、本機とコンピューターの無線LAN接続が確立されていることを確認します。
3. [システム環境設定]ウインドウを開き、[プリンタとスキャナ]をクリックします。

4. ＋をクリックします。

5. ［デフォルト］をクリックします。
6. ［種類］列に［Bonjour マルチファンクション］と表示されている本機の名前を、［名前］から選びます。
7. ［ドライバ］から、本機に対応するドライバーを選びます。
8. ［追加］をクリックします。
9. 本機に装着済みのオプション製品を設定し、［OK］をクリックします。
10. ［プリンタ］に本機が表示されていることを確認します。

オプション製品の機能を有効にする

本機に装着済みのオプション製品をドライバーから設定し、関連する機能を有効にします。
ここでは、OS X 10.11 を例に手順を説明します。

1. ［システム環境設定］ウインドウを開き、［プリンタとスキャナ］をクリックします。
2. ［プリンタ］から本機を選び、［オプションとサプライ］をクリックします。
3. ［オプション］をクリックし、本機に装着済みのオプション製品を選びます。
4. ［OK］をクリックします。

2.3.7 Linux 用のプリンタードライバーをインストールする

最新版のLinux用のプリンタードライバーは、弊社公式サイトから入手できます。なお、通信費用はお客様の負担になりますので、ご了承ください。
次のURLにアクセスし、ダウンロードしてインストールしてください。
http://jpn.nec.com/printer/laser/download/

2.4 IPアドレスを設定する

2.4.1 IP アドレスを設定する

本機をネットワーク環境で使用するときはあらかじめ、IPアドレスとその他のネットワーク情報を設定する必要があります。

補足

・IPv6環境のIPアドレスを手動で割り当てるときは、本機のインストーラーまたはCentreWare Internet Servicesを使用してください。CentreWare Internet Servicesの起動方法については、「CentreWare Internet Servicesを起動する (P.82)」を参照してください。

1. 〈メニュー〉ボタンを押します。

2. ▲または▼ボタンを押して［管理者設定］を選び、OKボタンを押します。

3. ▲または▼ボタンを押して［ネットワーク設定］を選び、OKボタンを押します。

4. ▲または▼ボタンを押して［TCP/IP設定］を選び、OKボタンを押します。

5. ▲または▼ボタンを押して［IP動作モード］を選び、OKボタンを押します。

6. ▲または▼ボタンを押して［IPv4］を選び、OKボタンを押します。

7. 〈戻る〉ボタンを2回押します。

8. ▲または▼ボタンを押して［IPv4］を選び、OKボタンを押します。

9. ▲または▼ボタンを押して［IPアドレスの取得方法］を選び、OKボタンを押します。

10. IPアドレスの割り当て方法を設定します。

・ IPアドレスを自動で設定する場合

a ▲または▼ボタンを押して［DHCP / AutoIP］、［BOOTP］、［RARP］、または［DHCP］を選び、手順11に進みます。

・ IPアドレスを手動で設定する場合

a ▲または▼ボタンを押して［直接入力］を選び、OKボタンを押します。
b 〈戻る〉ボタンを2回押します。
c ▲または▼ボタンを押して［IPアドレス］を選び、OKボタンを押します。
d IPアドレスを入力し、OKボタンを押します。
e 〈戻る〉ボタンを2回押します。
f ▲または▼ボタンを押して［サブネットマスク］を選び、OKボタンを押します。
g サブネットマスクを入力し、OKボタンを押します。
h 〈戻る〉ボタンを2回押します。
i ▲または▼ボタンを押して［ゲートウェイアドレス］を選び、OKボタンを押します。
j ゲートウェイアドレスを入力し、OKボタンを押します。

11. 本機の電源を切り、再度電源を入れます。

2.4.2　ネットワーク設定を確認する

設定内容は、操作パネルの画面またはプリンター設定リストで確認できます。

操作パネルを使用する

1. 〈メニュー〉ボタンを押します。
2. ▲または▼ボタンを押して［管理者設定］を選び、OKボタンを押します。
3. ▲または▼ボタンを押して［ネットワーク設定］を選び、OKボタンを押します。
4. ▲または▼ボタンを押して［TCP/IP設定］を選び、OKボタンを押します。
5. ▲または▼ボタンを押して［IPv4］を選び、OKボタンを押します。
6. ▲または▼ボタンを押して［IPアドレス］を選び、OKボタンを押します。
7. ディスプレイに表示されるIPアドレスを確認します。

プリンター設定リストを使用する

1. プリンター設定リストを出力します。

   参照

   ・リストの出力方法については、「［レポート/リスト］(P.34)」を参照してください。

2. リストの［ネットワーク設定］または［無線LAN］の項目内に、IPアドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスが記載されていることを確認します。

   補足

   ・IPアドレスが「0.0.0.0」になっている場合は、IPアドレスが設定されていません。「IPアドレスを設定する(P.29)」の手順に従って設定をしなおしてください。

3 本機の基本操作

3.1 操作パネルを使用する 32
3.2 本機の設定メニューについて 34
3.3 節電機能について 51
3.4 用紙について 52
3.5 用紙をセットする 56

3.1　操作パネルを使用する

操作パネルは、ディスプレイ、状態表示ランプ、プリント可ランプ、〈電源〉ボタン、〈WPS〉ボタン、〈メニュー〉ボタン、〈NFCタッチエリア〉、および〈戻る〉ボタンなどから構成されています。

3.1.1　パネル操作を制限する

権限のないユーザーに操作パネルメニューの設定を変更させないように、パスワードを設定してパネル操作を制限できます。

補足

・パネル操作制限が有効の場合でも、蓄積プリントやトレイ設定のメニューなど、アクセス可能なメニューがあります。

パネル操作制限を有効にする

1. 〈メニュー〉ボタンを押します。
2. ▲または▼ボタンを押して［管理者設定］を選び、OKボタンを押します。
3. ▲または▼ボタンを押して［セキュリティー設定］を選び、OKボタンを押します。
4. ▲または▼ボタンを押して［パネルロック設定］を選び、OKボタンを押します。
5. ［パネルロック］を選び、OKボタンを押します。
6. ▲または▼ボタンを押して［有効］を選び、OKボタンを押します。
7. 4桁のパスワードを入力し、OKボタンを押します。
8. パスワードを再度入力し、OKボタンを押します。

パネル操作制限のパスワードを変更する

1. 〈メニュー〉ボタンを押します。
2. ▲または▼ボタンを押して［管理者設定］を選び、OKボタンを押します。
3. パスワードを入力し、OKボタンを押します。
4. ▲または▼ボタンを押して［セキュリティー設定］を選び、OKボタンを押します。
5. ▲または▼ボタンを押して［パネルロック設定］を選び、OKボタンを押します。
6. ▲または▼ボタンを押して［パスワードの変更］を選び、OKボタンを押します。
7. 現在のパスワードを入力し、OKボタンを押します。
8. 新しいパスワードを入力し、OKボタンを押します。
9. 新しいパスワードを再度入力し、OKボタンを押します。

パネル操作制限を無効にする

1. 〈メニュー〉ボタンを押します。
2. ▲または▼ボタンを押して［管理者設定］を選び、OKボタンを押します。
3. パスワードを入力し、OKボタンを押します。

4. ▲または▼ボタンを押して［セキュリティー設定］を選び、OKボタンを押します。
5. ▲または▼ボタンを押して［パネルロック設定］を選び、OKボタンを押します。
6. ▲または▼ボタンを押して［パネルロック］を選び、OKボタンを押します。
7. ▲または▼ボタンを押して［無効］を選び、OKボタンを押します。
8. 現在のパスワードを入力し、OKボタンを押します。

3.2 本機の設定メニューについて

ここでは、操作パネル上の〈メニュー〉ボタンを押すと表示される設定項目について説明します。

3.2.1 ［接続中の機器］

補足

・この設定は、本機が無線LANに接続され、モバイル機器が本機にWi-Fi Direct経由で接続されているときに表示されます。

Wi-Fi Direct経由で本機に接続されているモバイル機器を確認できます。また、接続された機器をこのメニューを使って切断することもできます。詳しくは、「Wi-Fi Directネットワークからモバイル機器を切断する (P.73)」を参照してください。

3.2.2 ［レポート / リスト］

次のレポートやリストを出力できます。

▌[レポート / リスト] >

[プリンター設定リスト]

ネットワーク設定や搭載オプションなど、本機の設定情報や構成情報の一覧を出力します。

▌[レポート / リスト] >

[パネル設定リスト]

本機の設定内容を出力します。

▌[レポート / リスト] >

[PCLフォントリスト]

本機で使用できるPrinter Control Language (PCL)フォントの一覧を出力します。

▌[レポート / リスト] >

[PCLマクロリスト]

ダウンロードしたPCLマクロの情報を出力します。

▌[レポート / リスト] >

[PDFフォントリスト]

本機で使用できるPDFフォントの一覧を出力します。

▌[レポート / リスト] >

[ジョブ履歴レポート]

本機で実行されたプリントのジョブ履歴を出力します。リストには最新の20件のジョブが記載されます。

▌[レポート / リスト] >

[エラー履歴レポート]

紙詰まりや重大なエラーなどの詳細なリストを出力します。

▌[レポート / リスト] >

[集計管理レポート]

プリントしたページ数の合計レポートを出力します。

▌[レポート / リスト] >

[蓄積文書リスト]

サンプルプリント機能を使用して保存しているプリントジョブの一覧を出力します。

補足

・この設定は、[RAMディスク] を有効にしたときに使用できます。詳しくは、「[RAMディスク] (P.45)」を参照してください。

レポート/リストを出力する

1. 〈メニュー〉 ボタンを押します。
2. ▲または▼ボタンを押して [レポート/リスト] を選び、OKボタンを押します。
3. ▲または▼ボタンを押して、出力するレポートまたはリストを選び、OKボタンを押します。

3.2.3 [メーター]

これまでに出力した総ページ数を確認できます。

[メーター 1]	白黒出力の総数が表示されます。
[メーター 2]	通常は使用しません。
[メーター 3]	カラー出力の総数が表示されます。

3.2.4 [管理者設定]

使用環境やお好みに応じて各設定を変更できます。

▌[管理者設定] >

[PCL設定]

Printer Control Language (PCL)に関する設定をします。

▌[管理者設定] > [PCL 設定] >

[トレイ選択]

用紙トレイを設定します。

▌[管理者設定] > [PCL 設定] >

[出力用紙サイズ]

用紙サイズを設定します。

▌[管理者設定] > [PCL 設定] >

[原稿の向き]

原稿の向きを設定します。

▌[管理者設定] > [PCL 設定] >

[両面設定]

用紙の両面にプリントするかどうかを設定します。両面プリントする場合は、長辺とじまたは短辺とじを設定します。

▌[管理者設定] > [PCL 設定] >

[フォント設定]

本機の常駐フォントからデフォルトのフォントを設定します。

▌[管理者設定] > [PCL 設定] >

[シンボル設定]

指定フォントのシンボルセットを設定します。

▌[管理者設定] > [PCL 設定] >

[フォントサイズ]

プロポーショナルフォントのフォントサイズを設定します。

▌[管理者設定] > [PCL 設定] >

[フォントピッチ]

等幅フォントのフォントピッチを設定します。フォントピッチは横1インチ内にプリントされる文字数を表します。

▌[管理者設定] > [PCL 設定] >

[フォーム行数]

1ページあたりのプリント行数を設定します。行間のスペースは、[出力用紙サイズ] および [原稿の向き] に基づいて設定されます。あらかじめ用紙サイズと原稿の向きを設定してください。

▌[管理者設定] > [PCL 設定] >

[プリント部数]

プリント部数を設定します。

補足

・特定のプリントジョブに対して部数を設定する場合は、プリンタードライバーから値を設定してください。プリンタードライバーで設定した値は操作パネルで設定した値よりも常に優先されます。

▌[管理者設定] > [PCL 設定] >

[イメージエンハンス]

画像処理機能を有効にするかどうかを設定します。設定を有効にすると、黒と白の境界線が滑らかになり、縁のギザギザが低減して見た目が向上します。

▌[管理者設定] > [PCL 設定] >

[Hex Dump]

トラブルの原因を特定しやすくします。本機に送られたすべてのデータが、16進数と文字でプリントされます。制御コードは実行されません。

▌[管理者設定] > [PCL 設定] >

[トナー節約]

プリント時にトナーを節約するかどうかを設定します。通常のプリントに比べて印字品質は低下します。

▌[管理者設定] > [PCL 設定] >

[行末処理]

制御文字コマンドを追加します。

[しない]	制御文字コマンドは追加されません。 CR=CR、LF=LF、FF=FF
[LFを追加]	LF コマンドが追加されます。 CR=CR-LF、LF=LF、FF=FF
[CRを追加]	CR コマンドが追加されます。 CR=CR、LF=CR-LF、FF=CR-FF
[CR-XX]	CR コマンドと LF コマンドが追加されます。 CR=CR-LF、LF=CR-LF、FF=CR-FF

▌[管理者設定] > [PCL 設定] >

[カラーモード]

カラーモードを設定します。

▌[管理者設定] > [PCL 設定] >

[白紙節約]

何もイメージがない白紙ページはプリントせず、イメージがあるページだけプリントするかどうかを設定します。

▌[管理者設定] >

[PDF設定]

PDF ファイルのプリント設定をします。

▌[管理者設定] > [PDF 設定] >

[プリント部数]

プリント部数を設定します。

▌[管理者設定] > [PDF 設定] >

[両面プリント]

用紙の両面にプリントするかどうかを設定します。両面プリントする場合は、長辺とじまたは短辺とじを設定します。

▌[管理者設定] > [PDF 設定] >

[プリントモード]

プリントモードを設定します。

[標準]	標準サイズの文字を含む文書に使用します。
[高画質]	小さい文字や細い線を含む文書、ドットインパクトプリンターを使った文書をプリントする場合に使用します。
[高速]	[標準] より速くプリントできますが、印字品質は低下します。

▌[管理者設定] > [PDF 設定] >

[パスワード]

パスワードで保護された PDF をプリントするためのパスワードを設定します。

▌[管理者設定] > [PDF 設定] >

[ソート(1部ごと)]

PDFファイルを複数部数プリントするとき、部単位に（1部ごとに）仕分け（ソート）してプリントするかどうかを設定します。

▌[管理者設定] > [PDF 設定] >

[出力用紙サイズ]

用紙サイズを設定します。

▌[管理者設定] > [PDF 設定] >

[ページレイアウト]

レイアウトを設定します。

[自動%]	本機で設定した用紙サイズに合わせてプリントします。
[等倍]	文書と同じサイズでプリントします。
[製本]	向きを合わせて、両面にプリントします。
[2アップ]	1枚の用紙に2ページ分を割り当ててプリントします。
[4アップ]	1枚の用紙に4ページ分を割り当ててプリントします。

▌[管理者設定] > [PDF 設定] >

[PDFデフォルトカラー]

カラーモードを設定します。

▌[管理者設定] > [PDF 設定] >

[ジョブ区切りの検出]

PDFファイルのプリントが正常に終了したことを検知するかどうかを設定します。

▌[管理者設定] >

[ネットワーク設定]

ネットワークに関する仕様を設定します。

▌[管理者設定] > [ネットワーク設定] >

[Wi-Fi設定]

補足

・この設定は、LANケーブルが接続されていない状態でWi-Fiアダプターが本機に接続されているときに使用できます。

無線LANの設定をします。

▌[管理者設定] > [ネットワーク設定] > [Wi-Fi 設定] >

[通信状態]

無線LANの通信状況を表示します。

▌[管理者設定] > [ネットワーク設定] > [Wi-Fi 設定] >

[Wi-Fiセットアップ]

無線LANの設定をします。

▌[管理者設定] > [ネットワーク設定] > [Wi-Fi 設定] > [Wi-Fi セットアップ] >

[アクセスポイント選択]

接続先の無線LANアクセスポイントを選びます。

[WEPキーを入力]	無線LANアクセスポイントの暗号化方式がWEPのときは、WEPキーを入力します。
[パスフレーズを入力]	無線LANアクセスポイントの暗号化方式がWPA、WPA2、またはMixedのときは、パスフレーズを入力します。

▌[管理者設定] > [ネットワーク設定] > [Wi-Fi 設定] > [Wi-Fi セットアップ] > [アクセスポイント選択] >

[手動設定]

無線LANの設定を手動でします。

▌[管理者設定] > [ネットワーク設定] > [Wi-Fi 設定] > [Wi-Fi セットアップ] > [アクセスポイント選択] > [手動設定] >

[SSIDを入力]

無線LANアクセスポイントの識別名称を設定します。32文字以内の英数字を入力できます。

▌[管理者設定] > [ネットワーク設定] > [Wi-Fi 設定] > [Wi-Fi セットアップ] > [アクセスポイント選択] > [手動設定] > [SSID を入力] >

[インフラストラクチャー]

インフラストラクチャーモードの設定をします。

[暗号化なし]		暗号化を設定しません。
[Mixed mode PSK]		暗号化方式としてWPA-PSK (AES/TKIP)またはWPA2-PSK (AES)のどちらかを自動的に使用します。
	[パスフレーズを入力]	8～63文字の半角英数字、または16進数64文字のパスフレーズを入力します。
[WPA2-PSK-AES]		暗号化方式としてWPA2-PSK (AES)を使用します。
	[パスフレーズを入力]	8～63文字の半角英数字、または16進数64文字（0～9、a～f、A～Fを組み合わせた64桁の文字列）のパスフレーズを入力します。
[WEP]		暗号化方式としてWEPを使用します。
	[WEPキーを入力]	10桁または26桁の文字列を入力します。

▌[管理者設定] > [ネットワーク設定] > [Wi-Fi 設定] > [Wi-Fi セットアップ] > [アクセスポイント選択] > [手動設定] > [SSID を入力] >

[アドホック]

アドホックモードの設定をします。

補足

・この設定は、[Wi-Fi Direct] を無効にしたときに使用できます。

[暗号化なし]		暗号化を設定しません。
[WEP]		暗号化方式としてWEPを使用します。
	[WEPキーを入力]	10桁または26桁の文字列を入力します。

▌[管理者設定] > [ネットワーク設定] > [Wi-Fi 設定] >

[WPSセットアップ]

WPSを使用して無線LANの設定をします。

[プッシュボタン方式]	WPS（プッシュボタン方式）を使用して無線LANの設定をします。
[PINコード方式]	本機に割り当てられるPINコードを使用して無線LANの設定をします。

▌[管理者設定] > [ネットワーク設定] > [Wi-Fi 設定] >

[Wi-Fiをリセット]

無線LANの設定を初期化します。初期化後に本機を再起動すると、すべての無線LAN設定が工場出荷時の設定値に戻ります。

▌[管理者設定] > [ネットワーク設定] >

[Wi-Fi Direct設定]

補足

・この設定は、LANケーブルが接続されていない状態でWi-Fiアダプターが本機に接続されているときに使用できます。
・この設定は、IPv6やアドホック環境では使用できません。

Wi-Fi Directネットワークの設定をします。

[Wi-Fi Direct]		Wi-Fi Directネットワークの設定を有効または無効にします。
[グループ設定]	[自動]	本機のグループロールを自動的に設定します。
	[グループオーナー]	本機をWi-Fi Directネットワークのグループオーナーに設定します。グループオーナーに設定すると、無線LANアクセスポイントとして機能し、モバイル機器から本機を検出できるようになります。
[機器名]		Wi-Fi Directネットワークで識別する本機の名称を、32文字以内の英数字で入力します。モバイル機器から接続先のプリンター名を選ぶときは、ここで指定した名称が表示されます。
[接続中の機器]		Wi-Fi Directの接続状況を確認します。
	[すべて切断]	Wi-Fi Directの接続を切断します。
	[切断とパスフレーズのリセット]	Wi-Fi Directの接続を切断し、パスフレーズを初期化します。
[SSID]		Wi-Fi Directで識別するネットワークの名称を表示します。「DIRECT-XX」に続く部分については23文字以内の英数字で入力できます。モバイル機器から接続先のネットワーク名を選ぶときは、ここで指定した名称が表示されます。
[パスフレーズ]		パスフレーズを表示します。モバイル機器からWi-Fi Directネットワークに接続するときは、ここに表示されるパスフレーズを入力します。
	[パスフレーズをプリント]	パスフレーズを出力します。
	[パスフレーズをリセット]	Wi-Fi Directの接続を切断し、パスフレーズを初期化します。
[WPSセットアップ]		WPSを使用してWi-Fi Directネットワークを設定します。
	[プッシュボタン方式]	WPS（プッシュボタン方式）を使用してWi-Fi Directネットワークを設定します。
	[PINコード方式]	本機に割り当てられるPINコードを使用してWi-Fi Directネットワークを設定します。

[PINコード]	[PINコードをプリント]	PINコードを出力します。
	[PINコードをリセット]	PINコードを初期化します。

▌[管理者設定] > [ネットワーク設定] >

[Ethernet設定]

補足

・この設定は、本機が有線LANに接続されているときに使用できます。

イーサネットの通信速度および通信方式を設定します。

[自動]
[10BASE-T(半二重)]
[10BASE-T(全二重)]
[100BASE-TX(半二重)]
[100BASE-TX(全二重)]
[1000BASE-T(全二重)]

▌[管理者設定] > [ネットワーク設定] >

[TCP/IP設定]

TCP/IPを設定します。

▌[管理者設定] > [ネットワーク設定] > [TCP/IP 設定] >

[IP動作モード]

IPモードを設定します。

補足

・[IPv6] モードに設定されている場合は、Wi-Fi Directを使用できません。

[デュアルスタック]	IPv4とIPv6の両方を使用してIPアドレスを設定します。
[IPv4]	IPv4を使用してIPアドレスを設定します。
[IPv6]	IPv6を使用してIPアドレスを設定します。

▌[管理者設定] > [ネットワーク設定] > [TCP/IP 設定] >

[IPv4]

IPv4を設定します。

[IPアドレスの取得方法]	[DHCP / AutoIP]	IPアドレスを自動で設定します。
	[BOOTP]	BOOTPを使用してIPアドレスを設定します。
	[RARP]	RARPを使用してIPアドレスを設定します。
	[DHCP]	DHCPを使用してIPアドレスを設定します。
	[直接入力]	IPアドレスを手動で設定します。
[IPアドレス]		本機に割り当てられたIPアドレスを表示します。IPアドレスを手動で設定するときは、各オクテットを0から254の範囲の値で指定します。127と224から254の範囲の値は、最初のオクテットとして指定できません。

[サブネットマスク]	本機に割り当てられたサブネットマスクを表示します。サブネットマスクを手動で設定するときは、各オクテットを0から255の範囲の値で指定します。255.255.255.255はサブネットマスクとして指定できません。
[ゲートウェイアドレス]	本機に割り当てられたゲートウェイアドレスを表示します。ゲートウェイアドレスを手動で設定するときは、各オクテットを0から254の範囲の値で指定します。127と224から254の範囲の値は、最初のオクテットとして指定できません。

▌[管理者設定] > [ネットワーク設定] > [TCP/IP 設定] >

[IPsec]

補足

・この設定は、CentreWare Internet Servicesで[IPsec]が有効になっているときに使用できます。詳しくは、CentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。

IPsec通信を無効にします。

▌[管理者設定] > [ネットワーク設定] >

[プロトコル設定]

各プロトコルを有効または無効にします。

[LPD]
[Port9100]
[FTP]
[IPP]
[WSDプリント] *1
[SNMP UDP] *2
[StatusMessenger]
[Internet Services]
[Bonjour(mDNS)]
[Telnet]
[HTTP-SSL/TLS]
[Google Cloud Print]

*1 WSDはWeb Services on Devicesの略称です。

*2 SNMPはSimple Network Management Protocolの略称です。

▌[管理者設定] > [ネットワーク設定] >

[受付IPアドレス制限]

本機と通信できる機器を制限するかどうかを設定します。本機との通信を許可するIPアドレスは、CentreWare Internet Servicesで登録します。

補足

・Wi-Fi Direct経由の通信には適用されません。

[IPv4フィルター]	IPv4アドレスの機器を対象にこの機能を有効にするかどうかを設定します。
[IPv6フィルター]	IPv6アドレスの機器を対象にこの機能を有効にするかどうかを設定します。

▌[管理者設定] > [ネットワーク設定] >

[IEEE 802.1x]

補足

・この設定は、本機がLANケーブルで接続され、CentreWare Internet ServicesでIEEE802.1x認証が設定されているときに使用できます。詳しくは、CentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。

IEEE 802.1x認証を無効にします。

▌[管理者設定] > [ネットワーク設定] >

[NVMの初期化]

不揮発性メモリー (NVM) に保存されている有線LAN設定を初期化します。初期化後に本機を再起動すると、すべての有線LAN設定が工場出荷時の設定値に戻ります。

▌[管理者設定] > [ネットワーク設定] >

[証明書をすべて削除]

本機に登録されている証明書をすべて削除します。証明書は本機の再起動後にすべて削除されます。

▌[管理者設定] >

[USB設定]

USBインターフェイスコネクターに関する設定をします。

▌[管理者設定] > [USB 設定] >

[ポート設定]

USBインターフェイスコネクターの使用を有効にするかどうかを設定します。

▌[管理者設定] > [USB 設定] >

[ポート固定]

ソフトウェアインストール時に指定したポートを固定して使用するかどうかを設定します。

▌[管理者設定] > [USB 設定] >

[自動排出時間設定]

コンピューターからデータを受信するまでのプリンターが待機する時間を設定します。設定した時間内にプリントされなかった場合、プリントジョブは中止されます。

▌[管理者設定] >

[システム設定]

節電、各種音量、ジョブのタイムアウト、またはジョブの履歴レポートなどに関する設定ができます。

▌[管理者設定] > [システム設定] >

[節電設定]

節電状態に移行するまでの時間を設定します。

[低電力モード移行時間]	低電力モードに移行するまでの時間を設定します。
[スリープモード移行時間]	低電力モードからスリープモードに移行するまでの時間を設定します。

▌[管理者設定] > [システム設定] >

[オートクリア移行時間]

本機を何も操作しない状態で、一定の時間が経過したとき、自動的に初期画面に戻るまでの時間を設定します。

▌[管理者設定] > [システム設定] >

[エラージョブの自動解除]

ユーザーが解除を必要としないエラーの発生時に、エラー画面からトップメニューに戻る時間を設定します。

▌[管理者設定] > [システム設定] >

[時刻設定]

日時とタイムゾーンを設定します。

[日時の設定]	[タイムゾーン]	タイムゾーンを設定します。
	[日付]	[日付の形式] の設定にもとづき日付を設定します。
	[時刻]	時刻を設定します。
[日付の形式]	[YYYY/MM/DD]	日付形式を設定します。
	[MM/DD/YYYY]	
	[DD/MM/YYYY]	
[時刻の形式]	[12時間]	時刻を12時間形式で設定します。
	[24時間]	時刻を24時間形式で設定します。

▌[管理者設定] > [システム設定] >

[通知音]

ジョブの終了音やトラブル発生時の警告音など、報知音を設定します。

[パネル正常入力音]	操作パネルの入力操作が正しく行われたことを知らせる音
[パネル異常入力音]	設定範囲外の数値を入力したときなど、無効な入力操作が行われたことを知らせる音
[準備完了音]	本機が利用可能な状態に移行したことを知らせる音
[ジョブ完了音]	ジョブが正常に終了したことを知らせる音
[異常終了音]	ジョブが異常終了したことを知らせる音
[警告音]	本機にトラブルが発生したことを知らせる音
[用紙切れ警告音]	本機の用紙が切れたことを知らせる音
[トナー残量警告音]	トナーの残量が少なくなったことを知らせる音
[オートクリア警告音]	オートクリア機能が実行される5秒前であることを知らせる音
[すべての通知音]	すべての通知音を一括して設定

▌[管理者設定] > [システム設定] >

[ミリ/インチ切替]

操作パネルに表示される数値の単位を設定します。

▌[管理者設定] > [システム設定] >

[出力用紙サイズの初期値]

レポートなど、サイズ指定のないデータをプリントする用紙サイズをA4またはレターから選びます。

▌[管理者設定] > [システム設定] >

[ジョブ履歴レポート]

ジョブの処理が20件終了するごとに履歴レポートを出力するかどうかを設定します。

補足

・レポートは [レポート/リスト] メニューから出力することもできます。

▌[管理者設定] > [システム設定] >

[レポート両面プリント]

レポートを出力するときに用紙の両面に出力するかどうかを設定します。

▌[管理者設定] > [システム設定] >

[IDプリント]

ユーザー IDをプリントするかどうかと、プリントする場合の位置を設定します。

▌[管理者設定] > [システム設定] >

[テキストプリント]

本機でサポートされていないページ記述言語（PDL）データをテキストとしてプリントするかどうかを設定します。

▌[管理者設定] > [システム設定] >

[バナーシート出力]

バナーシートの挿入先と給紙先トレイを設定します。

[挿入位置]	[挿入しない]	バナーシートを挿入しません。
	[先頭]	バナーシートを出力紙の最初に挿入します。
	[最終]	バナーシートを出力紙の最後に挿入します。
	[先頭と最終]	バナーシートを出力紙の最初と最後にそれぞれ挿入します。
[用紙トレイ選択]	[手差しトレイ]	バナーシートに使う用紙の給紙先を手差しトレイに設定します。
	[トレイ1]	バナーシートに使う用紙の給紙先をトレイ1に設定します。
	[トレイ2] *	バナーシートに使う用紙の給紙先をトレイモジュール（トレイ2）（オプション）に設定します。

* トレイモジュール（トレイ2）（オプション）が装着されているときに使用できます。

▌[管理者設定] > [システム設定] >

[RAMディスク]

蓄積プリント機能を利用する場合に、本機能を有効にし、データ格納のためのディスクサイズを決定します。

▌[管理者設定] > [システム設定] >

[用紙の置き換え]

指定したトレイにセットされている用紙が現在のジョブの用紙サイズの設定と一致しない場合に、異なるサイズの用紙を使用するかどうかを設定します。

[しない]	異なるサイズの用紙は使用しません。
[より大きいサイズ]	大きいサイズの用紙で代用します。大きいサイズの用紙が無い場合は、近いサイズの用紙で代用します。
[近いサイズ]	近いサイズの用紙で代用します。
[手差しトレイ]	手差しトレイの用紙を使用します。

▌[管理者設定] > [システム設定] >

[A4/レター出力用紙切り替え]

A4サイズの用紙が使用できなかったときにレターサイズの用紙で代用してプリントするかどうか、反対にレターサイズをA4サイズで代用してプリントするかどうかを設定します。

▌[管理者設定] > [システム設定] >

[プリント集計管理]

ユーザーごとにプリントの利用を制限したり、プリントの利用量を集計したりします。

参照

・本機へのユーザー登録やプリントの利用制限の方法については、「登録ユーザーだけにプリントを許可する (P.87)」または「登録ユーザーごとにプリントの利用を制限する (P.89)」を参照してください。

▌[管理者設定] > [システム設定] >

[未認証ユーザーのプリント]

[プリント集計管理] を有効にすると、アカウント情報（ユーザー名とパスワード）を持たないジョブはプリントできません。アカウント情報を持たないジョブのプリントを許可する場合は、本機能を有効にします。

アカウント情報を持たないジョブとは、次のとおりです。

- 他社製のプリンタードライバーやユーティリティーで作成されたジョブ
- 次の機能を使って送信されたジョブ
  - AirPrint
  - Google クラウド プリント
  - Mopria プリントサービス

補足

・弊社のプリンタードライバーやアプリケーションを使用した場合でも、プリンタードライバーやアプリケーションの認証情報の設定を無効にすると、アカウント情報を持たないジョブになります。

▌[管理者設定] > [システム設定] >

[強制白黒プリント]

- [プリント集計管理] が有効の場合

  カラープリントを制限されたユーザーのカラープリントジョブを強制的に白黒でプリントします。[未認証ユーザーのプリント] が有効のときは、アカウント情報を持たないカラープリントジョブも強制的に白黒でプリントします。

  補足

  ・カラープリントを制限されたユーザーとは、CentreWare Internet Servicesの [カラープリントモード制限] が [白黒のみ許可] に設定されたユーザーです。[強制白黒プリント] を無効にした場合、カラープリントを制限されたユーザーのカラープリントジョブはキャンセルされます。詳しくは、「白黒プリントだけを許可する (P.89)」を参照してください。

- [プリント集計管理] が無効の場合

  すべてのユーザーのカラープリントジョブを強制的に白黒でプリントします。

▌[管理者設定] > [システム設定] >

[レターヘッド両面プリント]

レターヘッドの両面にプリントするかどうかを設定します。

▌[管理者設定] > [システム設定] >

[トナー残量警告メッセージ]

トナー残量が少なくなったときに警告メッセージを表示するかどうかを設定します。

▌[管理者設定] > [システム設定] >

[ドラム寿命動作]

ドラムカートリッジが交換時期になったときに、印刷を停止するかどうかを設定します。

補足

・ドラム交換のメッセージが表示される前にあらかじめ設定しておく必要があります。ドラム交換のメッセージが表示されたあとに設定は変更できません。

[停止する]	ドラムカートリッジの交換時期になると、本機は停止します。
[継続する]	ドラムカートリッジの交換時期になっても、本機は停止しません。 **補足** ・印字品質の保証外となるため、「ブラックドラムは要交換です」*とメッセージが表示されたら、新しいドラムカートリッジに交換することをおすすめします。 ・「ブラックドラムカートリッジを交換してください。」*とメッセージが表示されると、新しいドラムカートリッジを交換するまで印刷できません。

* メッセージは、ブラックドラムカートリッジの場合を例にしています。

参照

・ドラムカートリッジの交換については、「ドラムカートリッジを交換する (P.106)」を参照してください。

▌[管理者設定] > [システム設定] >

[ソフトウェアダウンロード]

ファームウェア更新ファイルのダウンロード機能を有効にするかどうかを設定します。

▌[管理者設定] > [システム設定] >

[Hex Dump]

トラブルの原因を特定しやすくします。本機に送られたすべてのデータが、16進数と文字でプリントされます。制御コードは実行されません

▌[管理者設定] > [システム設定] >

[NFC]

タブレットやスマートフォンなどのモバイル機器を、本機にNFC通信で接続できるようにするかどうかを設定します。

▌[管理者設定] >

[メンテナンス]

定着ユニットの調整や転写ユニットの清掃など、メンテナンスに関する設定ができます。

▌[管理者設定] > [メンテナンス] >

[ファームウェアバージョン]

本機のコントローラーのバージョンを表示します。

▌[管理者設定] > [メンテナンス] >

[用紙種類調整]

用紙種類を設定します。

▌[管理者設定] > [メンテナンス] >

[1次転写電圧オフセット調整]

出力結果に文字や画像の残像（ゴースト）が現れたときに転写電圧を調整します。

[Kオフセット]	出力結果にかすかに黒い残像が現れたときに、値を小さくします。
[YMCオフセット]	出力結果にかすかに黄や赤、青の色が付いた残像が現れたときに、値を小さくします。

▌[管理者設定] > [メンテナンス] >

[2次転写電圧オフセット調整]

用紙種類ごとに転写ロール（BTR）の転写電圧を調整します。出力結果の色がまだらになる場合は、電圧を上げます。白く抜けてしまう場合は、電圧を下げます。

▌[管理者設定] > [メンテナンス] >

[定着器調整]

用紙種類ごとに定着ユニットの温度調整をします。用紙がカールする場合は、温度を下げます。用紙にトナーが正しく定着しない場合は、温度を上げます。

▌[管理者設定] > [メンテナンス] >

[カラーレジ調整]

カラーレジストレーションを調整します。本機の設置時や移動時などに実施します。

▌[管理者設定] > [メンテナンス] >

[マーキングユニットのリフレッシュ]

現像機と転写ユニットを清掃します。出力結果がぼやけているときに実施します。

▌[管理者設定] > [メンテナンス] >

[トナーリフレッシュ]

トナーと現像剤のバランスを適正にします。出力結果がぼやけているときに実施します。

補足

・この機能はトナーを使用するため、トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、およびトナー回収ボトルの寿命が縮まることがあります。

▌[管理者設定] > [メンテナンス] >

[NVMの初期化]

不揮発性メモリー (NVM) を初期化します。初期化後に本機を再起動すると、メニューの値が工場出荷時の設定値に戻ります。

▌[管理者設定] > [メンテナンス] >

[プリントメーターの初期化]

集計したプリント数を初期化します。

▌[管理者設定] > [メンテナンス] >

[ジョブ履歴の初期化]

本機で処理されたジョブの履歴データをすべて削除します。

▌[管理者設定] > [メンテナンス] >

[蓄積ジョブの消去]

補足

・この設定は、[RAMディスク] を有効にしたときに使用できます。詳しくは、「[RAMディスク] (P.45)」を参照してください。

蓄積プリント機能により保存されているプリントジョブを削除します。

［すべての文書］	蓄積プリント機能により保存されているプリントジョブをすべて削除します。
［出力に認証が必要な文書］	セキュリティープリント機能により保存されているプリントジョブを削除します。
［蓄積された文書］	サンプルプリント機能により保存されているプリントジョブを削除します。

▌［管理者設定］＞［メンテナンス］＞

［カスタムトナーモード］

非純正トナーカートリッジを使用するかどうかを設定します。

注記

・非純正トナーカートリッジを使用すると、本機の機能を十分に利用できないことがあります。非純正トナーカートリッジを使用して発生した不具合については、弊社品質保証の対象外となります。

▌［管理者設定］＞［メンテナンス］＞

［高地使用設定］

本機の設置場所の高度を設定します。

高度を正しく設定することで印字品質が維持され、トナー残量が正しく表示されます。

▌［管理者設定］＞

［セキュリティー設定］

設定メニューへのアクセス制限をかけるなど、セキュリティー関連の設定ができます。

▌［管理者設定］＞［セキュリティー設定］＞

［パネルロック設定］

パスワードを使用して設定メニューへのアクセス制限をかけたり、使用するパスワードを変更したりします。

［パネルロック］	パスワードによるアクセス制限を有効にするかどうかを設定します。 アクセス制限の対象となる設定メニューは次のとおりです。 ・［管理者設定］ ・［レポート/リスト］
［パスワードの変更］*	使用するパスワードを変更します。

* この設定は、［パネルロック］を有効にしたときに使用できます。

▌［管理者設定］＞［セキュリティー設定］＞

［ログインエラー］

補足

・この設定は、［パネルロック］を有効にしたときに使用できます。この設定については、「［パネルロック設定］(P.49)」を参照してください。

ログインの試行回数を設定します。対象となるログイン先メニューは、［パネルロック設定］です。

3.2.5 ［トレイ設定］

トレイ1、手差しトレイ、またはトレイモジュール（トレイ2）（オプション）にセットする用紙のサイズや種類などを設定します。

参照

・使用できる用紙サイズと用紙種類については、「各トレイで使用できる用紙 (P.52)」を参照してください。

▌[トレイ設定] >

[手差しトレイ]

手差しトレイにセットする用紙のサイズや種類などを設定します。

[用紙サイズ] *		用紙サイズを設定します。
[用紙種類] *		用紙種類を設定します。
[手差しモード]	[パネルで指定]	操作パネルで設定した用紙サイズと用紙種類を使用します。
	[ドライバーの設定に従う]	プリンタードライバーで設定した用紙サイズと用紙種類を使用します。
[設定画面を表示] *		手差しトレイに用紙をセットしたときに、用紙サイズと用紙種類の設定画面を表示するかどうかを設定します。

* この設定は、[パネルで指定] を有効にしたときに使用できます。

▌[トレイ設定] >

[トレイ1]

トレイ1にセットする用紙のサイズや種類などを設定します。

[用紙サイズ]	用紙サイズを設定します。
[用紙種類]	用紙種類を設定します。
[設定画面を表示]	トレイ1に用紙をセットしたときに、用紙サイズと用紙種類の設定画面を表示するかどうかを設定します。

▌[トレイ設定] >

[トレイ2]

補足

・トレイモジュール（トレイ2）（オプション）を装着しているときに使用できます。

トレイモジュール（トレイ2）（オプション）にセットする用紙のサイズや種類などを設定します。

[用紙サイズ]	用紙サイズを設定します。
[用紙種類]	用紙種類を設定します。
[設定画面を表示]	トレイモジュール（トレイ2）（オプション）に用紙をセットしたときに、用紙サイズと用紙種類の設定画面を表示するかどうかを設定します。

▌[トレイ設定] >

[トレイの優先順位]

使用する用紙トレイの優先順位を設定します。同じサイズと種類の用紙がセットされている用紙トレイがある場合は、ここで設定した優先順位に従って使用するトレイが自動的に選ばれます。

3.2.6 [言語設定]

本機で使用する言語を設定できます。

3.3 節電機能について

節電機能を利用すると、電力消費量を抑えることができます。

3.3.1 節電状態に移行する

本機は次の場合に節電状態になります。

- 一定時間操作をしなかったとき
- 〈電源〉ボタンを押して［節電モードを有効］を選んだとき

節電状態になると、〈電源〉ボタンがゆっくり点滅します。

3.3.2 節電機能の種類

低電力モードとスリープモードがあります。
本機はまず低電力モードに入ります。そのあと、設定時間が経過すると、スリープモードに移行します。

3.3.3 節電状態に移行する時間を変更する

1. **〈メニュー〉ボタンを押します。**
2. **▲または▼ボタンを押して［管理者設定］を選び、OKボタンを押します。**
3. **▲または▼ボタンを押して［システム設定］を選び、OKボタンを押します。**
4. **▲または▼ボタンを押して［節電設定］を選び、OKボタンを押します。**
5. **▲または▼ボタンを押して［低電力モード移行時間］または［スリープモード移行時間］を選び、OKボタンを押します。**
6. **▲または▼ボタンを押して任意の値を入力し、OKボタンを押します。**

参照
・詳しくは、「［節電設定］(P.43)」を参照してください。

3.3.4 節電状態から復帰する

節電状態から復帰するには、〈電源〉ボタンを押します。

3.4 用紙について

3.4.1 弊社推奨の用紙

より鮮明にプリントするためには規格に合った用紙を使用してください。弊社では次の標準紙を推奨しています。

種類	用紙名	用紙質量（g/m^2）
普通紙	FUJI XEROX P	64
普通紙	FUJI XEROX C^2	70

その他の用紙についてはお買い求めの販売店またはサービス窓口へお問い合わせください。

注記

・水、雨、蒸気などの水分により、印刷面の画像がはがれることがあります。詳しくはお買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

3.4.2 各トレイで使用できる用紙

用紙種類

用紙の種類	用紙質量（g/m^2）	手差しトレイ	トレイ1	トレイモジュール（トレイ2）	自動両面
普通紙	60～90	○	○	○	○
上質紙	91～105	○	○	○	○
厚紙1	106～176	○	○	○	○
厚紙2	177～220	○	○	○	×
厚紙（特殊）	-	○	×	×	×
コート紙1	105	○	○	○	○
コート紙2	106～176	○	○	○	○
コート紙3	177～220	○	○	×	×
ラベル紙	-	○	○	○	×
封筒	-	○	○	×	×
再生紙	60～90	○	○	○	○
レターヘッド	60～90	○	○	○	○

用紙の種類	用紙質量 (g/m^2)	手差しトレイ	トレイ1	トレイモジュール（トレイ2）	自動両面
プレプリント紙	60～90	○	○	○	○
穴あき紙	60～90	○	○	○	○
色紙	60～90	○	○	○	○
郵便はがき	-	○	○	×	×

○：使用可　　×：使用不可

補足

・自動両面機能は質量が64～176 g/m^2の用紙で使用できます。

用紙サイズ

●定形サイズ

用紙のサイズ	向き	手差しトレイ	トレイ1	トレイモジュール（トレイ2）	自動両面
A4（210 x 297 mm）	たて置き	○	○	○	○
	よこ置き	×	×	×	×
B5（182 x 257 mm）	たて置き	○	○	○	○
	よこ置き	×	×	×	×
A5（148 x 210 mm）	たて置き	○	○	○	○
	よこ置き	○	○	×	×
A6（105 x 148 mm）	たて置き	○	○	×	×
	よこ置き	×	×	×	×
8.5 x 11"（レター）	たて置き	○	○	○	○
	よこ置き	×	×	×	×
7.25 x 10.5"	たて置き	○	○	○	○
	よこ置き	×	×	×	×
8.5 x 13"	たて置き	○	○	○	○
	よこ置き	×	×	×	×
8.5 x 14"（リーガル）	たて置き	○	○	○	○
	よこ置き	×	×	×	×
郵便はがき	たて置き	○	○	×	×
	よこ置き	×	×	×	×
往復はがき	たて置き	○	○	×	×
	よこ置き	×	×	×	×
封筒洋形2号	たて置き	○	○	×	×
	よこ置き	×	×	×	×

用紙のサイズ	向き	手差しトレイ	トレイ1	トレイモジュール（トレイ2）	自動両面
封筒洋形3号	たて置き	○	○	×	×
	よこ置き	×	×	×	×
封筒洋形4号	たて置き	○	○	×	×
	よこ置き	×	×	×	×
封筒洋長形3号	たて置き	○	○	×	×
	よこ置き	×	×	×	×
封筒長形3号	たて置き	○	○	×	×
	よこ置き	×	×	×	×

○：使用可　　×：使用不可

●ユーザー定義サイズ

手差しトレイ	よこ：76.2～215.9 mm たて：127～355.6 mm
トレイ1	よこ：76.2～215.9 mm たて：148～355.6 mm
トレイモジュール（トレイ2）	よこ：76.2～215.9 mm たて：190.5～355.6 mm

ユーザー定義用紙を設定した場合、自動両面機能は次の用紙サイズと用紙質量のときに利用できます。
よこ：139.7～215.9 mm
たて：210～355.6 mm
用紙質量：64～176 g/m^2

使用できない用紙

故障の原因となるので、次の用紙は使用しないでください。

- 折り目やしわが入った用紙
- 湿気を含んだ用紙、湿気で波打った用紙
- カールした用紙
- 使用後（一部のラベルを剥がした後）のラベル紙
- 本機以外のプリンターやコピー機で一度プリントした用紙
- OHPフィルム
- バックライトフィルム（電飾フィルム）
- 水転写紙
- インクジェット用紙
- 感熱紙、熱転写紙
- 布地転写用紙
- ベタ塗りの裏紙
- ノーカーボン紙
- 横目用紙のような、コシの弱い用紙
- 凹凸処理を施した紙（エンボス紙）
- ミシン目のある用紙

その他にも、使用できない用紙があります。詳しくはお買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

3.4.3　用紙の保管と取り扱い

用紙の保管

- 用紙は、キャビネットの中や湿気の少ない場所に保管してください。用紙が湿気を含むと、紙詰まりや画質不良の原因となります。
- 開封後、用紙の残りは包装紙に包んで保管してください。
- 用紙は、折れ曲がりを防ぐために、立てかけずに水平に保管してください。
- 直射日光を避けて保管してください。

用紙の取り扱い

- 用紙の束は、きちんとそろえてからセットしてください。
- 折り目、しわが入った用紙は使用しないでください。
- 波をうったような用紙や、カールした用紙は、使用しないでください。
- サイズの異なる用紙を重ねてセットしないでください。
- ラベル用紙は紙詰まりを起こしたり複数枚が同時に送られたりすることがあるので、よくさばいてからご使用ください。

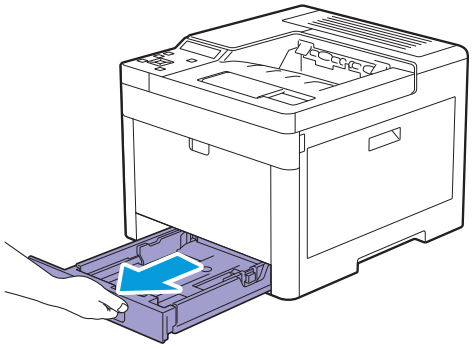
3.5 用紙をセットする

3.5.1 トレイ 1 とトレイモジュール（トレイ 2）（オプション）に用紙をセットする

注記

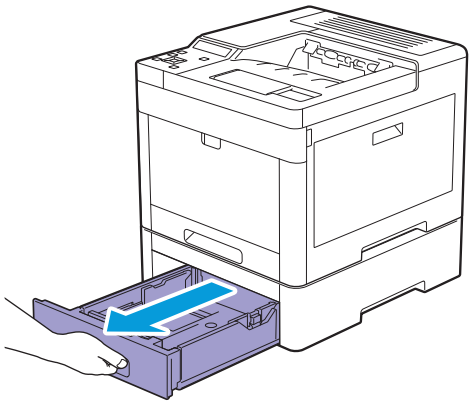
・プリント中は、使用中の用紙トレイを引き出さないでください。

1. 本機からトレイを引き出します。

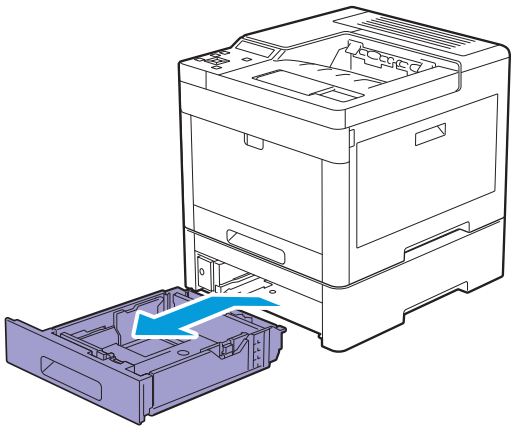


・ トレイモジュール（トレイ2）（オプション）の場合

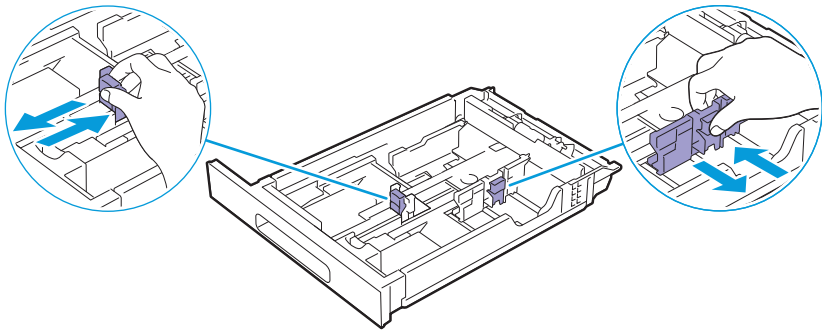
a トレイモジュール（トレイ2）（オプション）のトレイを、途中まで引き出します。



b トレイを両手で支え、トレイ先端を少し上げて完全に引き出します。

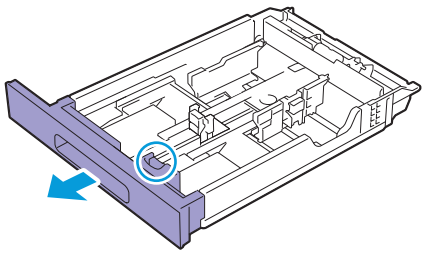


2. 用紙ガイドレバーを用紙サイズに合った位置まで移動します。

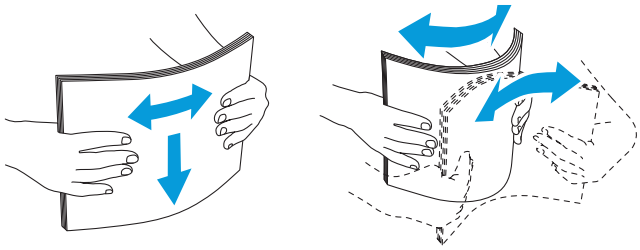


補足

・リーガルサイズの用紙をセットするときは、トレイ前面のレバーを押しながらトレイを引き出してください。



3. 用紙をセットする前に、用紙をよくさばきます。平らな面で用紙の四辺を整えます。



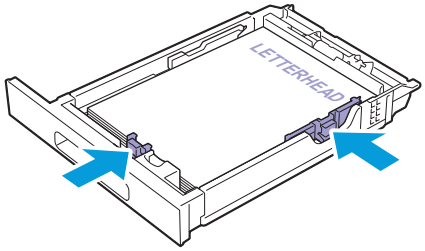
4. プリントする面を上にして、用紙トレイに用紙をセットします。

注記

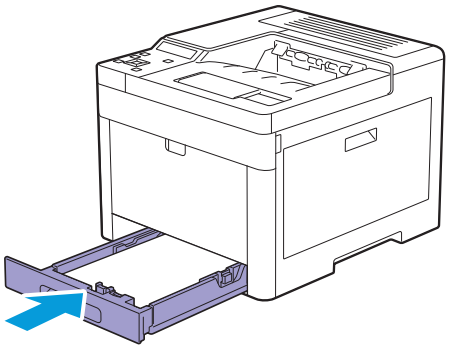
・用紙上限線（「MAX」の位置）を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因になります。

補足

・非定形サイズの用紙をセットした場合は、用紙サイズに合うように、用紙ガイドレバーの位置を微調整します。
・コート紙の場合は、1枚ずつセットしてください。
・レターヘッド、プレプリント紙または穴あき紙をセットする場合は、上辺が先に本機に入るように用紙をセットします。

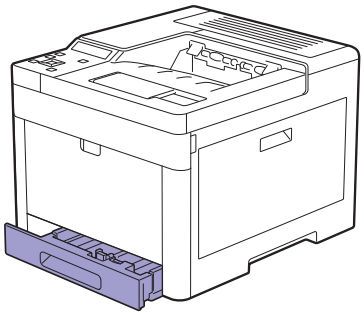


5. 用紙トレイを本機に差し込み、奥に突き当たるまでゆっくりと挿入します。



補足

・トレイ前面を引き出している場合は、トレイが突き出た状態になります。



6. ▲または▼ボタンを押して用紙サイズを選び、OKボタンを押します。

7. ▲または▼ボタンを押して用紙種類を選び、OKボタンを押します。

3.5.2　手差しトレイに用紙をセットする

注記

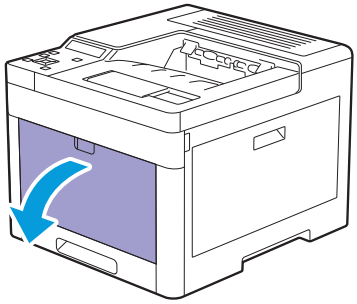
・手差しトレイからプリントしているときに、手差しトレイに用紙を追加したり、用紙を取り除いたりしないでください。紙詰まりの原因となります。
・手差しトレイの上に物を置かないでください。
・手差しトレイに強い力をかけたり、下に押したりしないでください。

補足

・用紙が詰まる場合は、用紙を1枚ずつセットしてください。
・プリンタードライバーで、用紙のサイズと種類が初期設定にされています。操作パネルで設定する場合は、次の手順で設定します。

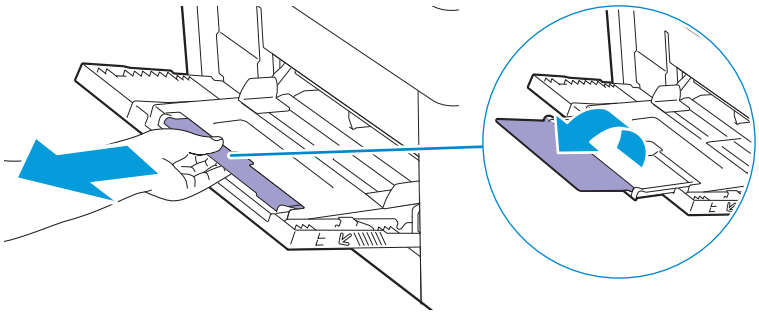
a 〈メニュー〉ボタンを押します。
b ▲または▼ボタンを押して［トレイ設定］を選び、OKボタンを押します。
c ▲または▼ボタンを押して［手差しトレイ］を選び、OKボタンを押します。
d ▲または▼ボタンを押して［手差しモード］を選び、OKボタンを押します。
e ▲または▼ボタンを押して［パネルで指定］を選び、OKボタンを押します。

1. 手差しトレイを開きます。

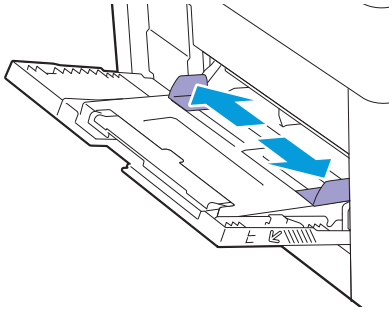


補足

・必要に応じて、延長トレイを引き出します。延長トレイを引き出すときは、ゆっくりと引き出してください。



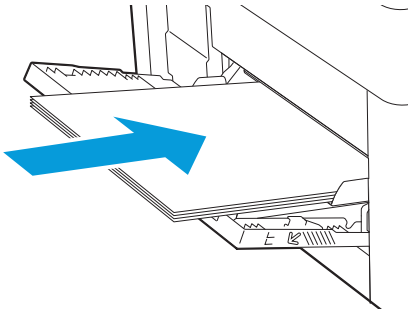
2. 用紙ガイドレバーをセットする用紙のサイズに合わせます。



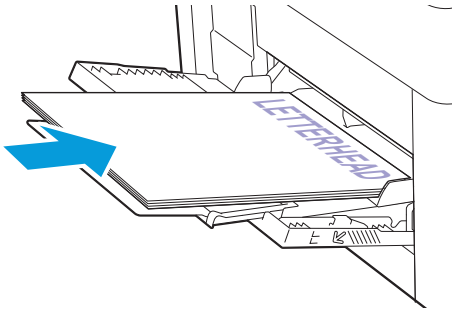
3. プリントする面を上にして、用紙をそろえた状態で先端が軽く突き当たるまで差し込みます。

補足

・非定形サイズの用紙をセットした場合は、用紙サイズに合うように、用紙ガイドレバーの位置を微調整します。
・コート紙の場合は、1枚ずつセットしてください。



・レターヘッド、プレプリント紙、または穴あき紙をセットする場合は、上辺が先に本機に入るように用紙をセットします。



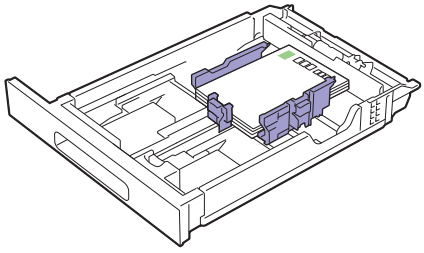
3.5.3　はがき、往復はがきをセットする

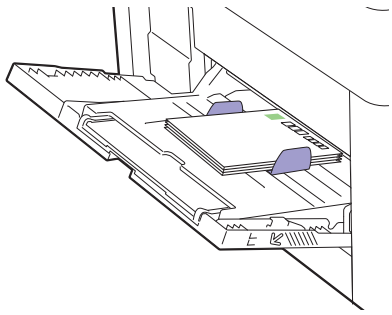
注記

・はがきや往復はがきは、手差しトレイおよびトレイ1にだけセットできます。
・はがきや往復はがきの種類によっては、用紙送りローラーに汚れが付着し、紙詰まりを起こしたり斜めに印字されたりする場合があります。この場合は、用紙送りローラーを清掃してください。清掃については、「用紙送りローラーの清掃 (P.118)を参照してください。
・はがきは、幅が同一のものをセットしてください。幅が不揃いのはがきが混在すると、斜めに印字される場合があります。
・折り目が大きい往復はがきの場合は、斜めに印字されることがあります。

はがきをセットする

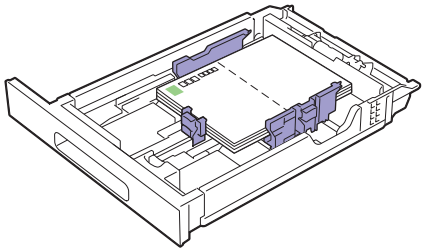
はがきをよくさばいてから、プリントする面を上にして、はがきの上辺が先に本機に入るようにセットします。

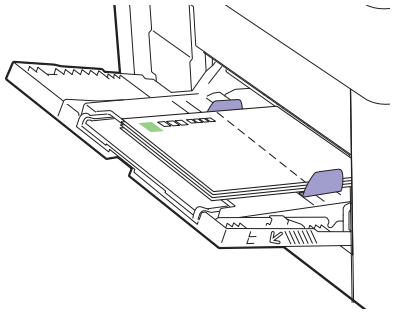




往復はがきをセットする

往復はがきをよくさばいてから、プリントする面を上にして、往復はがきの右辺が先に本機に入るようにセットします。



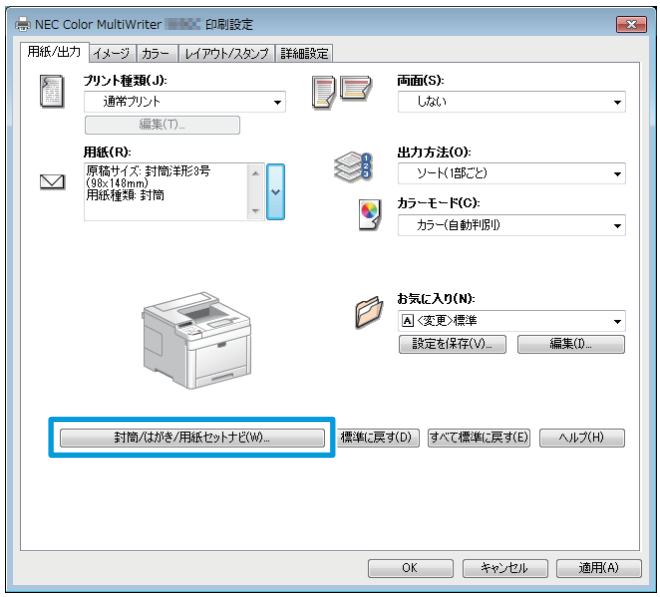


●両面にプリントするときは

はがきや往復はがきの両面にプリントするときは、片面にプリントしたあと、はがきや往復はがきの端にできた反りを平らにならしてからうら面をセットします。反りを直さずにセットすると、はがきや往復はがきが正しく給紙されない場合があります。

補足

・PCLドライバーをお使いの場合に、はがきや往復はがきの反りを直してもうまく給紙できないときは、[封筒/はがき/用紙セットナビ]を使ってプリントしてください。



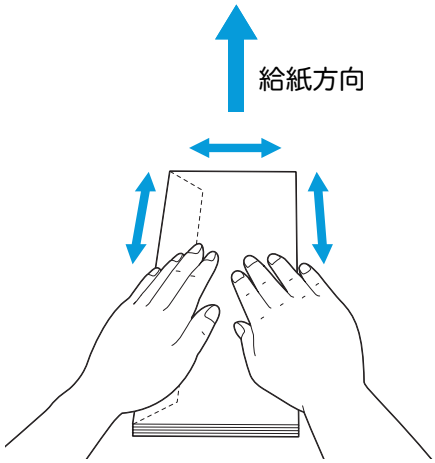
3.5.4　封筒をセットする

注記

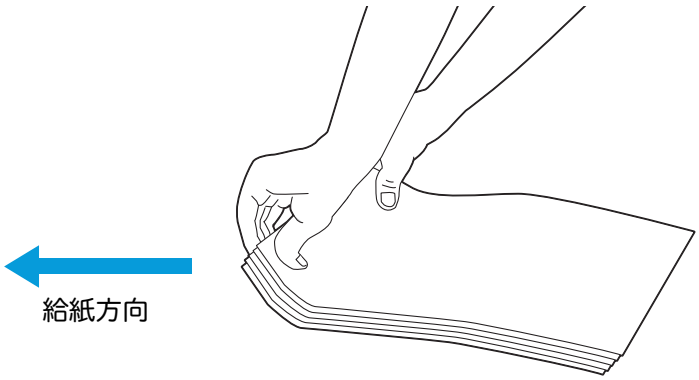
・封筒は、手差しトレイおよびトレイ1にだけセットできます。

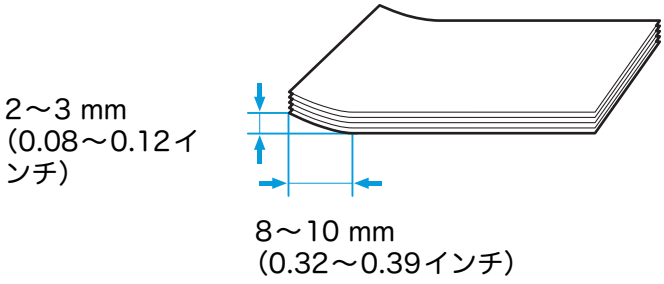
補足

・開封したての新しい封筒を使用してください。
封筒をパッケージから取り出してすぐにセットしない場合は、封筒が反って（カールして）しまう可能性があります。紙詰まりを防止するため、セットする際には、次のように封筒全体をしっかり押さえて平らにしてください。



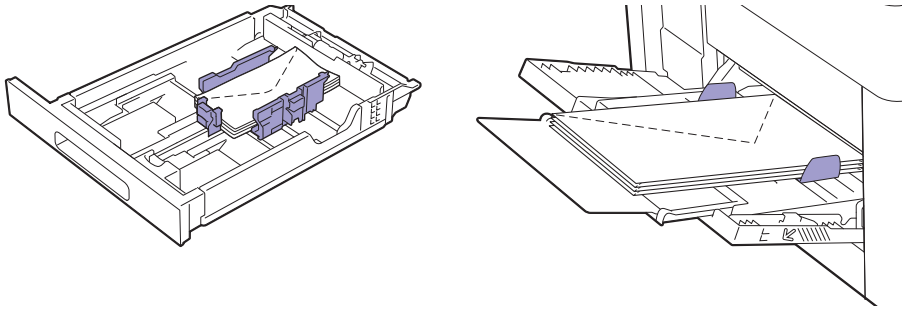
・異なるサイズの封筒を同時にセットしないでください。
・トレイにセットできる封筒の高さ（枚数）は、次のとおりです。
-トレイ1：約 27.5 mm （1.08インチ）（20 枚）
- 手差しトレイ：約 5 mm （0.19インチ）（5 枚）
・封筒が正しく給紙されない場合は、封筒の端を図のようにカールさせてください。カール幅は、2～3 mm（0.08～0.12インチ）をおすすめします。カールさせる領域は、封筒の先端から8～10 mm（0.32～0.39インチ）です。カールをつけすぎたり、しわをつけたりしないようにしてください。





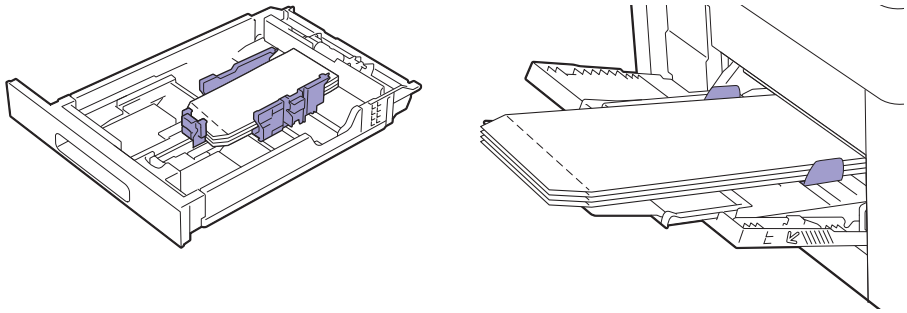
洋形2号、洋形3号、洋形4号、または洋長形3号

プリントする面を上にして封筒のフラップを閉じ、フラップが用紙トレイの左側を向くようにセットします。



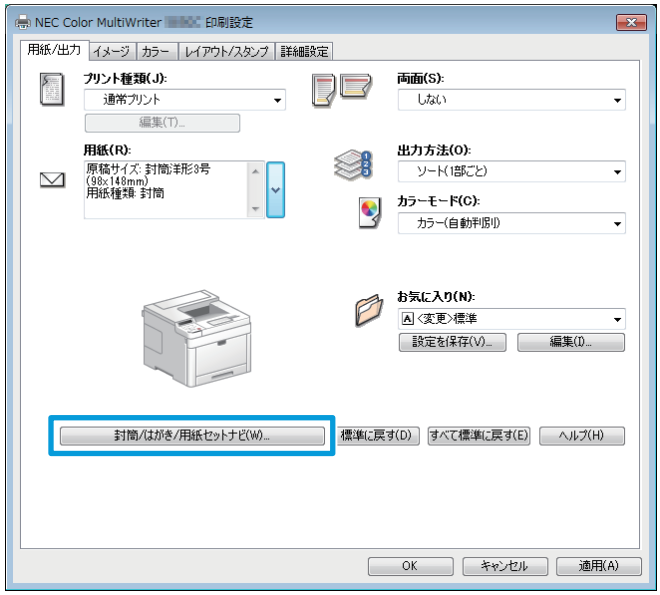
長形3号

プリントする面を上にして封筒をセットします。封筒の底辺が先に本機に入るようにセットします。



補足

・PCLドライバーをお使いの場合は、［封筒/はがき/用紙セットナビ］を使って封筒にプリントできます。PCLドライバーのインストール方法については、「Windows®用のソフトウェアをインストールする (P.22)」を参照してください。



4 プリント

4.1 コンピューターからプリントする 65
4.2 プリントを中止する 66
4.3 カラープリントジョブを白黒でプリントする.....67
4.4 蓄積プリント 68

4.1 コンピューターからプリントする

補足

・プリンタードライバーの設定内容は、操作パネルの設定より優先されます。プリンタードライバーの機能については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

・USB接続でAirPrint機能を使う場合は、CentreWare Internet Servicesで［USBポート起動］を選びます。詳しくは、CentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。

ここでは代表的なプリント手順を説明します。

1. **プリントするファイルを開きます。**
2. **［ファイル］メニューから［印刷］を選びます。**
3. **［プリンターの選択］から本機を選びます。**
4. **［印刷］をクリックします。**

4.2 プリントを中止する

4.2.1 操作パネルで中止する

プリント中に中止する

1. **〈プリント中止〉ボタンを押します。**
   実行中のプリントを中止します。

4.2.2 コンピューターで中止する

参照

・プリントの中止については、お使いのOS（オペレーティングシステム）のヘルプを参照してください。

4.3 カラープリントジョブを白黒でプリントする

すべてのユーザーのカラープリントジョブを強制的に白黒でプリントします。

補足

・プリント集計管理機能を使って、ユーザーごとにカラープリントを制限することもできます。詳しくは、「プリント集計管理 (P.86)」を参照してください。

1. 〈メニュー〉ボタンを押します。
2. ▲または▼ボタンを押して［管理者設定］を選び、OKボタンを押します。
3. ▲または▼ボタンを押して［システム設定］を選び、OKボタンを押します。
4. ▲または▼ボタンを押して［プリント集計管理］を選び、OKボタンを押します。
5. ▲または▼ボタンを押して［しない］を選び、OKボタンを押します。
6. 〈戻る〉ボタンを2回押します。
7. ▲または▼ボタンを押して［強制白黒プリント］を選び、OKボタンを押します。
8. ▲または▼ボタンを押して［する］を選び、OKボタンを押します。
9. 本機の電源を切り、再度電源を入れます。
10. プリントを実行します。

参照

・プリントの方法については、「コンピューターからプリントする (P.65)」を参照してください。

4.4 蓄積プリント

4.4.1 概要

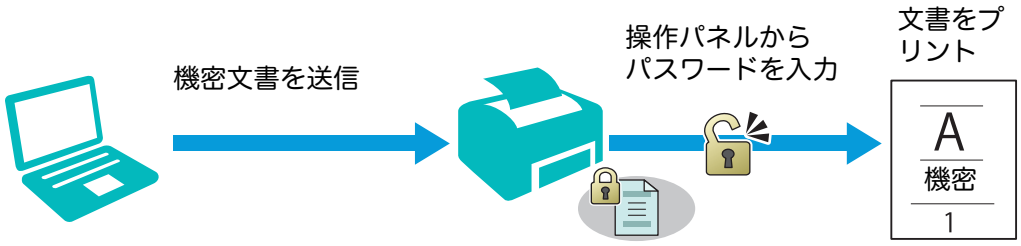
プリント文書を一時的に本機内に蓄積して、操作パネルからプリントを開始します。文書にパスワードを付けて機密データなどを管理できるセキュリティープリントと、複数部をプリントする場合に便利なサンプルプリントがあります。

補足

・本機の電源を切ると、本機に蓄積された文書は消去されます。
・蓄積プリント機能は、次の2つの条件が満たされている場合に使用できます。
-本機の設定メニューで、[RAMディスク]が[有効]に設定されているとき
-Windows®の場合は、プリンタードライバーで[RAMディスク]が[あり]に設定されているとき
Macの場合は、プリンタードライバーで[ストレージ]が[オン]に設定されているとき

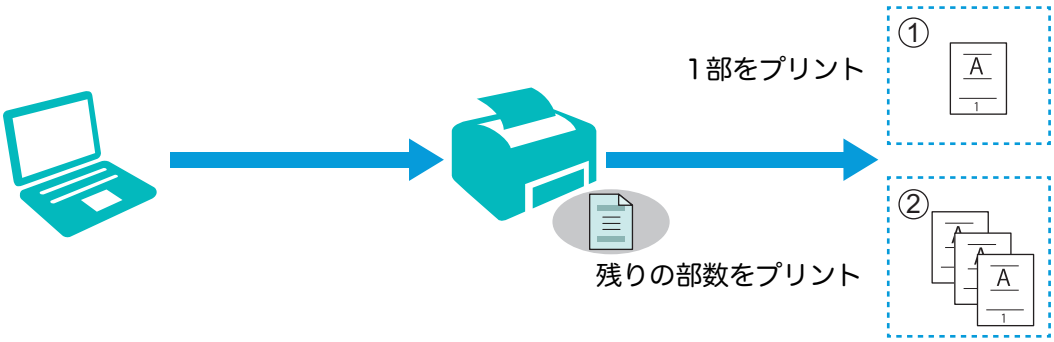
セキュリティープリント

プリント文書にパスワードを設定して本機に保存します。操作パネルでパスワードを入力したときだけプリントできるので、機密文書をプリントする場合に便利です。



サンプルプリント

複数部をプリントするときに、1部だけ試しにプリントできる機能です。



4.4.2 蓄積プリントをする

補足

・蓄積プリント機能は、メモリー容量を超える大容量のデータをプリントする場合には使えません。

プリンタードライバーで設定する

蓄積プリント機能を使う場合は、プリンタードライバーの［用紙/出力］タブで、［プリント種類］から、［セキュリティープリント］または［サンプルプリント］を選びます。

参照

・プリンタードライバーの機能については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

補足

・セキュリティープリントには、パスワードを設定する必要があります。
・本機の電源を切ると、本機に蓄積されたプリント文書は削除されます。

蓄積ジョブをプリントする

1. ◀ボタンを押します。

補足

・本機がスタンバイモードであるか、設定メニューのRAMディスクが有効であるかを確認してください。

2. ▲または▼ボタンを押して［セキュリティープリント］または［サンプルプリント］を選び、OKボタンを押します。
3. ▲または▼ボタンを押して任意のユーザー IDを選び、OKボタンを押します。

補足

・手順2で［セキュリティープリント］を選んだ場合は、パスワードを入力し、OKボタンを押します。

4. ▲または▼ボタンを押して任意の文書を選び、OKボタンを押します。
5. ［セキュリティープリント］の場合は、▲または▼ボタンを押して［プリントして削除］または［プリントして保存］を選び、OKボタンを押します。
［サンプルプリント］の場合は、▲または▼ボタンを押して［プリントして削除］を選び、OKボタンを押します。
6. プリント部数を設定します。

補足

・プリント中は、部数を設定できません。
・すべての文書を選んだ場合は、［ドライバーの設定に従う］または［数字を入力］を選び、OKボタンを押します。

蓄積ジョブを削除する

1. ◀ボタンを押します。

補足

・本機がスタンバイモードであるか、設定メニューのRAMディスクが有効であるかを確認してください。

2. ▲または▼ボタンを押して［セキュリティープリント］または［サンプルプリント］を選び、OKボタンを押します。
3. ▲または▼ボタンを押して任意のユーザー IDを選び、OKボタンを押します。

補足

・手順2で［セキュリティープリント］を選んだ場合は、パスワードを入力し、OKボタンを押します。

4. ▲または▼ボタンを押して任意の文書を選び、OKボタンを押します。
5. ▲または▼ボタンを押して［削除］を選び、OKボタンを押します。

5 スマートフォン／タブレットからのプリント

5.1 本機をスマートフォン／タブレットと接続する 71
5.2 Print Utility を使ってプリントする.....74
5.3 その他のサービスを利用する 75

5.1 本機をスマートフォン／タブレットと接続する

スマートフォン／タブレットなどのモバイル機器を本機に接続し、文書、写真、ウェブページやメールなどを素早く簡単にプリントできます。
次のいずれかの方法で、本機をスマートフォン／タブレットと接続します。

- Wi-Fi 接続
  本機とスマートフォン／タブレットを無線LAN アクセスポイント経由で接続します。
- Wi-Fi Direct 接続
  無線LAN アクセスポイントを経由せず、本機とスマートフォン／タブレットを直接接続します。

5.1.1 Wi-Fi で接続する

本機の設定

1. **本機が無線LANに接続されていることを確認します。**

参照

・接続方法については、「無線LANで接続する (P.20)」を参照してください。

スマートフォン／タブレットの設定

補足

・操作方法はスマートフォン／タブレットの機種によって異なります。詳しくは、お使いのスマートフォン／タブレットの取扱説明書を参照してください。

1. **スマートフォン／タブレットのWi-Fi 機能を有効にします。**
2. **本機が接続しているネットワーク（SSID）を選びます。**
3. **暗号化キーを入力し、接続を完了します。**

補足

・暗号化キーは無線LANアクセスポイント本体に記載されている場合があります。詳しくは、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

5.1.2 Wi-Fi Direct で接続する

補足

・スマートフォン／タブレットなどのモバイル機器は同時に3台まで接続できます。

Wi-Fi Directを設定する

Wi-Fi Directを使用するには、はじめに本機の操作パネルでWi-Fi Directを設定します。次に本機のSSIDをモバイル機器上の画面で選び、該当するパスフレーズを入力すると、Wi-Fi Direct経由で本機に接続できます。

●本機の設定をする

補足

・CentreWare Internet Servicesを使って設定することもできます。詳しくは、CentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。
・Wi-Fi DirectはIPv6やアドホック環境では使用できません。

1. 〈メニュー〉ボタンを押します。
2. ▲または▼ボタンを押して［管理者設定］を選び、OKボタンを押します。
3. ▲または▼ボタンを押して［ネットワーク設定］を選び、OKボタンを押します。
4. ▲または▼ボタンを押して［Wi-Fi Direct設定］を選び、OKボタンを押します。
5. ▲または▼ボタンを押して［Wi-Fi Direct］を選び、OKボタンを押します。
6. ▲または▼ボタンを押して［有効］を選び、OKボタンを押します。
7. 本機の電源を切り、再度電源を入れます。
8. 本機の再起動後、手順1～4の操作をします。
9. ▲または▼ボタンを押して［グループ設定］を選び、OKボタンを押します。
10. ▲または▼ボタンを押して［グループオーナー］を選び、OKボタンを押します。
11. 〈戻る〉ボタンを押します。
12. ▲または▼ボタンを押して［接続中の機器］を選び、OKボタンを押します。
13. 画面に表示されているモバイル機器数が2台以下であることを確認し、〈戻る〉ボタンを押します。

補足

・接続しているモバイル機器数が3台のときは、Wi-Fi Directネットワークに追加接続できません。現在接続しているすべてのモバイル機器をネットワークから切断してください。詳しくは、「Wi-Fi Directネットワークからモバイル機器を切断する (P.73)」を参照してください。

14. ▲または▼ボタンを押して［SSID］を選び、OKボタンを押します。
15. 必要に応じて本機のSSIDを変更し、OKボタンを押します。

補足

・SSIDを変更すると、手順13で表示されたモバイル機器の接続は切断されます。

16. 〈戻る〉ボタンを押します。
17. ▲または▼ボタンを押して［パスフレーズ］を選び、OKボタンを押します。
18. パスフレーズを確認し、〈戻る〉ボタンを押します。

補足

・OKまたは▶ボタンを押して［パスフレーズ］メニューの下にある［パスフレーズをプリント］を選び、OKボタンを押すと、本機のSSIDとパスフレーズが記載されたシートをプリントできます。

●本機とモバイル機器を接続する

参照

・詳しくは、モバイル機器の取扱説明書を参照してください。

1. スマートフォン／タブレットなどのモバイル機器の無線LAN機能を有効にします。
2. 本機のSSIDを選びます。
3. パスフレーズを入力します。

Wi-Fi Directネットワークからモバイル機器を切断する

1. 〈メニュー〉ボタンを押します。
2. ▲または▼ボタンを押して［接続中の機器］を選び、OKボタンを押します。

補足

・［接続中の機器］は、スマートフォン／タブレットなどのモバイル機器が本機にWi-Fi Directで接続されているときに表示されます。

3. 接続中のモバイル機器名が表示されるので、OKボタンを押します。
4. ▲または▼ボタンを押して［すべて切断］を選び、OKボタンを押します。
5. 実行確認のメッセージが表示されるので、OKボタンを押します。

パスフレーズを初期化する

補足

・パスフレーズを初期化するとモバイル機器は切断されます。

1. 〈メニュー〉ボタンを押します。
2. ▲または▼ボタンを押して［接続中の機器］を選び、OKボタンを押します。

補足

・［接続中の機器］は、スマートフォン／タブレットなどのモバイル機器が本機にWi-Fi Directで接続されているときに表示されます。

3. ▲または▼ボタンを押して、パスフレーズを初期化するモバイル機器を選び、OKボタンを押します。
4. ▲または▼ボタンを押して［切断とパスフレーズのリセット］を選び、OKボタンを押します。
5. 実行確認のメッセージが表示されるので、OKボタンを押します。
モバイル機器の接続が切断され、新しいパスフレーズが表示されます。

PINコードを初期化する

1. 〈メニュー〉ボタンを押します。
2. ▲または▼ボタンを押して［管理者設定］を選び、OKボタンを押します。
3. ▲または▼ボタンを押して［ネットワーク設定］を選び、OKボタンを押します。
4. ▲または▼ボタンを押して［Wi-Fi Direct設定］を選び、OKボタンを押します。
5. ▲または▼ボタンを押して［PINコード］を選び、OKボタンを押します。
6. PINコードが表示されるので、OKボタンを押します。
7. ▲または▼ボタンを押して［PINコードをリセット］を選び、OKボタンを押します。

5.2 Print Utilityを使ってプリントする

Print Utilityはスマートフォン／タブレット用の無料アプリケーションです。スマートフォン／タブレットからプリントできます。NFC機能を搭載するAndroid機器をお使いの場合は、本機のNFCリーダーにAndroid機器をかざすだけでプリントを開始できます。

詳しくは、次のURLを参照してください。

- iOSの場合：https://www.fujixerox.co.jp/product/software/printutility_ios/
- Androidの場合：https://www.fujixerox.co.jp/product/software/printutility_and/

5.3 その他のサービスを利用する

5.3.1 AirPrint

AirPrintは、Apple Inc.が提供するプリントサービスです。プリンタードライバーや特別なソフトウェアをインストールすることなく、iPad/iPhoneなどのiOS搭載機器やMacのコンピューターから指示した文書を、お使いの機械でプリントできます。

補足

・［プリント集計管理］が有効のとき、この機能を使用するには［未認証ユーザーのプリント］を有効にする必要があります。詳しくは、「［未認証ユーザーのプリント］(P.46)」を参照してください。

AirPrintの設定を有効にする

補足

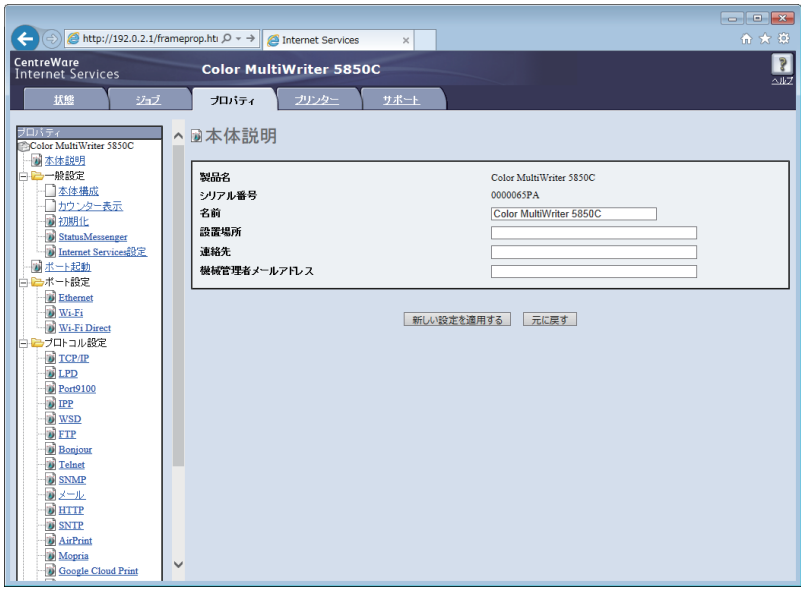
・初期設定は有効になっています。

1. **本機がネットワークに接続されていることを確認します。**
2. **CentreWare Internet Servicesを起動します。**

参照

・CentreWare Internet Servicesの起動方法については、「CentreWare Internet Servicesを起動する (P.82)」を参照してください。

3. **［プロパティ］タブをクリックします。**
4. **画面左の領域にある［AirPrint］をクリックします。**



5. **［AirPrintポート起動］にチェックマークを付けます。**
6. **［新しい設定を適用する］をクリックします。**
7. **［再起動］をクリックします。**

AirPrintでプリントする

ここでは、iOS 9を使った手順を例に説明します。

1. プリントするメール、写真、ウェブページ、または文書を開きます。
2. のアイコンをタップします。
3. [プリント]をタップします。
4. 本機を選び、プリント設定をします。
5. [プリント]をタップします。

5.3.2 Google クラウド プリント

Google クラウド プリントは、Google Inc.が提供するプリントサービスです。本機をGoogle クラウド プリントに登録すると、Google クラウド プリントに対応したアプリケーションからプリントできます。

補足

- Google クラウド プリントはIPv4接続にだけ対応しています。
- 本機をプロキシーサーバー経由でネットワークに接続している場合は、CentreWare Internet Servicesから[プロキシサーバー]を設定する必要があります。詳しくは、CentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。
- [プリント集計管理]が有効のとき、この機能を使用するには[未認証ユーザーのプリント]を有効にする必要があります。詳しくは、「[未認証ユーザーのプリント] (P.46)」を参照してください。

参照

- Google クラウド プリントについては、「https://www.google.com/cloudprint/learn/」を参照してください。

本機でGoogle クラウド プリントを使うために必要な作業

Google クラウド プリントを使用するには、次の準備をする必要があります。

- Googleアカウントを取得する
- 本機の操作パネルからGoogle クラウド プリントを有効にする
  1. 〈メニュー〉ボタンを押します。
  2. ▲または▼ボタンを押して[管理者設定]を選び、OKボタンを押します。
  3. ▲または▼ボタンを押して[ネットワーク設定]を選び、OKボタンを押します。
  4. ▲または▼ボタンを押して[プロトコル設定]を選び、OKボタンを押します。
  5. ▲または▼ボタンを押して[Google Cloud Print]を選び、OKボタンを押します。
  6. ▲または▼ボタンを押して[有効]を選び、OKボタンを押します。
  7. 本機の電源を切り、再度電源を入れます。

Google クラウド プリントに本機を登録する

CentreWare Internet ServicesまたはGoogle Chromeを使ってGoogle クラウド プリントに本機を登録します。

●CentreWare Internet Servicesを使って登録する場合

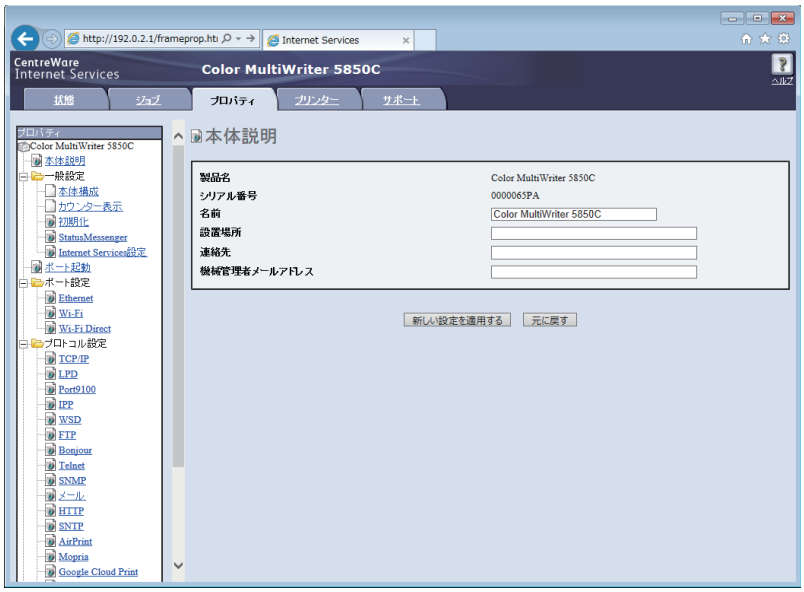
1. CentreWare Internet Servicesを起動します。

参照

- CentreWare Internet Servicesの起動方法については、「CentreWare Internet Servicesを起動する (P.82)」を参照してください。

2. [プロパティ]タブをクリックします。

3. 画面左の領域にある［Google Cloud Print］をクリックします。



4. ［Google Cloud Printに登録］をクリックします。
Google クラウド プリント登録サイトの URLが記載された用紙がプリントされます。

5. 用紙に記載されたURLをWebブラウザーに入力し、Google クラウド プリントの登録サイトにアクセスします。

補足

・用紙に記載されたQRコードを読み取って登録サイトにアクセスすることもできます。

6. ログイン画面で、お使いのGoogleアカウントを入力してログインします。

7. ［プリンタ登録を完了］＞［プリンタの管理］をクリックします。
本機が［プリンタ］リストに表示され、Google クラウド プリントサービスが利用可能になります。

●Google Chromeを使って登録する場合

補足

・Bonjourが有効になっている必要があります。設定については、「［プロトコル設定］(P.42)」を参照してください。

1. Google Chromeを起動します。

2. 画面右上にある≡をクリックし、［設定］を選びます。

3. ページ下部にある［詳細設定を表示］をクリックします。

4. ［Googleクラウドプリント］＞［管理］をクリックします。

補足

・［新しいデバイス］の下にChromeへのログインを促すメッセージが表示されたら、［ログイン］をクリックしてChromeにログインします。

5. 登録するプリンターの［登録］をクリックします。

6. 登録の確認ウインドウが表示されたら、［登録］をクリックします。

7. 本機の画面の指示に従って操作します。

8. Google Chromeの［マイデバイス］に本機の名前が表示されることを確認します。

補足

・［マイデバイス］に本機の名前が表示されるまで5分以上かかることがあります。

Google クラウド プリントへの登録を解除する

1. CentreWare Internet Servicesを起動します。

参照

・CentreWare Internet Servicesの起動方法については、「CentreWare Internet Servicesを起動する (P.82)」を参照してください。

2. ［プロパティ］タブをクリックします。
3. 画面左の領域にある［Google Cloud Print］をクリックします。
4. ［登録を解除］をクリックします。

Google クラウド プリントでプリントする

参照

・Google クラウド プリントを使ってプリントできるアプリケーションや、プリントの手順については、「https://www.google.com/cloudprint/learn/」を参照してください。

5.3.3 Mopria プリントサービス

MopriaプリントはAndroid搭載のスマートフォンやタブレット（Android 4.4以降）から、Mopria認証を受けたプリンターに接続してプリントできるサービスで、特別な設定をすることなく利用できます。

はじめにGoogle Playストアから、Mopriaプリントサービスのアプリケーションを、お使いのAndroid機器にダウンロードしてインストールします。

プリント時はモバイル機器を本機と同じネットワークに接続するか、Wi-Fi Direct機能を使って本機に接続します。

補足

・［プリント集計管理］が有効のとき、この機能を使用するには［未認証ユーザーのプリント］を有効にする必要があります。詳しくは、「［未認証ユーザーのプリント］(P.46)」を参照してください。

本機にMopriaプリントサービスを設定する

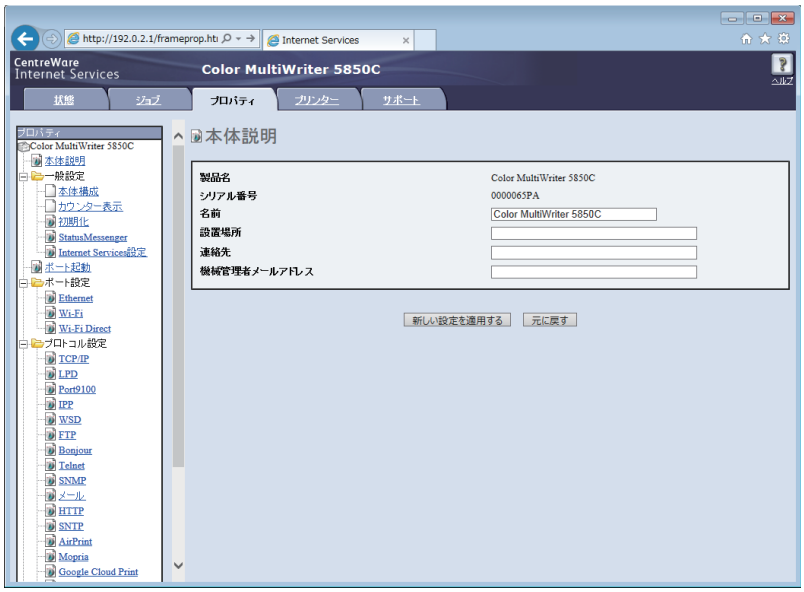
1. 本機がネットワークに接続されていることを確認します。
2. CentreWare Internet Servicesを起動します。

参照

・CentreWare Internet Servicesの起動方法については、「CentreWare Internet Servicesを起動する (P.82)」を参照してください。

3. ［プロパティ］タブをクリックします。

4. 画面左の領域にある［Mopria］をクリックします。



5. ［有効］をクリックします。

Mopriaプリントサービスでプリントする

参照

・詳しくは、「http://jp.mopria.org/」を参照してください。

6 便利な使いかた

6.1 CentreWare Internet Services.....81
6.2 本機のソフトウェア 84

6.1 CentreWare Internet Services

CentreWare Internet Servicesは、Webブラウザーを使用して、本機の状態やジョブの履歴を表示したり、本機の設定を変更したりするためのサービスです。
TCP/IP環境で、本機とネットワーク接続されたコンピューターで使用できます。
CentreWare Internet Servicesで使用できる主な機能は、次のとおりです。

タブ名	主な機能
状態	用紙トレイ、排出トレイ、および消耗品の状態を確認できます。
ジョブ	ジョブ一覧やジョブ履歴を確認できます。
プロパティ	本機の各種設定内容の確認と変更ができます。
プリンター	プリンターの認証機能を使用したユーザー制限の設定ができます。
サポート	サポート情報を表示できます。

補足

・一部の設定は、［新しい設定を適用する］をクリックしたあとに、本機をCentreWare Internet Servicesから再起動するか、または手動で電源を入れなおすと有効になります。

参照

・CentreWare Internet Servicesから設定できる項目については、CentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。

6.1.1 Webブラウザーの設定

CentreWare Internet Servicesを使用する前に、Webブラウザーで次の設定をしてください。
Internet Explorer 11を例に説明します。

インターネット一時ファイルの設定をする

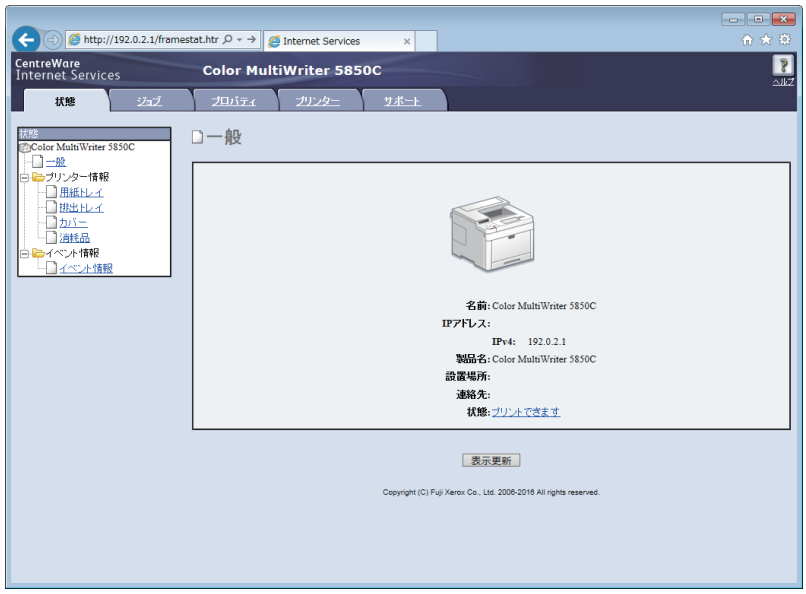
1. **［ツール］>［インターネットオプション］をクリックします。**
   ［インターネットオプション］ダイアログボックスが表示されます。
2. **［全般］タブで、［閲覧の履歴］の［設定］をクリックします。**
   ［Webサイトデータの設定］ダイアログボックスが表示されます。
3. **［インターネット一時ファイル］タブで、［保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認］から［Webサイトを表示するたびに確認する］または［Internet Explorerを開始するたびに確認する］を選びます。**
4. **［OK］をクリックします。**
   ［Webサイトデータの設定］ダイアログボックスが閉じます。
5. **［OK］をクリックします。**
   ［インターネットオプション］ダイアログボックスが閉じます。

本機のIPアドレスについて、プロキシーサーバーを使用しないように設定する

1. **［ツール］＞［インターネットオプション］をクリックします。**
   ［インターネットオプション］ダイアログボックスが表示されます。
2. **［接続］タブで、［ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定］の［LANの設定］をクリックします。**
   ［ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定］ダイアログボックスが表示されます。
3. **［プロキシサーバー］を、次のどちらかに設定します。**
   - ［LANにプロキシサーバーを使用する］のチェックマークを外す。
   - ［詳細設定］をクリックし、［例外］に本機のIPアドレスを入力して［OK］をクリックする。
4. **［OK］をクリックします。**
   ［ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定］ダイアログボックスが閉じます。
5. **［OK］をクリックします。**
   ［インターネットオプション］ダイアログボックスが閉じます。

6.1.2 CentreWare Internet Services を起動する

CentreWare Internet Servicesを起動するには、本機のIPアドレスをWebブラウザーに入力します。



本機のIPアドレスがわからない場合は、操作パネルでIPアドレスを確認するか、プリンター設定リストを出力して確認してください。IPアドレスの確認方法については、「ネットワーク設定を確認する (P.30)」を参照してください。

6.1.3　ユーザー認証とセキュリティー

CentreWare Internet Servicesを使用するときに、ユーザー名とパスワードを求められたり、「証明書」が必要になったりすることがあります。

ユーザー認証する

［プロパティ］タブの［セキュリティー］の［機械管理者の設定］を［有効］にした場合は、一部の設定を変更するときに、ユーザー名とパスワードの入力を求められます。本機に登録した機械管理者のログインIDとパスワードを入力してください。

送信を暗号化する

［プロパティ］タブの［セキュリティー］で証明書を作成して［SSL/TLSサーバー通信］を［有効］にした場合は、本機とWebブラウザーの間で送信するデータが暗号化されます。また、CentreWare Internet Servicesを使用するときに、証明書が必要になることがあります。

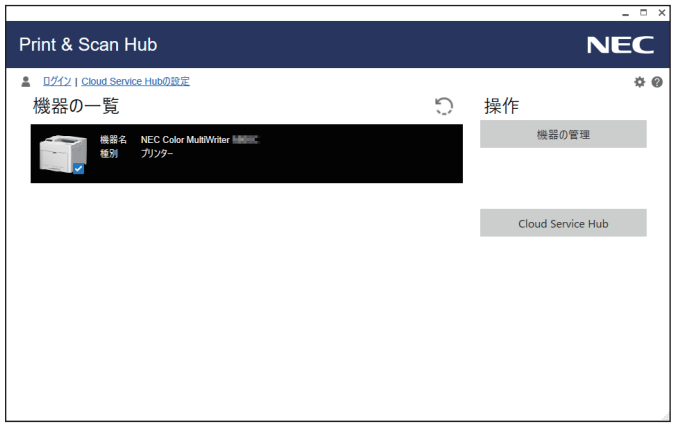
6.2 本機のソフトウェア

6.2.1 概要

付属の「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクを使って、次のソフトウェアをインストールできます。

Print & Scan Hub (Windows®)

Print & Scan Hubは、本機や本機の消耗品の状態を表示する機能を提供するソフトウェアです。
Print & Scan Hubを起動するには、[スタート] > [すべてのプログラム] > [NEC Print & Scan Hub] > [Print & Scan Hub] をクリックします。



ContentsBridge Utility (Windows®)

PC上のファイルを直接プリンターに送って印刷するためのソフトウェアです。PDFファイルやTIFFファイルを印刷することができます。
ContentsBridge Utilityを起動するには、[スタート] > [ContentsBridge Utility] をクリックします。

6.2.2 ソフトウェアをアップデートする

最新版のソフトウェアおよびファームウェアは、弊社公式サイトから入手できます。なお、通信費用はお客様の負担になりますので、ご了承ください。
次のURLにアクセスして、ダウンロードしてください。
http://jpn.nec.com/printer/laser/download/

7 セキュリティー機能

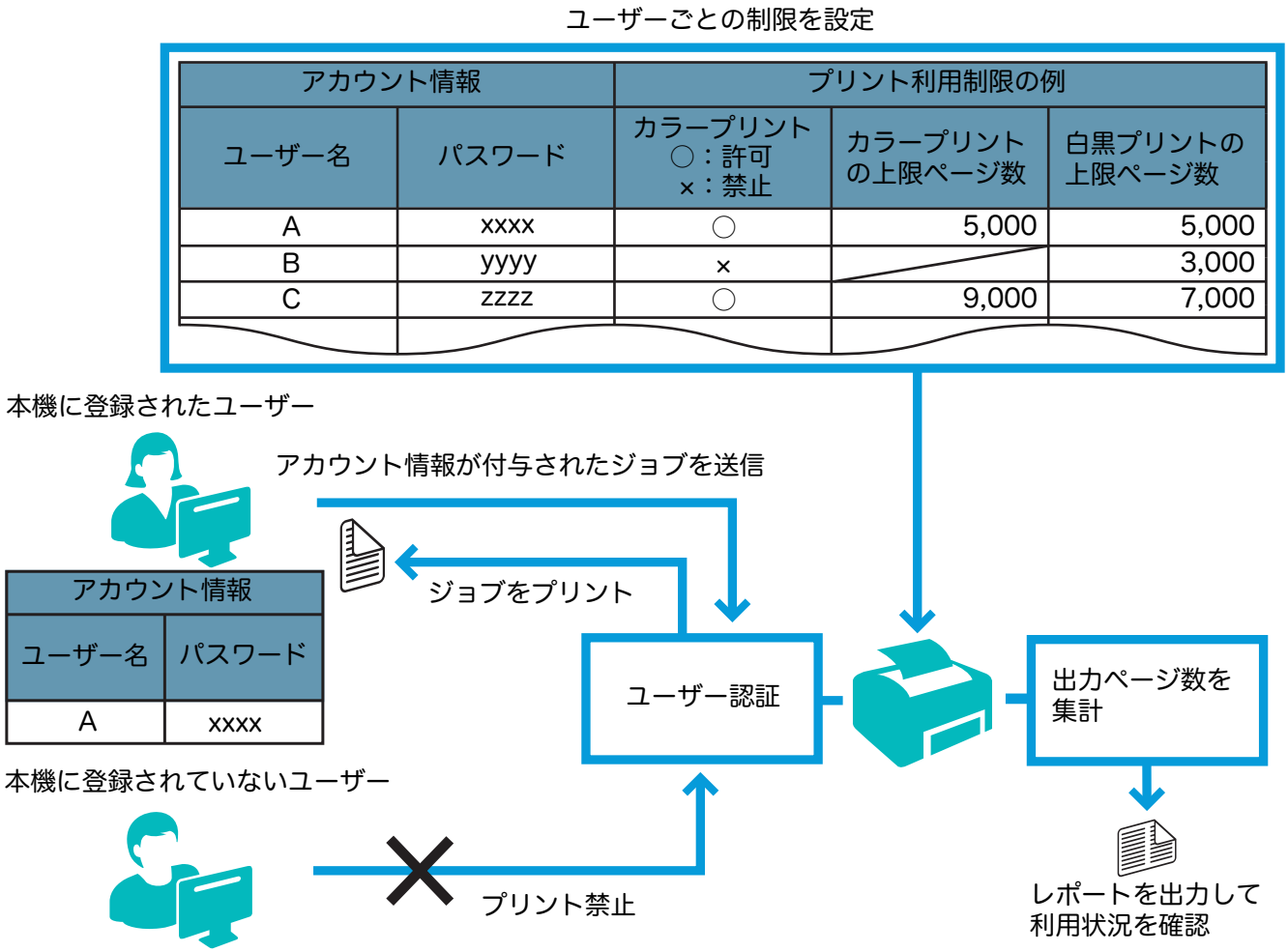
7.1 プリント集計管理.....86
7.2 暗号化機能を使う.....97

7.1 プリント集計管理

7.1.1 概要

プリント集計管理機能を有効にすると、ユーザー認証機能が有効になり、本機に登録されたユーザー（登録ユーザー）だけがプリントできるようになります。登録ユーザーごとにプリントの利用を制限したり、プリントの利用量を集計したりすることもできます。
登録ユーザーは、アカウント情報が設定された弊社のプリンタードライバーまたはアプリケーションからプリントする必要があります。

次の図は、プリント集計管理の機能概要を示しています。



プリント集計管理には、次の機能があります。

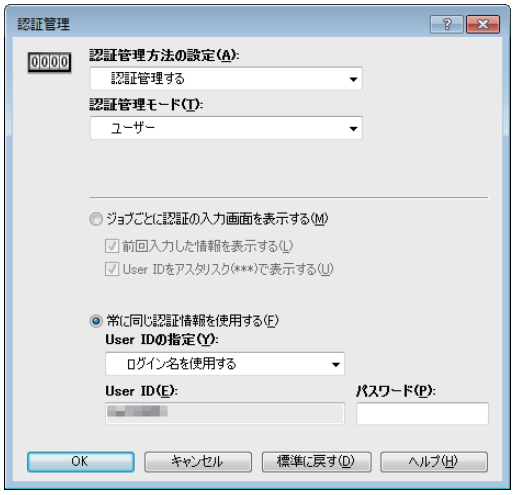
- 登録ユーザーだけにプリントを許可する (P.87)
- 登録ユーザーごとにプリントの利用を制限する (P.89)
  - 白黒プリントだけを許可する (P.89)
  - カラー／白黒プリントの上限ページ数を設定する (P.92)
- アカウント情報を持たないジョブのプリントを許可する (P.95)
  - カラー／白黒プリントを許可する (P.95)
  - 白黒プリントだけを許可する (P.96)
- プリントの利用状況を確認する (P.96)

7.1.2　登録ユーザーだけにプリントを許可する

プリンタードライバー／アプリケーションの認証情報の設定

弊社のプリンタードライバーまたはアプリケーションに、プリント時の認証に必要なアカウント情報（ユーザー名とパスワード）を設定します。
ここでは、Window® 7およびWindows® 10のPCLドライバーを例に手順を説明します。

1. **［スタート］＞［デバイスとプリンター］をクリックします。**
   Windows® 10の場合は、スタートボタンを右クリックし、［コントロールパネル］＞［ハードウェアとサウンド］＞［デバイスとプリンター］をクリックします。
2. **本機のアイコンを右クリックし、［プリンターのプロパティ］を選びます。**
3. **［プリンター構成］タブをクリックします。**
4. **［認証設定］をクリックします。**
5. **［認証管理方法の設定］で［認証管理する］を選びます。**



6. **［認証管理モード］を設定します。**

参照

・設定項目については、PCLドライバーのヘルプを参照してください。

7. **アカウント（ユーザー名とパスワード）を設定します。**
   - ジョブを送信するたびにアカウントの入力画面を表示する場合
     a ［ジョブごとに認証の入力画面を表示する］を選びます。
     b 必要に応じて、［前回入力した情報を表示する］および［User IDをアスタリスク(***)で表示する］にチェックマークを付けます。
   - ユーザー名にWindows®のログイン名を使用して、常に同じアカウントを使用する場合
     a ［常に同じ認証情報を使用する］を選びます。
     b ［User IDの指定］で［ログイン名を使用する］を選びます。
     c ［パスワード］を設定します。
   - ユーザー名を手動で設定して、常に同じアカウントを使用する場合
     a ［常に同じ認証情報を使用する］を選びます。
     b ［User IDの指定］で［IDを入力する］を選びます。
     c ［User ID］および［パスワード］を設定します。
8. **［OK］をクリックします。**
9. **［OK］をクリックします。**

本機へのユーザー登録

[プリント集計管理]を有効にして、プリンタードライバーまたはアプリケーションで設定したユーザーのアカウント情報を本機に登録します。

1. **CentreWare Internet Servicesを起動します。**

   参照

   ・CentreWare Internet Servicesの起動方法については、「CentreWare Internet Servicesを起動する (P.82)」を参照してください。

2. **[プリンター]タブをクリックします。**
3. **[プリント集計管理]の[有効]にチェックマークを付け、[新しい設定を適用する]をクリックします。**

4. **[再起動]をクリックします。**
5. **本機の再起動後、Webブラウザーの表示を更新します。**
6. **[ユーザー登録の編集]をクリックします。**

7. **[ユーザー登録番号]を設定し、[編集]をクリックします。**

8. ［ユーザー名］および［パスワード］に、プリンタードライバーまたはアプリケーションで設定したアカウント情報を入力します。

9. ［パスワードの確認入力］にパスワードを再度入力します。
10. ［登録する］をクリックします。

7.1.3 登録ユーザーごとにプリントの利用を制限する

設定できる制限は次のとおりです。
- 白黒プリントだけを許可する (P.89)
- カラー／白黒プリントの上限ページ数を設定する (P.92)

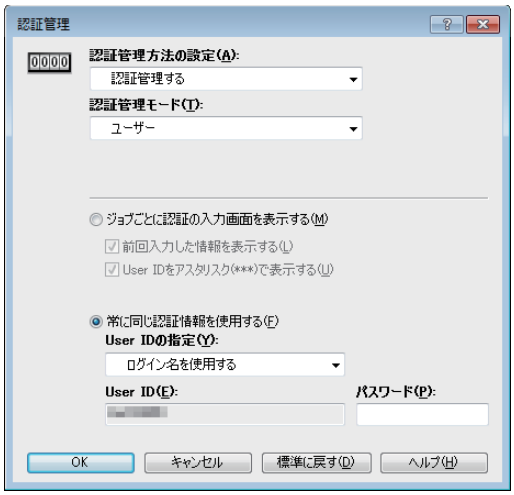
白黒プリントだけを許可する

●プリンタードライバー／アプリケーションの認証情報の設定

弊社のプリンタードライバーまたはアプリケーションに、プリント時の認証に必要なアカウント情報（ユーザー名とパスワード）を設定します。
ここでは、Window® 7およびWindows® 10のPCLドライバーを例に手順を説明します。

1. ［スタート］＞［デバイスとプリンター］をクリックします。
Windows® 10の場合は、スタートボタンを右クリックし、［コントロールパネル］＞［ハードウェアとサウンド］＞［デバイスとプリンター］をクリックします。
2. 本機のアイコンを右クリックし、［プリンターのプロパティ］を選びます。
3. ［プリンター構成］タブをクリックします。
4. ［認証設定］をクリックします。

5. ［認証管理方法の設定］で［認証管理する］を選びます。



6. ［認証管理モード］を設定します。

参照

・設定項目については、PCLドライバーのヘルプを参照してください。

7. アカウント（ユーザー名とパスワード）を設定します。

・ ジョブを送信するたびにアカウントの入力画面を表示する場合

a ［ジョブごとに認証の入力画面を表示する］を選びます。

b 必要に応じて、［前回入力した情報を表示する］および［User IDをアスタリスク(***)で表示する］にチェックマークを付けます。

・ ユーザー名にWindows®のログイン名を使用して、常に同じアカウントを使用する場合

a ［常に同じ認証情報を使用する］を選びます。

b ［User IDの指定］で［ログイン名を使用する］を選びます。

c ［パスワード］を設定します。

・ ユーザー名を手動で設定して、常に同じアカウントを使用する場合

a ［常に同じ認証情報を使用する］を選びます。

b ［User IDの指定］で［IDを入力する］を選びます。

c ［User ID］および［パスワード］を設定します。

8. ［OK］をクリックします。

9. ［OK］をクリックします。

●本機へのユーザー登録とプリントの利用制限の設定

［プリント集計管理］を有効にして、プリンタードライバーまたはアプリケーションで設定したユーザーのアカウント情報を本機に登録し、プリントの利用制限を設定します。

1. CentreWare Internet Servicesを起動します。

参照

・CentreWare Internet Servicesの起動方法については、「CentreWare Internet Servicesを起動する (P.82)」を参照してください。

2. ［プリンター］タブをクリックします。

3. [プリント集計管理]の[有効]にチェックマークを付け、[新しい設定を適用する]をクリックします。

4. [再起動]をクリックします。
5. 本機の再起動後、Webブラウザーの表示を更新します。
6. [ユーザー登録の編集]をクリックします。

7. [ユーザー登録番号]を設定し、[編集]をクリックします。

8. **［ユーザー名］および［パスワード］に、プリンタードライバーまたはアプリケーションで設定したアカウント情報を入力します。**

9. **［パスワードの確認入力］にパスワードを再度入力します。**

10. **［カラープリントモード制限］で［白黒のみ許可］を選びます。**

11. **［登録する］をクリックします。**

補足

・［白黒のみ許可］が設定されたユーザーのカラープリントジョブはキャンセルされます。ジョブをキャンセルせずに白黒でプリントする場合は、次の手順に従って［強制白黒プリント］を有効にします。

1 〈メニュー〉ボタンを押します。
2 ▲または▼ボタンを押して［管理者設定］を選び、OKボタンを押します。
3 ▲または▼ボタンを押して［システム設定］を選び、OKボタンを押します。
4 ▲または▼ボタンを押して［強制白黒プリント］を選び、OKボタンを押します。
5 ▲または▼ボタンを押して［する］を選び、OKボタンを押します。
6 本機の電源を切り、再度電源を入れます。

カラー／白黒プリントの上限ページ数を設定する

カラーまたは白黒でプリントできるページ数の上限を設定します。

●プリンタードライバー／アプリケーションの認証情報の設定

弊社のプリンタードライバーまたはアプリケーションに、プリント時の認証に必要なアカウント情報（ユーザー名とパスワード）を設定します。
ここでは、Window® 7およびWindows® 10のPCLドライバーを例に手順を説明します。

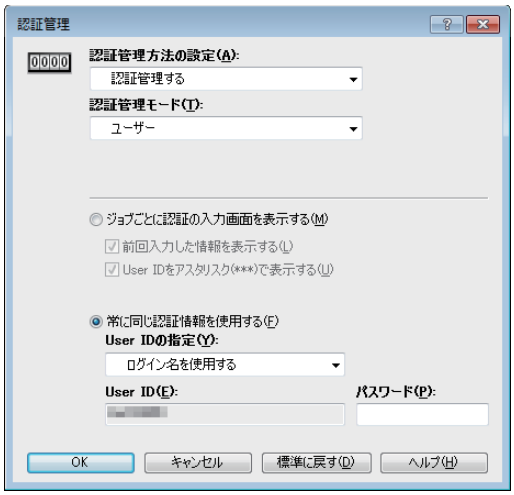
1. **［スタート］＞［デバイスとプリンター］をクリックします。**
Windows® 10の場合は、スタートボタンを右クリックし、［コントロールパネル］＞［ハードウェアとサウンド］＞［デバイスとプリンター］をクリックします。

2. **本機のアイコンを右クリックし、［プリンターのプロパティ］を選びます。**

3. **［プリンター構成］タブをクリックします。**

4. **［認証設定］をクリックします。**

5. ［認証管理方法の設定］で［認証管理する］を選びます。



6. ［認証管理モード］を設定します。

参照

・設定項目については、PCLドライバーのヘルプを参照してください。

7. アカウント（ユーザー名とパスワード）を設定します。

・ ジョブを送信するたびにアカウントの入力画面を表示する場合

a ［ジョブごとに認証の入力画面を表示する］を選びます。

b 必要に応じて、［前回入力した情報を表示する］および［User IDをアスタリスク(***)で表示する］にチェックマークを付けます。

・ ユーザー名にWindows®のログイン名を使用して、常に同じアカウントを使用する場合

a ［常に同じ認証情報を使用する］を選びます。

b ［User IDの指定］で［ログイン名を使用する］を選びます。

c ［パスワード］を設定します。

・ ユーザー名を手動で設定して、常に同じアカウントを使用する場合

a ［常に同じ認証情報を使用する］を選びます。

b ［User IDの指定］で［IDを入力する］を選びます。

c ［User ID］および［パスワード］を設定します。

8. ［OK］をクリックします。

9. ［OK］をクリックします。

●本機へのユーザー登録とプリントの利用制限の設定

［プリント集計管理］を有効にして、プリンタードライバーまたはアプリケーションで設定したユーザーのアカウント情報を本機に登録し、プリントの利用制限を設定します。

1. CentreWare Internet Servicesを起動します。

参照

・CentreWare Internet Servicesの起動方法については、「CentreWare Internet Servicesを起動する (P.82)」を参照してください。

2. ［プリンター］タブをクリックします。

3. [プリント集計管理]の[有効]にチェックマークを付け、[新しい設定を適用する]をクリックします。

4. [再起動]をクリックします。
5. 本機の再起動後、Webブラウザーの表示を更新します。
6. [ユーザー登録の編集]をクリックします。

7. [ユーザー登録番号]を設定し、[編集]をクリックします。

8. [ユーザー名] および [パスワード] に、プリンタードライバーまたはアプリケーションで設定したアカウント情報を入力します。

9. [パスワードの確認入力] にパスワードを再度入力します。
10. [カラープリントの上限ページ数] および [白黒プリントの上限ページ数] に任意の数値を入力します。
11. [登録する] をクリックします。

7.1.4 アカウント情報を持たないジョブのプリントを許可する

[プリント集計管理] が有効のとき、アカウント情報（ユーザー名とパスワード）を持たないジョブはプリントできません。プリントを許可したい場合は、[未認証ユーザーのプリント] を有効にします。白黒プリントだけを許可することもできます。

アカウント情報を持たないジョブとは、次のとおりです。

- 他社製のプリンタードライバーやユーティリティーで作成されたジョブ
- 次の機能を使って送信されたジョブ
  - AirPrint
  - Google クラウド プリント
  - Mopria プリントサービス

補足

・弊社のプリンタードライバーやアプリケーションを使用した場合でも、プリンタードライバーやアプリケーションの認証情報の設定を無効にすると、アカウント情報を持たないジョブになります。

カラー／白黒プリントを許可する

1. 〈メニュー〉 ボタンを押します。
2. ▲または▼ボタンを押して [管理者設定] を選び、OKボタンを押します。
3. ▲または▼ボタンを押して [システム設定] を選び、OKボタンを押します。
4. ▲または▼ボタンを押して [未認証ユーザーのプリント] を選び、OKボタンを押します。
5. ▲または▼ボタンを押して [許可] を選び、OKボタンを押します。

6. ⮌〈戻る〉ボタンを2回押します。
7. ▲または▼ボタンを押して［強制白黒プリント］を選び、OKボタンを押します。
8. ▲または▼ボタンを押して［しない］を選び、OKボタンを押します。
9. 本機の電源を切り、再度電源を入れます。

白黒プリントだけを許可する

1. 〈メニュー〉ボタンを押します。
2. ▲または▼ボタンを押して［管理者設定］を選び、OKボタンを押します。
3. ▲または▼ボタンを押して［システム設定］を選び、OKボタンを押します。
4. ▲または▼ボタンを押して［未認証ユーザーのプリント］を選び、OKボタンを押します。
5. ▲または▼ボタンを押して［許可］を選び、OKボタンを押します。
6. ⮌〈戻る〉ボタンを2回押します。
7. ▲または▼ボタンを押して［強制白黒プリント］を選び、OKボタンを押します。
8. ▲または▼ボタンを押して［する］を選び、OKボタンを押します。
9. 本機の電源を切り、再度電源を入れます。

7.1.5　プリントの利用状況を確認する

レポートを出力して、プリントの利用制限の設定状況と出力したページ数の合計を確認できます。

参照
・レポートの出力方法については、「ユーザー別に確認する (P.124)」を参照してください。

7.2 暗号化機能を使う

暗号化機能を使うと、データを暗号化して通信できるようになり、データの盗聴や改ざんを防止できます。本機で暗号化機能を使うには、電子証明書が必要になります。

補足

・本機で使用できる電子証明書は次のとおりです。
-CentreWare Internet Servicesを使って作成した自己証明書
-認証局（CA）によって署名された証明書
・本機にインポートできる電子証明書の規格は次のとおりです。
-PKCS#12（DER形式）
-PKCS#7（DER形式）（CSR用）

暗号化機能の設定にはCentreWare Internet Servicesを使います。

7.2.1 事前準備をする

SSL/TLSサーバー通信を有効にする

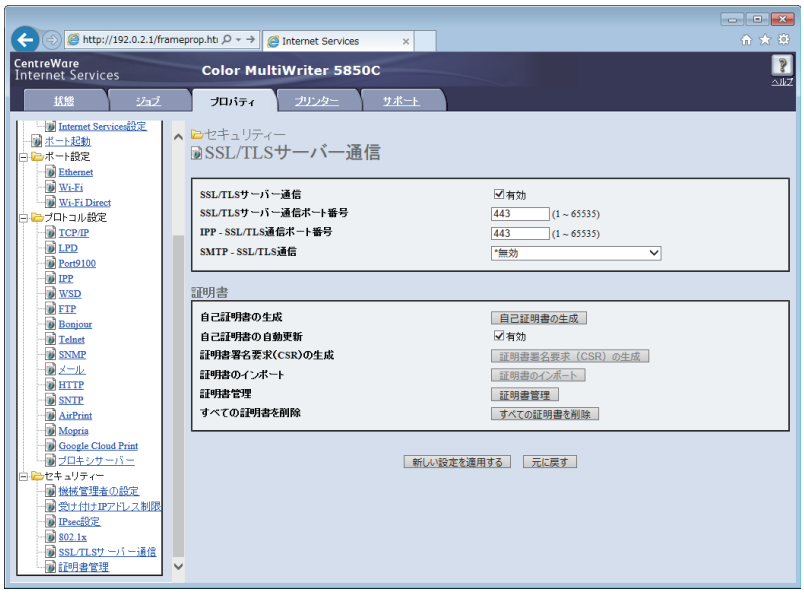
電子証明書を使った暗号化機能を使う前に、SSL/TLSサーバー通信を有効にします。

1. **CentreWare Internet Servicesを起動します。**

参照

・CentreWare Internet Servicesの起動方法については、「CentreWare Internet Servicesを起動する (P.82)」を参照してください。

2. **［プロパティ］タブをクリックします。**
3. **画面左の領域にある［SSL/TLSサーバー通信］をクリックします。**
4. **［SSL/TLSサーバー通信］の［有効］にチェックマークを付け、［新しい設定を適用する］をクリックします。**



5. **［再起動］をクリックします。**

電子証明書を設定する

CentreWare Internet Servicesを使って作成した自己証明書と認証局（CA）によって署名された証明書で設定手順が異なります。

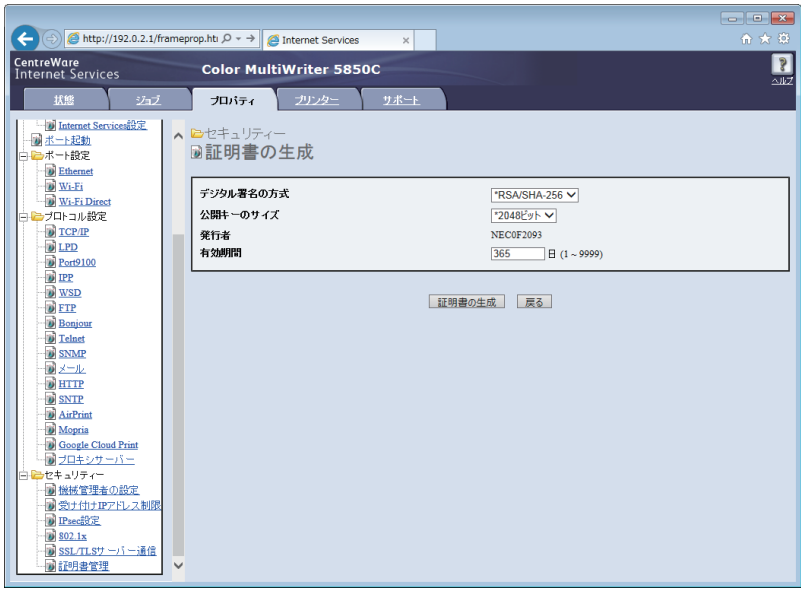
●自己証明書を作成して使う場合

1. CentreWare Internet Servicesを起動します。

   参照

   ・CentreWare Internet Servicesの起動方法については、「CentreWare Internet Servicesを起動する (P.82)」を参照してください。

2. ［プロパティ］タブをクリックします。
3. 画面左の領域にある［SSL/TLSサーバー通信］をクリックします。
4. ［自己証明書の生成］をクリックします。
5. ［デジタル署名の方式］からデジタル署名の方式を選びます。



6. ［公開キーのサイズ］の一覧から公開キーのサイズを選びます。
7. ［有効期間］に証明書の有効期間を設定します。
8. ［証明書の生成］をクリックします。

●認証局（CA）によって署名された証明書を使う場合

認証局（CA）によって署名された証明書を使う場合は、証明書署名要求（CSR）を作成し、認証局（CA）から証明書を受け取ります。

証明書署名要求（CSR）を作成する

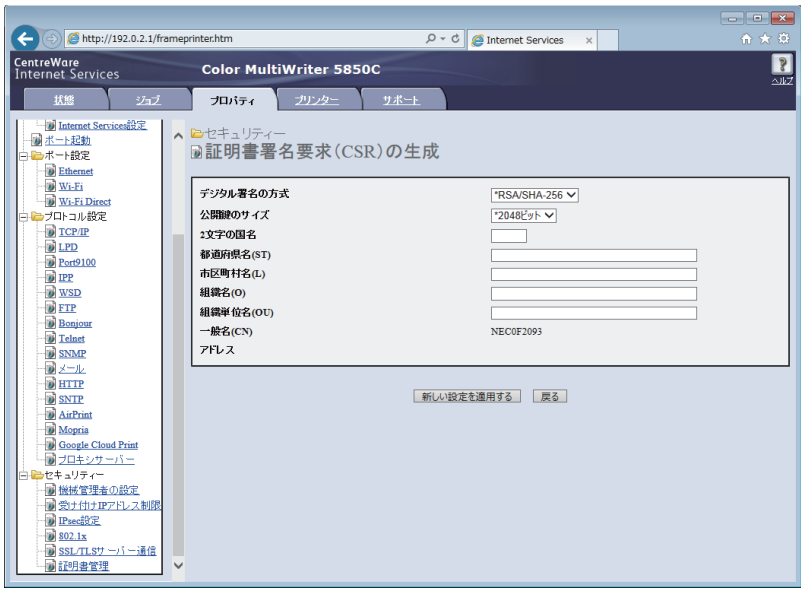
1. CentreWare Internet Servicesを起動します。

   参照

   ・CentreWare Internet Servicesの起動方法については、「CentreWare Internet Servicesを起動する (P.82)」を参照してください。

2. ［プロパティ］タブをクリックします。
3. 画面左の領域にある［SSL/TLSサーバー通信］をクリックします。
4. ［証明書署名要求（CSR）の生成］をクリックします。

5. 各項目を設定します。



6. [新しい設定を適用する] をクリックします。

7. [エクスポート] をクリックします。
CSRがコンピューターに保存されます。

注記

・CSRをエクスポートしたあと、証明書のインポートが終わるまでの間に、新しくCSRをエクスポートしないでください。CSRに対応した秘密鍵が本機に保存されているため、新しくCSRを再生成すると証明書との整合がとれなくなり、正しくインポートできなくなります。

8. CSRを認証局（CA）に送付して、CA署名証明書を受け取ります。

補足

・CSRの送付方法については、ご利用の認証局（CA）に従ってください。

認証局（CA）によって署名された証明書をインポートする

注記

・電子証明書ファイルをインポートする前に、電子証明書ファイルのバックアップをとってください。

補足

・電子証明書は必ずInternet Explorer® でインポートしてください。
・PKCS#12形式の証明書のインポート後、エクスポートを実行しても秘密鍵はエクスポートされません。

1. CentreWare Internet Servicesを起動します。

参照

・CentreWare Internet Servicesの起動方法については、「CentreWare Internet Servicesを起動する (P.82)」を参照してください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

3. 画面左の領域にある [SSL/TLSサーバー通信] をクリックします。

4. [証明書のインポート] をクリックします。

5. インポートする証明書ファイルに対応するパスワードを入力します。

補足

・PKCS#7形式（ファイル名の拡張子がp7bになっているもの）の証明書をインポートするときはパスワードの入力は不要です。

6. 確認用のパスワードを再入力します。

7. ［ファイルを選択］をクリックし、インポートするファイルを選びます。
8. ［インポート］をクリックします。

利用する証明書を選ぶ

1. CentreWare Internet Servicesを起動します。

参照

・CentreWare Internet Servicesの起動方法については、「CentreWare Internet Servicesを起動する (P.82)」を参照してください。

2. ［プロパティ］タブをクリックします。
3. 画面左の領域にある［SSL/TLSサーバー通信］をクリックします。
4. ［証明書管理］をクリックします。

5. ［カテゴリ］と［証明書の目的］を選びます。

参照

・詳しくは、CentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。

6. ［証明書の一覧表示］をクリックします。
7. 利用する証明書を選びます。

補足

・選んだ証明書の［有効性］列に［*有効］が表示されていることを確認します。

8. ［証明書の詳細］をクリックします。
9. 内容を確認し、画面右上にある［証明書の選択］をクリックします。
10. ［再起動］をクリックします。

参照

・電子証明書の削除やエクスポートについては、CentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。

7.2.2　暗号化機能を設定する

次の暗号化機能を利用できます。
- HTTP通信/IPP印刷の暗号化
- SMTP通信の暗号化
- WPA-Enterpriseでの無線LAN接続

HTTP通信/IPP印刷の暗号化

Webブラウザーと本機の通信を暗号化した場合は、Webブラウザーのアドレス欄には「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力します。
- IPアドレスの入力例
  https://192.0.2.1/（IPv4の場合）
  https://[2001:DB8::1234]/（IPv6の場合）
- インターネットアドレスの入力例
  https://myhost.example.com/

IPPの通信（インターネット印刷）を暗号化する場合は、お使いのコンピューターに本機を追加するときに、本機のURLとして、「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力します。

SMTP通信の暗号化

1. **CentreWare Internet Servicesを起動します。**

   参照

   ・CentreWare Internet Servicesの起動方法については、「CentreWare Internet Servicesを起動する (P.82)」を参照してください。

2. **［プロパティ］タブをクリックします。**
3. **画面左の領域にある［SSL/TLSサーバー通信］をクリックします。**
4. **［SMTP - SSL/TLS通信］から接続方法を選びます。**
5. **［新しい設定を適用する］をクリックします。**

WPA-Enterpriseでの無線LAN接続

●EAP-TLSの場合

1. **CentreWare Internet Servicesを起動します。**

   参照

   ・CentreWare Internet Servicesの起動方法については、「CentreWare Internet Servicesを起動する (P.82)」を参照してください。

2. **［プロパティ］タブをクリックします。**
3. **画面左の領域にある［Wi-Fi］をクリックします。**
4. **［セキュリティー］の［暗号化方式］から、［WPA2-Enterprise-AES］を選びます。**

   補足

   ・［通信方式］で［インフラストラクチャーモード］が設定されているときに使用できます。

5. **［WPA-Enterprise］の［Identity］を設定します。**
6. **［WPA-Enterprise］の［EAP認証方式］から、［EAP-TLS］を選びます。**
7. **［新しい設定を適用する］をクリックします。**

●PEAPV0 MS-CHAPV2／ EAP-TTLS PAP／EAP-TTLS CHAPの場合

1. CentreWare Internet Servicesを起動します。

   参照

   ・CentreWare Internet Servicesの起動方法については、「CentreWare Internet Servicesを起動する (P.82)」を参照してください。

2. ［プロパティ］タブをクリックします。
3. 画面左の領域にある［Wi-Fi］をクリックします。
4. ［セキュリティー］の［暗号化方式］から、［WPA2-Enterprise-AES］を選びます。
5. ［WPA-Enterprise］の［Identity］、［ユーザー名］、［パスワード］、および［パスワードの確認入力］を設定します。
6. ［WPA-Enterprise］の［EAP認証方式］で、［PEAPV0 MS-CHAPV2］、［EAP-TTLS PAP］、または［EAP-TTLS CHAP］を選びます。
7. ［新しい設定を有効にする］をクリックします。

8 日常管理

8.1 消耗品を交換する.....104
8.2 清掃する.....114
8.3 出力したページ数を確認する.....124

8.1 消耗品を交換する

⚠ 警告

- **こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。**
  本製品内およびトナーカートリッジ、トナー回収ボトル等に付着したトナーを電気掃除機で吸引することもおやめください。
  掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。
  床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。
  大量にこぼれた場合、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。
- **トナーカートリッジは、絶対に火中に投じないでください。トナーカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジは弊社にて回収いたしますので、必ずお買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。**
- **トナー回収ボトルは、絶対に火中に投じないでください。トナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナー回収ボトルは、弊社にて回収いたしますので、必ずお買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。**

⚠ 注意

- **ドラムカートリッジやトナーカートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。**
- **ドラムカートリッジやトナーカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。**
- **次の事項に従って、応急処置をしてください。**
  - **トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。**
  - **トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで15分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。**
  - **トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。**
  - **トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。**

8.1.1 トナーカートリッジを交換する

概要

トナーの残量によって、次のようなメッセージがディスプレイに表示されます。
メッセージは、ブラックトナーカートリッジの場合を例にしています。

メッセージ	残り印字可能ページ数[*2]	本機の状態および処置
「ブラックトナーを準備」[*1]	同梱トナーカートリッジ 約 160 ページ トナーカートリッジ 約 600 ページ[*3] 約 400 ページ[*4] 大容量トナーカートリッジ[*3] 約 1,200 ページ	トナー残量が少なくなっています。新しいトナーカートリッジを用意してください。
「ブラックトナーカートリッジを交換してください。」	-	トナーカートリッジが空になっています。新しいトナーカートリッジに交換してください。

[*1] 純正トナーカートリッジをお使いの場合にだけメッセージが表示されます。

[*2] 印字できる残りのページ数は、印字条件、文書の内容、および本機の電源を入れる／切る頻度によって異なります。

*3 Color MultiWriter 5850Cの場合
*4 Color MultiWriter 5800Cの場合

注記

・トナーがこぼれるおそれがありますので、使用済みトナーカートリッジを床やテーブルに置く場合は、トナーカートリッジの下に紙を敷いてください。
・本機から取り外した古いトナーカートリッジは、再度使用しないでください。印字品質が低下する場合があります。
・使用済みトナーカートリッジは、振ったり衝撃を与えたりしないでください。残っているトナーがこぼれるおそれがあります。
・トナーカートリッジは、パッケージから取り出してから1年以内に使い切ることをおすすめします。

補足

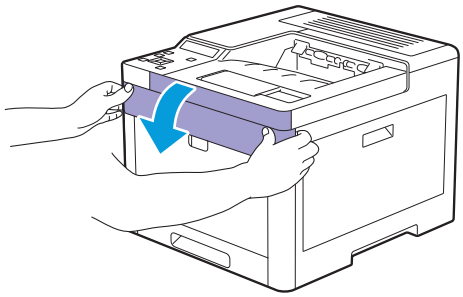
・カラートナーが無くなっても、モノクロでプリントできます。ただし、できるだけ早めにトナーカートリッジを交換することをおすすめします。

トナーカートリッジを交換する

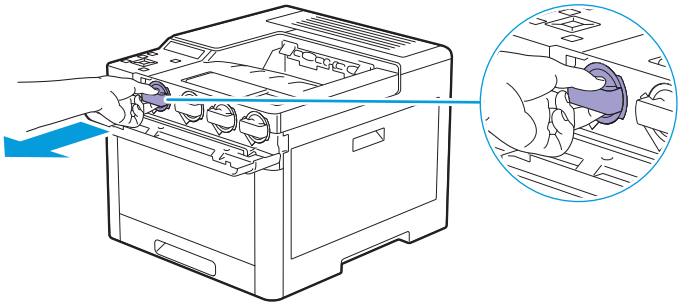
補足

・トナーカートリッジを取り出す前に、必ず手差しトレイからすべての用紙を取り除き、手差しトレイを閉じてください。

1. フロントカバーを開きます。



2. 交換するトナーカートリッジの取っ手を持ち、引き出します。

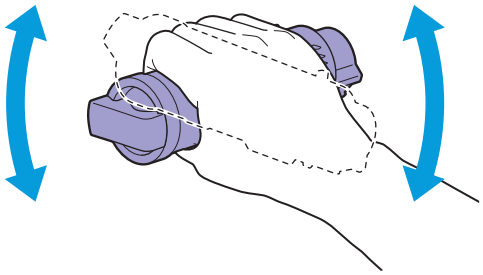


注記

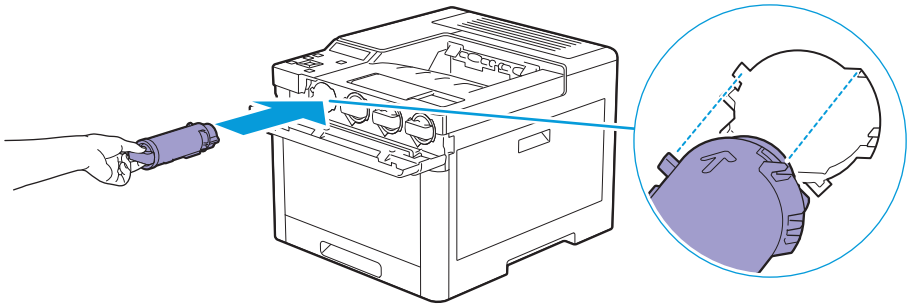
・使用済みトナーカートリッジは振らないでください。カートリッジを振ると、トナーがこぼれるおそれがあります。

3. 取り出したトナーカートリッジと同じ色の、新しいトナーカートリッジを用意します。

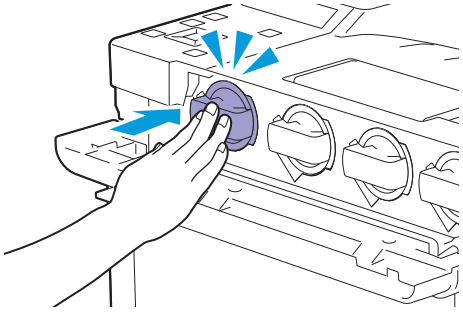
4. トナーが均等になるように、新しいトナーカートリッジを6回振ります。



5. トナーカートリッジを、カートリッジスロットの溝に合わせて差し込みます。



6. カチッと音がするまで押し込みます。



7. フロントカバーを閉じます。

8.1.2　ドラムカートリッジを交換する

注記

・ドラムカートリッジは強い光にさらさないでください。印字品質が低下するおそれがあります。新しいドラムカートリッジは、開封して3分以内に装着し、右サイドカバーを閉じてください。

概要

ドラムカートリッジの交換時期になると、次のようなメッセージがディスプレイに表示されます。
メッセージは、ブラックドラムカートリッジの場合を例にしています。

メッセージ	残り印字可能ページ数[*1]	本機の状態および処置
「ブラックドラムカートリッジ予備を用意してください。」	約 10,000 ページ	ドラムカートリッジの交換時期が近づいています。新しいドラムカートリッジを用意してください。
「ブラックドラムカートリッジを交換してください。」	-	ドラムカートリッジの交換時期になりました。本機が停止します。新しいドラムカートリッジに交換してください。

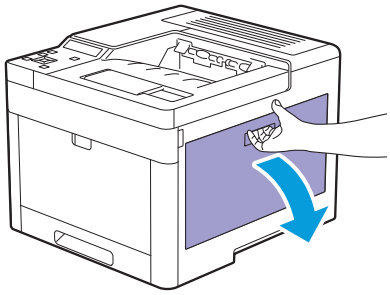
[*1] 印字できる残りのページ数は、印字条件、文書の内容、および本機の電源を入れる／切る頻度によって異なります。

補足

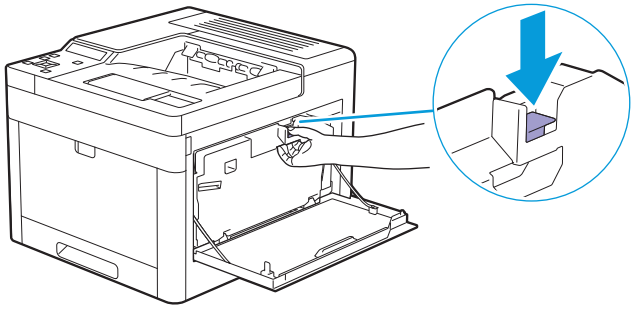
・事前に［ドラム寿命動作］を［継続する］に設定しておくことで、ドラムカートリッジの交換時期になっても本機を停止させずに操作を続けることができます。ただし、印字品質の保証外となるため、新しいドラムカートリッジに交換することをおすすめします。設定については、「［ドラム寿命動作］(P.47)」を参照してください。

ドラムカートリッジを交換する

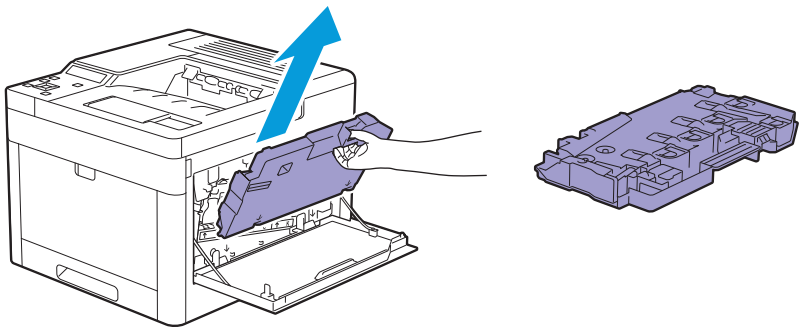
1. 右サイドカバーを開きます。



2. レバーを押し下げ、トナー回収ボトルのロックを外します。

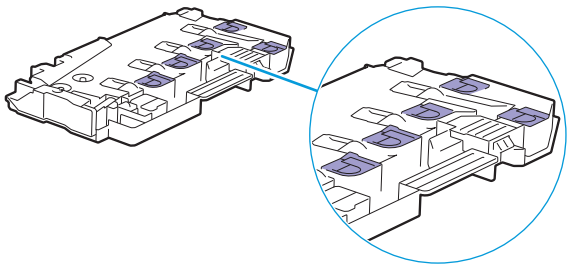


3. トナー回収ボトルをゆっくりと取り出し、トナーがこぼれないように、本機に接していた面を上に向けます。

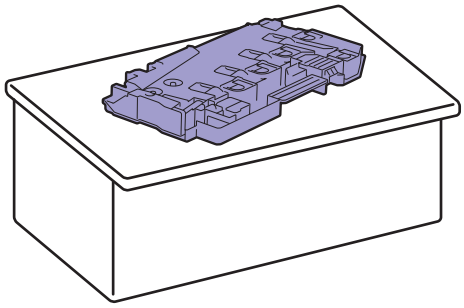


注記

・トナー回収ボトルを取り出す際に、落とさないように注意してください。
・トナー回収ボトルの図に示した箇所を触らないようにしてください。トナーで手が汚れるおそれがあります。

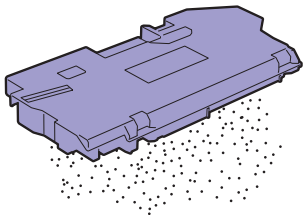


4. 取り出したトナー回収ボトルを、本機に接していた面を上に向けて、平らな場所に置きます。

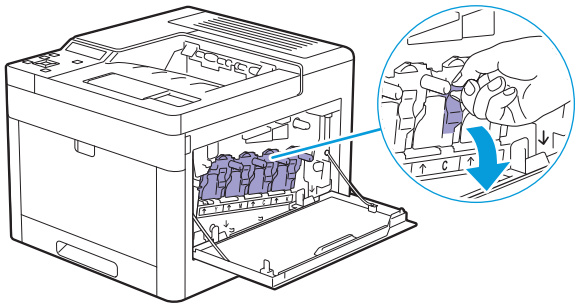


注記

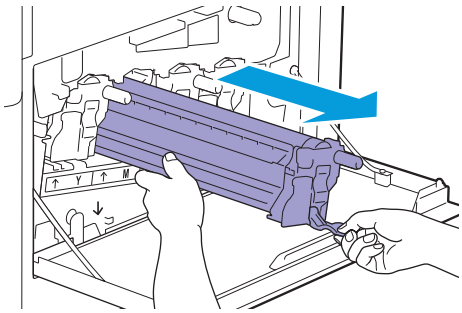
・本機に接していた面を下に向けて置かないでください。トナーがこぼれるおそれがあります。



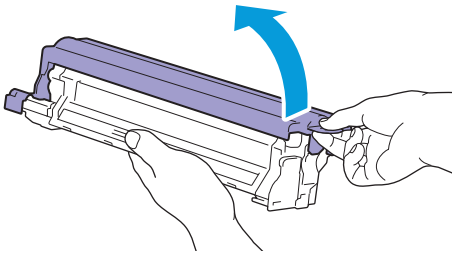
5. 交換するドラムカートリッジのレバーを押し下げます。



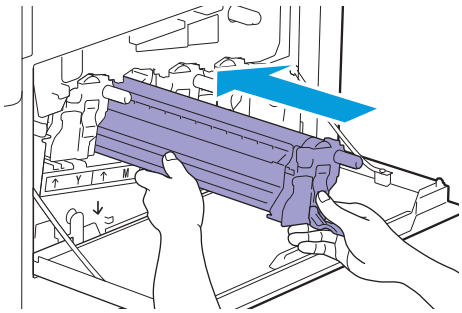
6. レバーを引っ張ってドラムカートリッジを途中まで引き出し、もう一方の手で下から支えながら完全に引き出します。



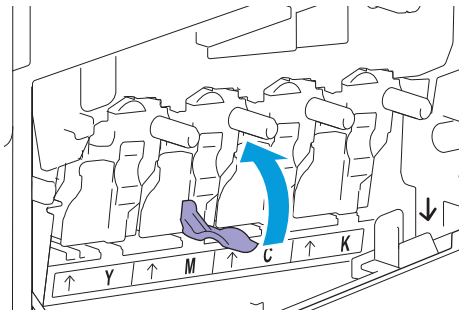
7. 交換する色の新しいドラムカートリッジを開封します。
8. ドラムカートリッジからオレンジ色の保護カバーを取り外します。



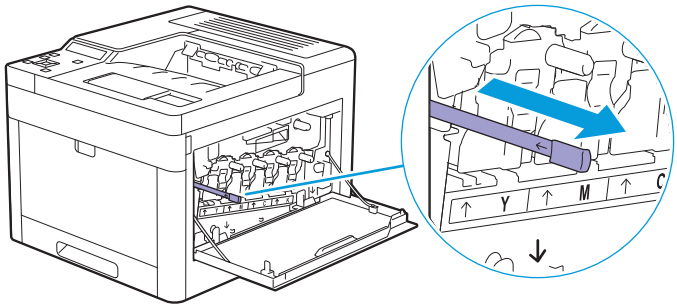
9. ドラムカートリッジをカートリッジスロットにセットし、奥に突き当たるまでゆっくりと押し込みます。



10. ドラムカートリッジのレバーを引き上げます。



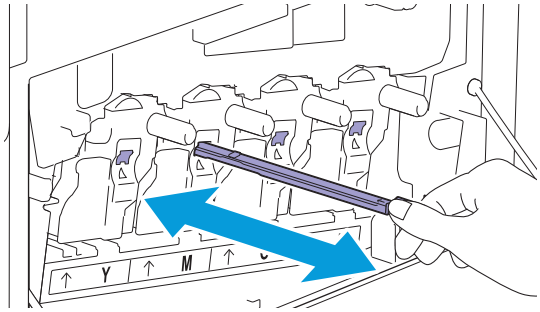
11. 本機内部から清掃棒を取り出します。



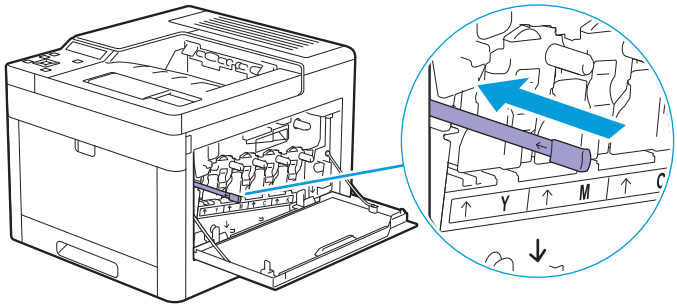
12. ドラムカートリッジの穴に、清掃棒を止まるまで差し込んでから、引き抜きます。

補足

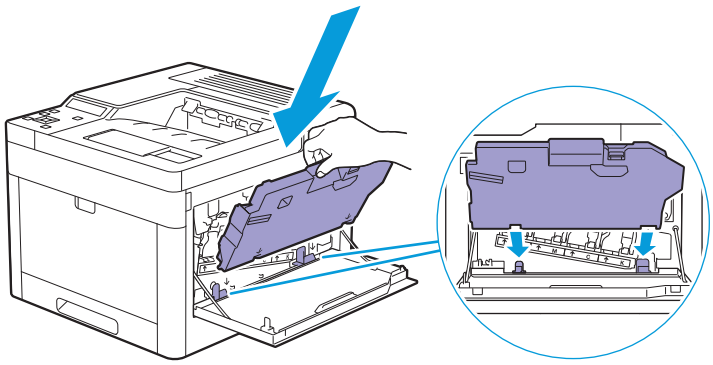
・パッドの付いた面を上にして、清掃棒を差し込んでください。
・清掃棒を何度も出し入れする必要はありません。



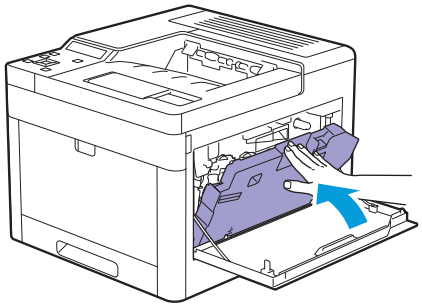
13. 清掃棒を所定の位置に戻します。



14. トナー回収ボトルの下部の2か所のくぼみを本機の突起部に合わせ、トナー回収ボトルを本機にセットします。



15. トナー回収ボトルを、カチッというまで押し込みます。



16. 右サイドカバーを閉じます。

8.1.3　トナー回収ボトルを交換する

概要

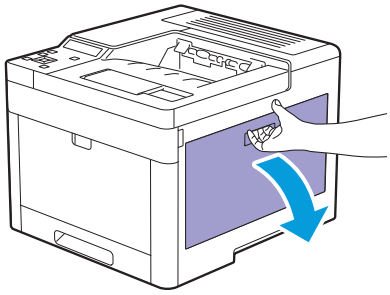
トナー回収ボトルの交換時期になると、次のようなメッセージがディスプレイに表示されます。

メッセージ	残り印字可能ページ数[*1]	本機の状態および処置
「トナー回収ボトル予備を用意してください。」	約 3,000 ページ	トナー回収ボトルの交換時期が近づいています。新しいトナー回収ボトルを用意してください。
「トナー回収ボトルを交換してください。」	-	トナー回収ボトルの交換時期になりました。新しいトナー回収ボトルに交換してください。

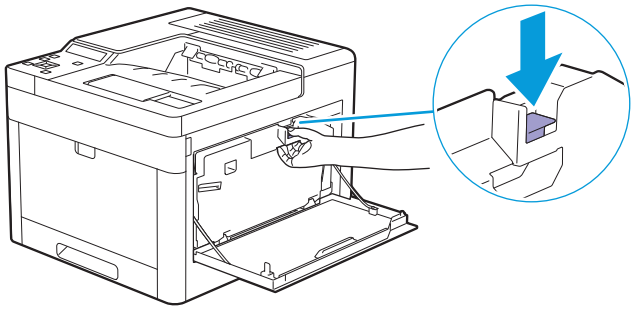
[*1] 印字できる残りのページ数は、印字条件、文書の内容、および本機の電源を入れる／切る頻度によって異なります。

トナー回収ボトルを交換する

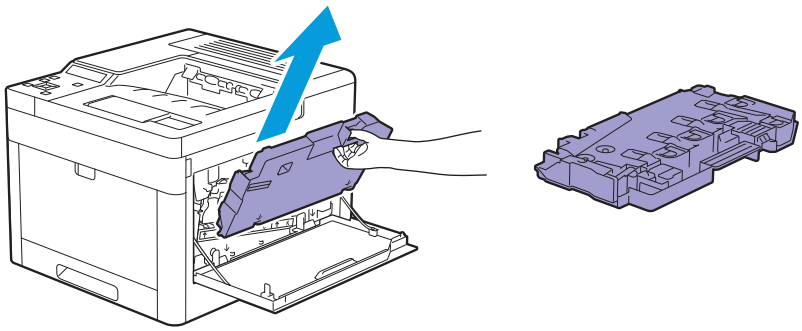
1. 右サイドカバーを開きます。



2. レバーを押し下げ、トナー回収ボトルのロックを外します。

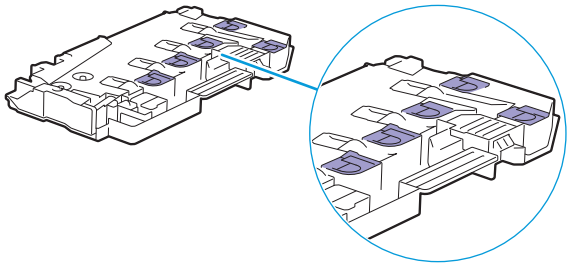


3. トナー回収ボトルをゆっくりと取り出し、トナーがこぼれないように、本機に接していた面を上に向けます。



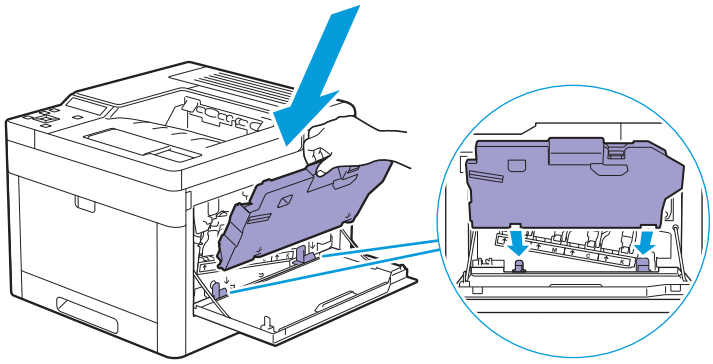
注記

・トナー回収ボトルを取り出す際に、落とさないように注意してください。
・トナー回収ボトルの図に示した箇所を触らないようにしてください。トナーで手が汚れるおそれがあります。

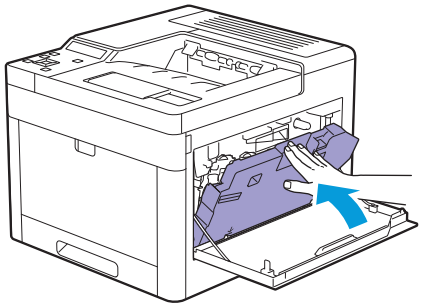


4. 新しいトナー回収ボトルに付属しているビニール袋に、使い終わったトナー回収ボトルを入れます。

5. 新しいトナー回収ボトルを箱から取り出します。
6. トナー回収ボトルの下部の2か所のくぼみを本機の突起部に合わせ、トナー回収ボトルを本機にセットします。



7. トナー回収ボトルを、カチッというまで押し込みます。



8. 右サイドカバーを閉じます。

8.2 清掃する

8.2.1 本体外部を清掃する

注記

・ベンジン、シンナーなどの揮発性のものを使用したり、殺虫剤をかけたりすると、カバー類の変色、変形、ひび割れの原因になります。
・水でぬらしすぎると、機械が故障するおそれがあるので注意してください。

1. 水でぬらして固く絞った柔らかい布で、本体の外側を拭きます。

注記

・水または中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。

補足

・汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めの中性洗剤を少量含ませ、軽く拭いてください。

2. 柔らかい布で、水分を拭き取ります。

8.2.2 ディスプレイを清掃する

1. 中性洗剤またはアルコールを染み込ませた柔らかい布で、液晶部だけを軽く拭きます。

注記

・中性洗剤または、アルコールを布に染み込ませる量は、液垂れしない程度にしてください。染み込ませる量が多すぎた場合は軽く絞ってから拭いてください。
・ベンジン、シンナーなどの揮発性のものを使用したり、殺虫剤をかけたりすると、カバー類の変色、変形、ひび割れの原因になります。
・強い力で拭くと損傷のおそれがあります。軽く拭いてください。

8.2.3 本体内部を清掃する

カラートナー濃度（CTD）センサーの清掃

補足

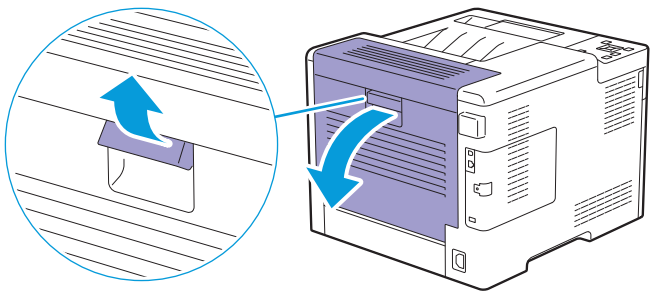
・ディスプレイにカラートナー濃度（CTD）センサーのアラートが表示されたとき以外は、カラートナー濃度（CTD）センサーを清掃しないでください。

1. 本機の電源を切ります。

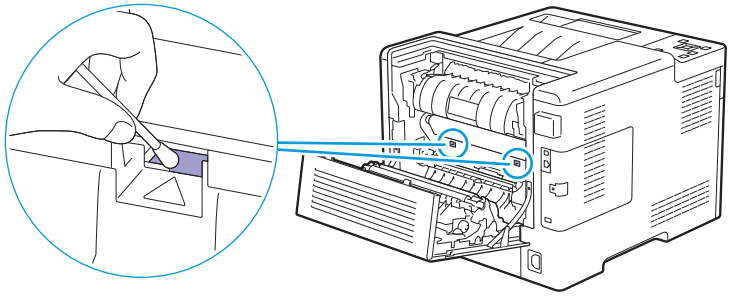
参照

・電源を切る方法については、「電源を切る (P.18)」を参照してください。

2. 背面カバーの取っ手を持ち上げ、背面カバーを開きます。



3. カラートナー濃度（CTD）センサーを、乾いた清潔な綿棒で拭きます。

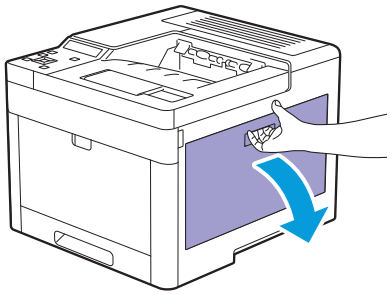


4. 背面カバーを閉じます。

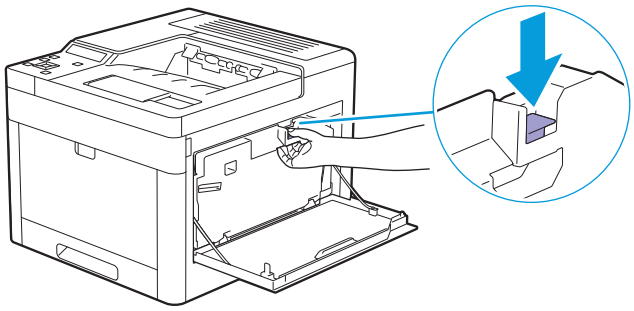
LEDプリントヘッドの清掃

本機の内部が汚れていると、印字品質が低下します。ドラムカートリッジを交換した場合は、清掃棒を使用して、定期的に本機の内部を清掃します。

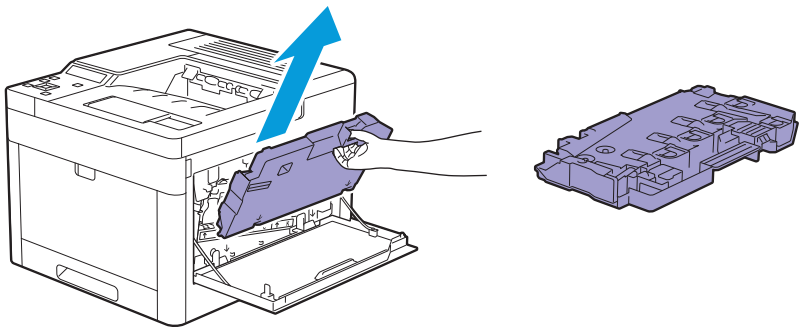
1. 右サイドカバーを開きます。



2. レバーを押し下げ、トナー回収ボトルのロックを外します。

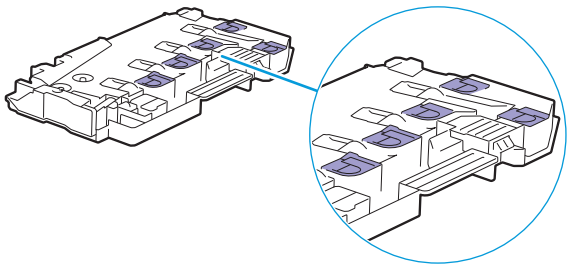


3. トナー回収ボトルをゆっくりと取り出し、トナーがこぼれないように、本機に接していた面を上に向けます。

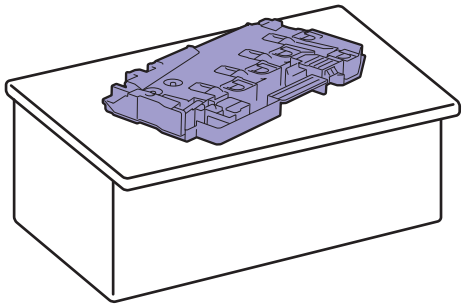


注記

・トナー回収ボトルを取り出す際に、落とさないように注意してください。
・トナー回収ボトルの図に示した箇所を触らないようにしてください。トナーで手が汚れるおそれがあります。

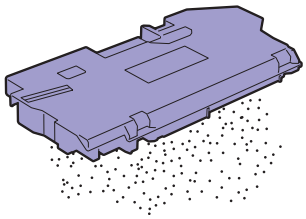


4. 取り出したトナー回収ボトルを、本機に接していた面を上に向けて、平らな場所に置きます。

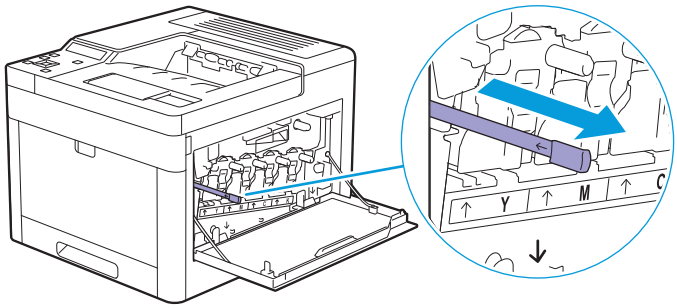


注記

・本機に接していた面を下に向けて置かないでください。トナーがこぼれるおそれがあります。



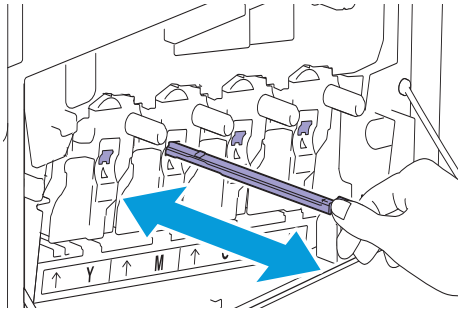
5. 本機内部から清掃棒を取り出します。



6. ドラムカートリッジの穴のいずれかに、清掃棒を止まるまで差し込んでから、引き抜きます。

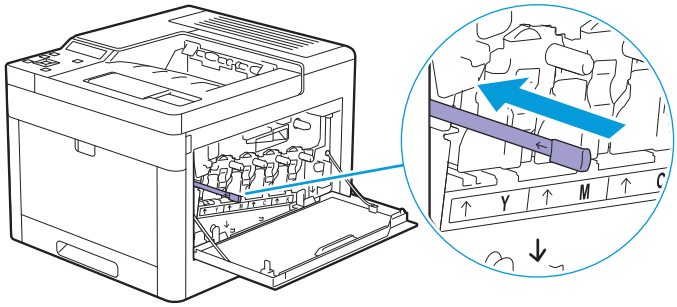
補足

・パッドの付いた面を上にして、清掃棒を差し込んでください。
・清掃棒を何度も出し入れする必要はありません。

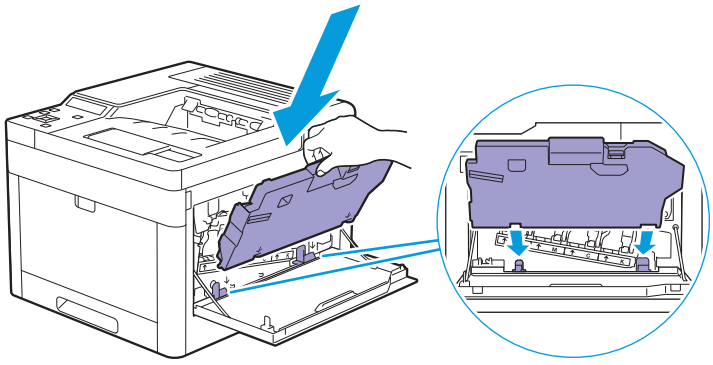


7. 残りの3つの穴に対しても、手順6を繰り返します。

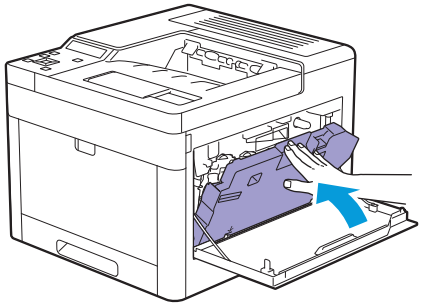
8. 清掃棒を所定の位置に戻します。



9. トナー回収ボトルの下部の2か所のくぼみを本機の突起部に合わせ、トナー回収ボトルを本機にセットします。



10. トナー回収ボトルを、カチッというまで押し込みます。



11. 右サイドカバーを閉じます。

用紙送りローラーの清掃

用紙送りが正しくないと、紙詰まりが起こります。トラブルを防ぐため、手差しトレイ、トレイ1、トレイモジュール（トレイ2）（オプション）の用紙送りローラーを、定期的に清掃します。

●手差しトレイの用紙送りローラーの清掃

1. 本機の電源を切ります。

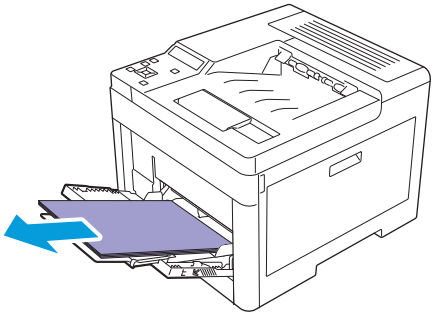
参照

・電源を切る方法については、「電源を切る (P.18)」を参照してください。

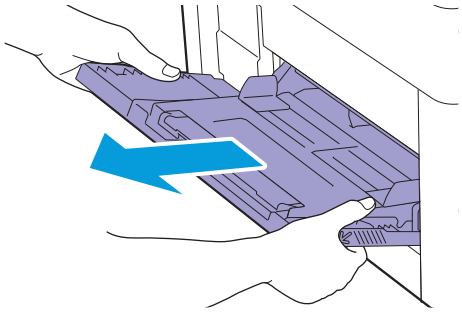
2. 手差しトレイを開きます。

補足

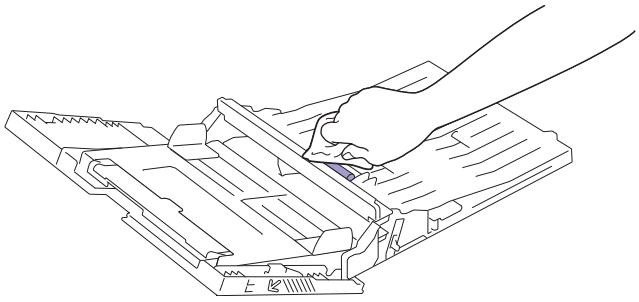
・用紙がセットされている場合は、用紙を取り除きます。



3. 手差しトレイの両側を持ち、引き出します。



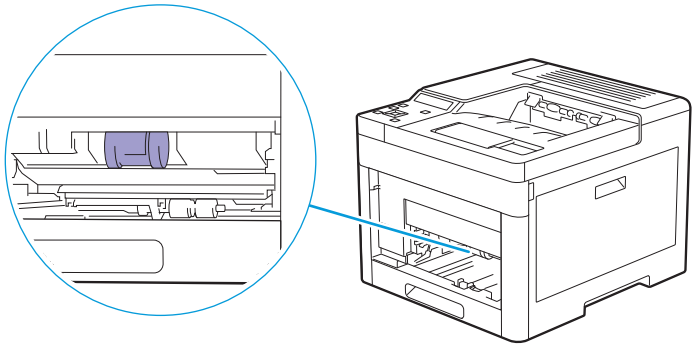
4. 用紙送りローラーを手で回転させながら、水で湿らせた柔らかい布でやさしく拭きます。



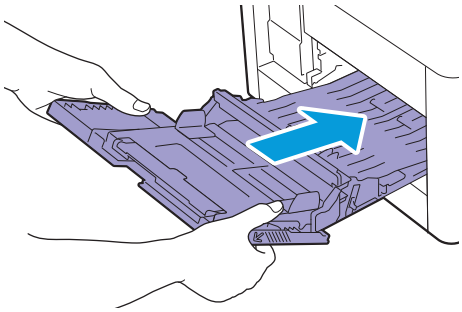
5. 本機内部の用紙送りローラーを水で湿らせた柔らかい布でやさしく拭きます。

注記

・用紙送りローラーを無理に回転させないでください。本機が損傷するおそれがあります。



6. 手差しトレイを本機に差し込みます。



●トレイ1の用紙送りローラーの清掃

1. 本機の電源を切ります。

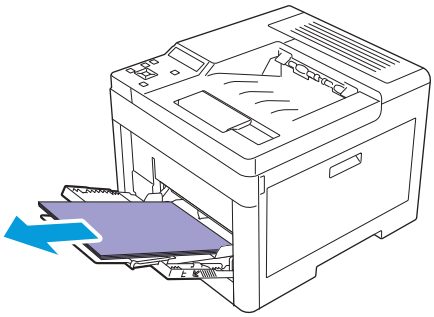
参照

・電源を切る方法については、「電源を切る (P.18)」を参照してください。

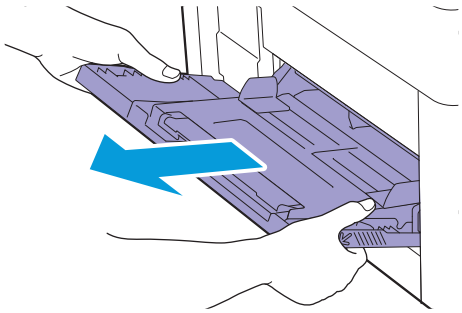
2. 手差しトレイを開きます。

補足

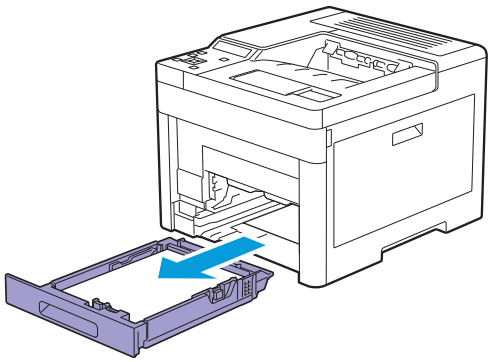
・用紙がセットされている場合は、用紙を取り除きます。



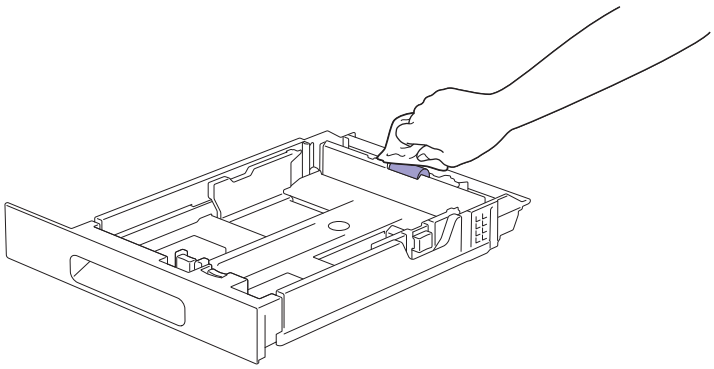
3. 手差しトレイの両側を持ち、引き出します。



4. 本機からトレイ１を引き出します。



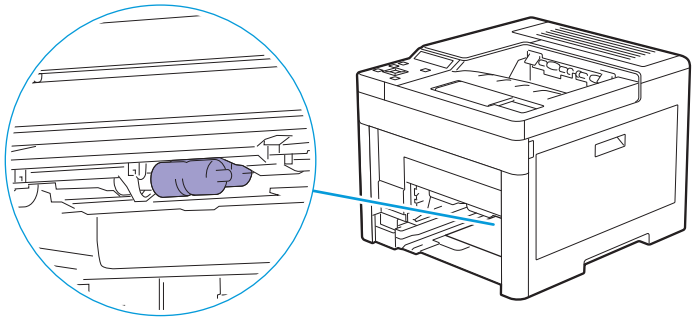
5. 用紙送りローラーを手で回転させながら、水で湿らせた柔らかい布でやさしく拭きます。



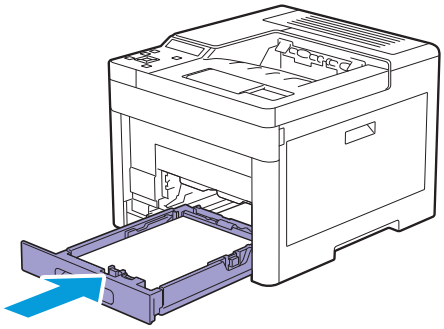
6. 本機内部の用紙送りローラーを手で回転させながら、水で湿らせた柔らかい布でやさしく拭きます。

注記

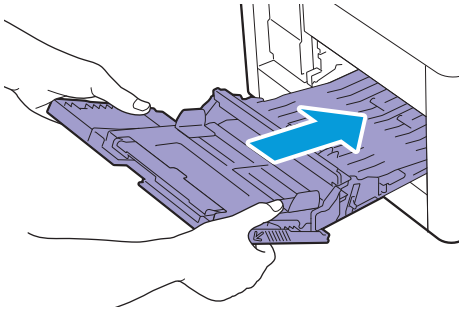
・本機を横にしないでください。トナーがこぼれるおそれがあります。
・本機内部のほかの部品には触れないでください。本機が損傷するおそれがあります。



7. トレイ1を本機に差し込み、奥に突き当たるまでゆっくりと挿入します。



8. 手差しトレイを本機に差し込みます。



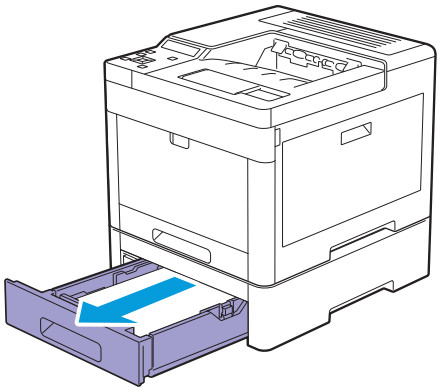
●トレイモジュール（トレイ2）（オプション）の用紙送りローラーの清掃

1. 本機の電源を切ります。

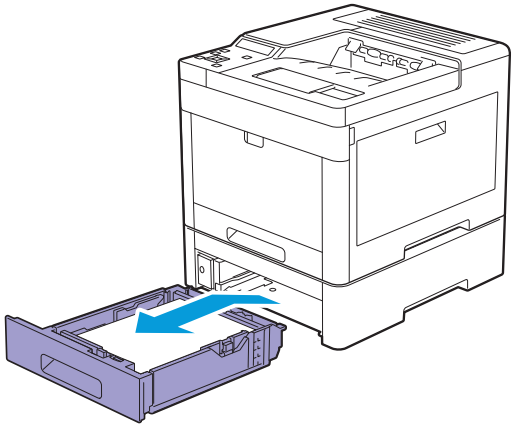
参照

・電源を切る方法については、「電源を切る (P.18)」を参照してください。

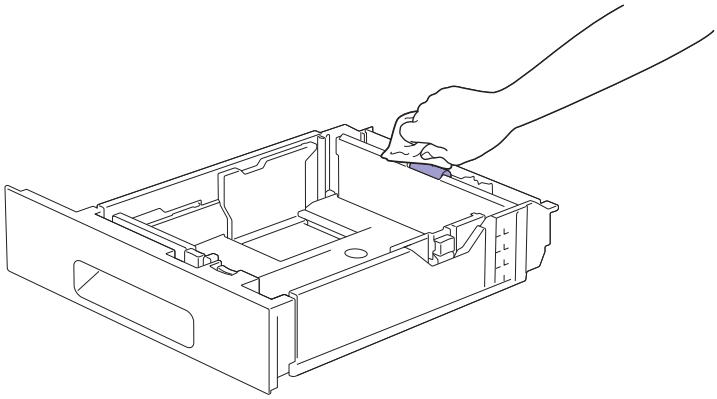
2. トレイモジュール（トレイ2）（オプション）のトレイを、途中まで引き出します。



3. トレイを両手で支え、トレイ先端を少し上げて完全に引き出します。



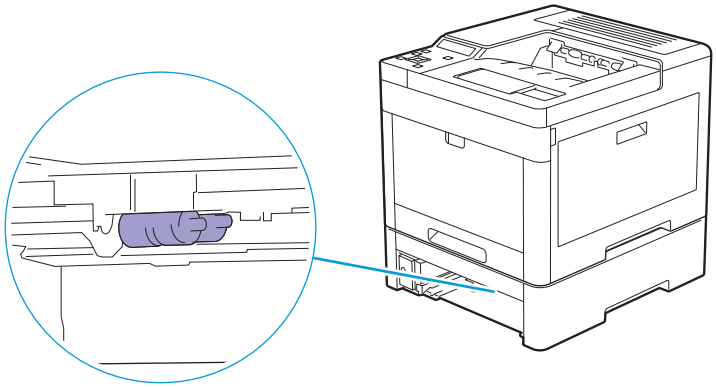
4. 用紙送りローラーを手で回転させながら、水で湿らせた柔らかい布でやさしく拭きます。



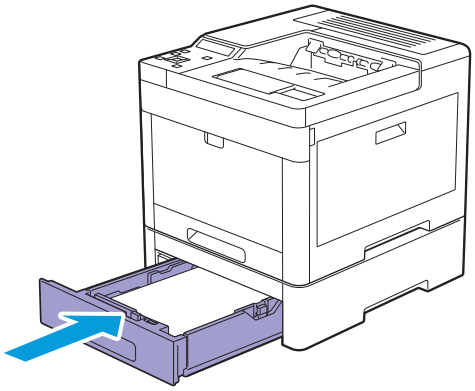
5. **本機内部の用紙送りローラーを手で回転させながら、水で湿らせた柔らかい布でやさしく拭きます。**

注記

・本機を横にしないでください。トナーがこぼれるおそれがあります。
・本機内部のほかの部品には触れないでください。本機が損傷するおそれがあります。



6. **トレイモジュール（トレイ2）（オプション）を本機に差し込み、奥に突き当たるまでゆっくりと挿入します。**



8.3 出力したページ数を確認する

出力したページ数の合計は、メーター別またはユーザー別に確認できます。片面出力は1ページとして、両面出力は2ページとしてカウントします。

補足

・CentreWare Internet Servicesを使っても、出力ページ数を確認できます。詳しくは、CentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。

8.3.1 メーター別に確認する

メーターはカラーモードによって3つに分かれています。

1. **〈メニュー〉ボタンを押します。**
2. **▲または▼ボタンを押して［メーター］を選び、OKボタンを押します。**

参照

・各メーターについては、「［メーター］(P.35)」を参照してください。

8.3.2 ユーザー別に確認する

レポートを出力して確認します。

補足

・［プリント集計管理］が無効のとき、用紙サイズ別に出力ページ数を確認できます。
・［プリント集計管理］が有効のとき、アカウント情報を持たないジョブのプリントは［未認証ユーザー］としてレポートに記載されます。

1. **〈メニュー〉ボタンを押します。**
2. **▲または▼ボタンを押して［レポート/リスト］を選び、OKボタンを押します。**
3. **▲または▼ボタンを押して［集計管理レポート］を選び、OKボタンを押します。**

9 困ったときには

9.1 紙詰まりに対処する 126
9.2 トラブルを解決する 133
9.3 エラーコードが表示されたら 154
9.4 修理に出す前に 156

9.1　紙詰まりに対処する

9.1.1　用紙が詰まった場合

手差しトレイとトレイ１の紙詰まりを取り除く

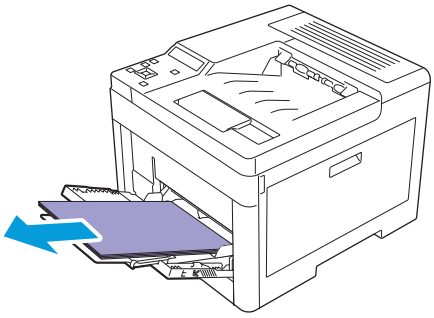
補足

・操作パネルに表示されたエラーを解決するには、用紙経路から用紙をすべて取り除く必要があります。

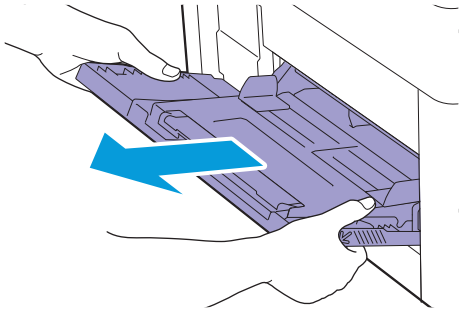
1. 手差しトレイを開きます。

補足

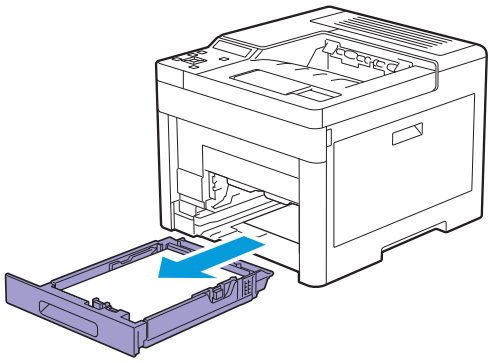
・手差しトレイが開いている場合は、手差しトレイに残った用紙を取り除きます。



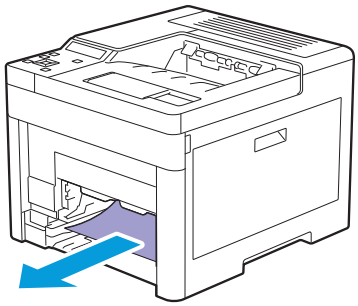
2. 手差しトレイの両側を持ち、引き出します。



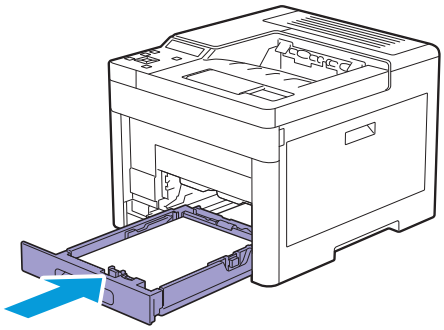
3. 本機からトレイ１を引き出します。



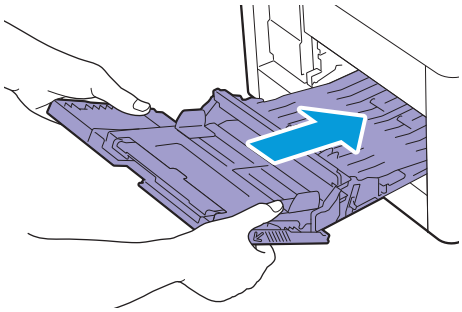
4. 詰まった用紙を取り除きます。



5. トレイ1を本機に差し込み、奥に突き当たるまでゆっくりと挿入します。



6. 手差しトレイを本機に差し込みます。



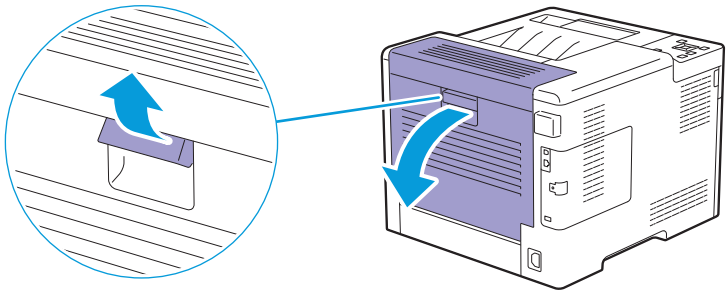
背面カバー内部の紙詰まりを取り除く

補足

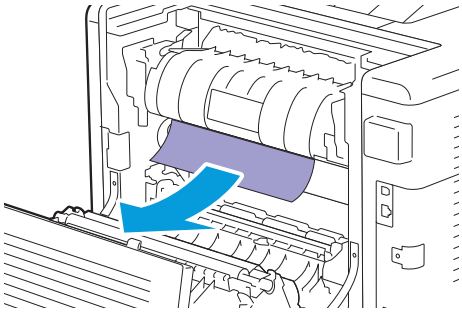
・操作パネルに表示されたエラーを解決するには、用紙経路から用紙をすべて取り除く必要があります。

●定着ユニットの場合

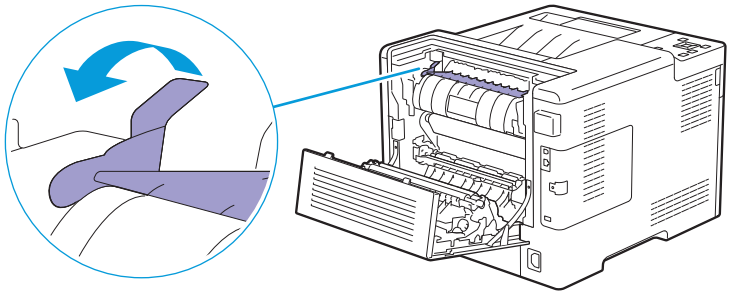
1. 背面カバーの取っ手を持ち上げ、背面カバーを開きます。



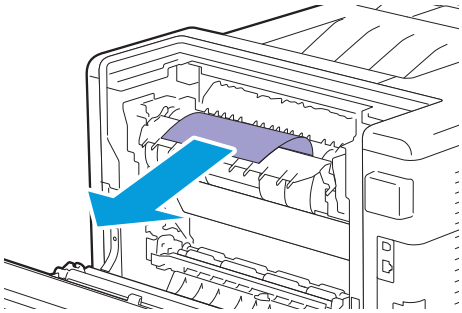
2. 定着ユニットの下から詰まった用紙を取り除きます。



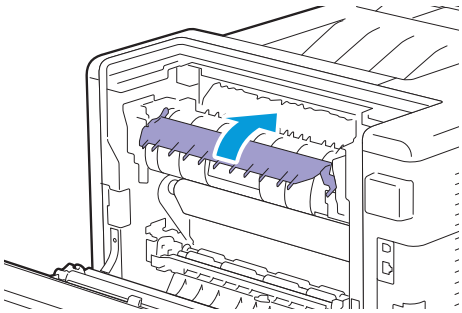
3. 定着ユニットの上のつまみを引っ張って開きます。



4. 詰まった用紙を取り除きます。



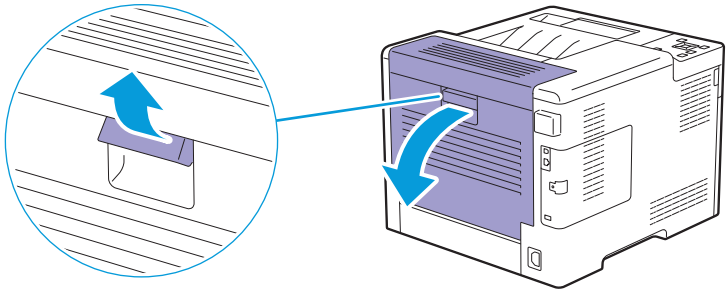
5. つまみを元の位置に戻して閉じます。



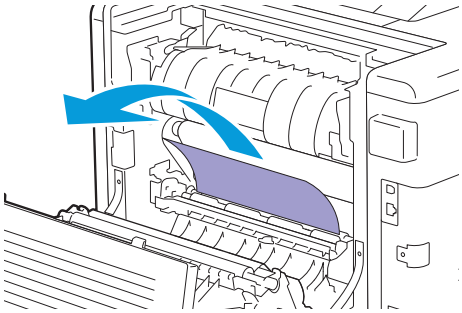
6. 背面カバーを閉じます。

●ローラーの間の場合

1. 背面カバーの取っ手を持ち上げ、背面カバーを開きます。



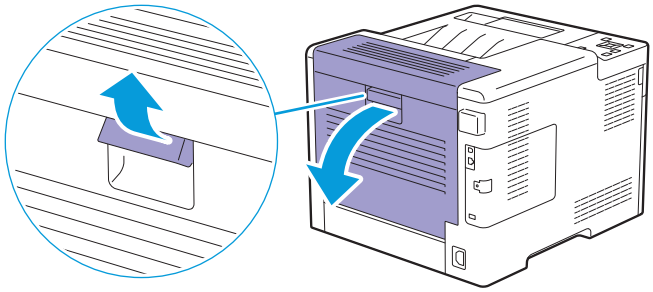
2. 詰まった用紙を取り除きます。



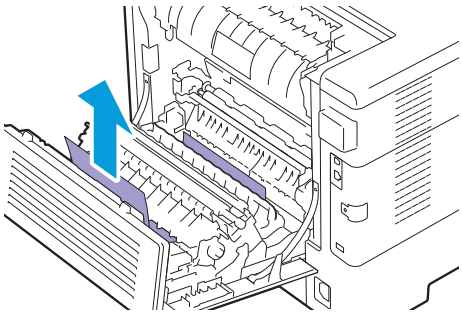
3. 背面カバーを閉じます。

●両面プリントユニットの場合

1. 背面カバーの取っ手を持ち上げ、背面カバーを開きます。



2. 詰まった用紙を取り除きます。

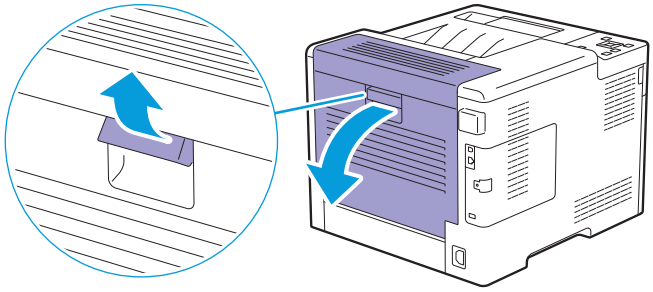


3. 背面カバーを閉じます。

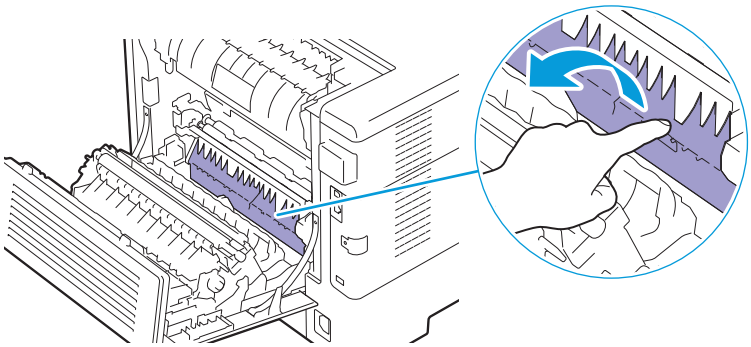
●背面シュートの場合

背面カバー内部の紙詰まりを知らせるエラーコードが表示されても、詰まった用紙が見つからない場合は、背面シュートの内側を確認します。

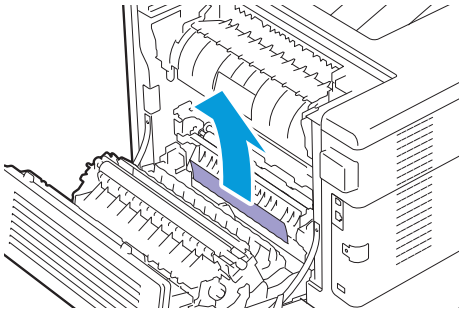
1. 背面カバーの取っ手を持ち上げ、背面カバーを開きます。



2. 背面シュートを開きます。



3. 詰まった用紙を取り除きます。



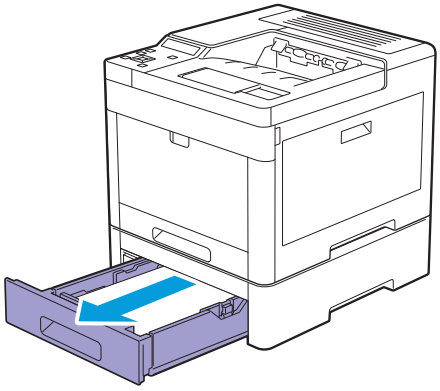
4. 背面カバーを閉じます。

トレイモジュール（トレイ2）（オプション）の紙詰まりを取り除く

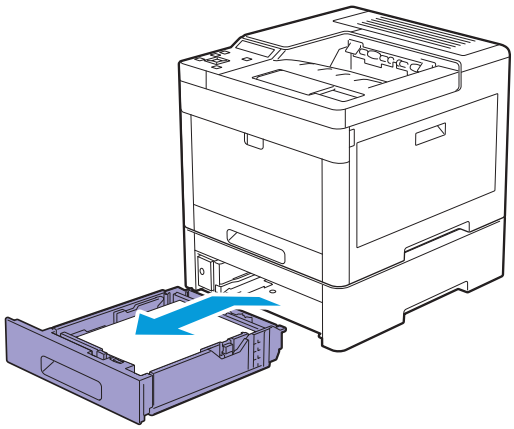
補足

・操作パネルに表示されたエラーを解決するには、用紙経路から用紙をすべて取り除く必要があります。

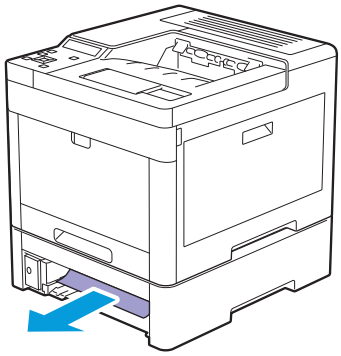
1. トレイモジュール（トレイ2）（オプション）のトレイを、途中まで引き出します。



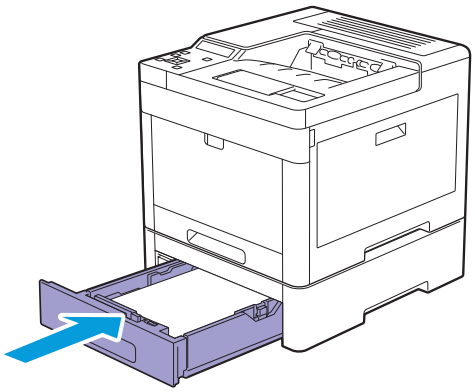
2. トレイを両手で支え、トレイ先端を少し上げて完全に引き出します。



3. 詰まった用紙を取り除きます。



4. トレイモジュール（トレイ2）（オプション）を本機に差し込み、奥に突き当たるまでゆっくりと挿入します。



9.2 トラブルを解決する

本機に何らかのトラブルが発生した場合の処置について説明します。

9.2.1 メニュー設定のトラブル

症状	処置
操作パネルから変更した設定が反映されない。	ソフトウェア、プリンタードライバー、プリンターユーティリティーで設定します。操作パネルでの設定より優先されます。

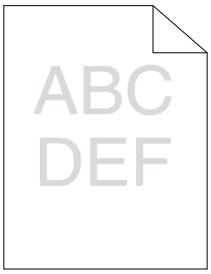
9.2.2 プリントのトラブル

症状	処置
プリントできない、または文字化けしている。	本機に用紙がセットされていることを確認します。
	正しいプリンタードライバーが使用されていることを確認します。
	正しいUSB ケーブルまたはLANケーブルが本機にしっかりと接続されていることを確認します。
	正しい用紙サイズが設定されていることを確認します。
	プリントスプーラーを使用している場合は、スプーラーが停止していないかを確認します。
用紙送りが失敗する、または用紙が重なって給紙される。	使用している用紙が本機の仕様に合っていることを確認します。 **参照** ・詳しくは、「用紙について (P.52)」を参照してください。
	異なる種類の用紙が混入していないことを確認します。
	異なるサイズの用紙が混入していないことを確認します。
	用紙が反っていない（カールしていない）ことを確認します。
	用紙をセットする前に、用紙束の一番上と一番下の反った（カールした）紙を取り除きます。
	セットする前に、用紙をよくさばいてから用紙の四辺を整えます。
	用紙を裏返してプリントします。
	用紙が正しくセットされていることを確認します。 **参照** ・詳しくは、「用紙をセットする (P.56)」を参照してください。
	用紙がトレイの用紙上限線を超えてセットされていないことを確認します。
	用紙をセットする際、手差しトレイに無理に押し込まないようにします。斜めになったり、曲がったりする可能性があります。
	用紙ガイドを正しくセットします。
	トレイ1、トレイモジュール（トレイ2）（オプション）、または手差しトレイがきちんと装着されていることを確認します。

症状	処置
	封筒をトレイ1から手差しトレイに変更してセットします。 **参照** ・詳しくは、「封筒をセットする (P.62)」を参照してください。
	用紙種類に［厚紙2］を選んだ場合に用紙送りが失敗するときは、用紙種類を［厚紙(特殊)］に変更します。 **参照** ・詳しくは、「手差しトレイに用紙をセットする (P.58)」を参照してください。
	トレイ1、トレイモジュール（トレイ2）（オプション）、または手差しトレイの用紙送りローラーを、柔らかい布で拭きます。 **参照** ・詳しくは、「用紙送りローラーの清掃 (P.118)」を参照してください。
プリント後、封筒が折れている。	封筒が正しくセットされていることを確認します。 **参照** ・詳しくは、「封筒をセットする (P.62)」を参照してください。
予期しない場所で改ページしている。	自動排出時間の設定を変更します。 **参照** ・詳しくは、「[自動排出時間設定] (P.43)」を参照してください。
MultiWriter共通ドライバーから蓄積プリントジョブを送信した場合に、本機側でジョブが中止される。	MultiWriter共通ドライバーで設定したユーザー IDが8文字を超えている場合は、8文字以下に変更します。

9.2.3　画質のトラブル

プリントがうすい



症状	処置
プリントがうすい。	1　各トナーカートリッジのトナー残量を確認し、必要に応じて交換します。 **補足** ・トナー残量は、CentreWare Internet ServicesまたはPrint & Scan Hubからも確認できます。CentreWare Internet Servicesについては、CentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。Print & Scan Hubについては、「Print & Scan Hub (Windows®) (P.84)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順2に進みます。
	2　弊社製以外のトナーカートリッジを使用している場合は、［カスタムトナーモード］を［有効］にします。 **参照** ・詳しくは、「［カスタムトナーモード］(P.49)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順3に進みます。
	3　プリンタードライバーのトナー節約モードを無効にします。 **参照** ・トナー節約モードについては、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順4に進みます。
	4　用紙種類が正しく設定されているかを確認します。 トラブルが解決しない場合は、手順5に進みます。
	5　正しい用紙が使用されていることを確認します。 **参照** ・詳しくは、「用紙について (P.52)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順6に進みます。
	6　［マーキングユニットのリフレッシュ］を実行し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。 **参照** ・詳しくは、「［マーキングユニットのリフレッシュ］(P.48)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順7に進みます。

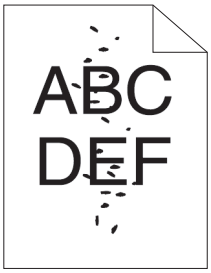
症状	処置
	7 ［トナーリフレッシュ］を実行し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。 **参照** ・詳しくは、「［トナーリフレッシュ］(P.48)」を参照してください。 **補足** ・この機能を使うとトナーを消費するので、トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、およびトナー回収ボトルの交換時期が早くなることがあります。 トラブルが解決しない場合は、手順8に進みます。
	8 ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。 **参照** ・詳しくは、「ドラムカートリッジを交換する (P.106)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

トナー汚れまたは印字はがれがある

症状	処置
トナー汚れまたは印字はがれがある。	1 用紙種類が正しく設定されているかを確認します。 トラブルが解決しない場合は、手順２に進みます。
	2 正しい用紙が使用されていることを確認します。 **参照** ・詳しくは、「用紙について (P.52)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順3に進みます。
	3 ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。 **参照** ・詳しくは、「ドラムカートリッジを交換する (P.106)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順4に進みます。
	4 ［マーキングユニットのリフレッシュ］を実行し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。 **参照** ・詳しくは、「［マーキングユニットのリフレッシュ］(P.48)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順5に進みます。

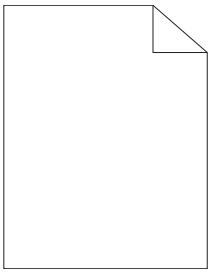
症状	処置
	5 ［定着器調整］を実行し、定着ユニットの温度を調整します。テストページをプリントして、出力結果を確認します。 **参照** ・詳しくは、「[定着器調整] (P.48)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

まばらな点／画像のぼやけがある



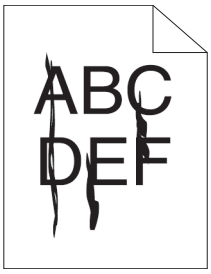
症状	処置
まばらな点やぼやけがある。	1 トナーカートリッジが正しく取り付けられているかを確認します。 トラブルが解決しない場合は、手順２に進みます。
	2 ドラムカートリッジが正しく取り付けられているかを確認します。 トラブルが解決しない場合は、手順3に進みます。
	3 ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。 **参照** ・詳しくは、「ドラムカートリッジを交換する (P.106)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

何も印字されない



症状	処置
何も印字されない。	1 各トナーカートリッジのトナー残量を確認し、必要に応じて交換します。 **補足** ・トナー残量は、CentreWare Internet ServicesまたはPrint & Scan Hubからも確認できます。CentreWare Internet Servicesについては、CentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。Print & Scan Hubについては、「Print & Scan Hub (Windows®) (P.84)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順2に進みます。
	2 弊社製以外のトナーカートリッジを使用している場合は、［カスタムトナーモード］を［有効］にします。 **参照** ・詳しくは、「［カスタムトナーモード］(P.49)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順3に進みます。
	3 プリンタードライバーのトナー節約モードを無効にします。 **参照** ・トナー節約モードについては、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順4に進みます。
	4 用紙種類が正しく設定されているかを確認します。 トラブルが解決しない場合は、手順5に進みます。
	5 正しい用紙が使用されていることを確認します。 **参照** ・詳しくは、「用紙について (P.52)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順6に進みます。
	6 ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。 **参照** ・詳しくは、「ドラムカートリッジを交換する (P.106)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

筋がでる



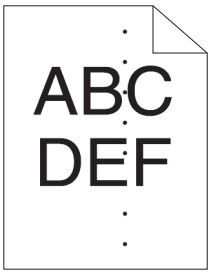
症状	処置
筋がでる。	1 各トナーカートリッジのトナー残量を確認し、必要に応じて交換します。 **補足** ・トナー残量は、CentreWare Internet Services または Print & Scan Hubからも確認できます。CentreWare Internet Servicesについては、CentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。Print & Scan Hubについては、「Print & Scan Hub (Windows®) (P.84)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順２に進みます。
	2 弊社製以外のトナーカートリッジを使用している場合は、［カスタムトナーモード］を［有効］にします。 **参照** ・詳しくは、「［カスタムトナーモード］(P.49)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順3に進みます。
	3 ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。 **参照** ・詳しくは、「ドラムカートリッジを交換する (P.106)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

一部または全部が黒く印字される

症状	処置
一部または全部が黒く印字される。	1 ドラムカートリッジが正しく取り付けられているかを確認します。 トラブルが解決しない場合は、手順２に進みます。

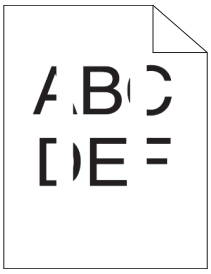
症状	処置
	2　プリンタードライバーで、［カラーモード］を［カラー (自動判別)］に設定します。 **参照** ・カラーモードについては、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順3に進みます。
	3　ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。 **参照** ・詳しくは、「ドラムカートリッジを交換する (P.106)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

カラーの点が等間隔に印字される



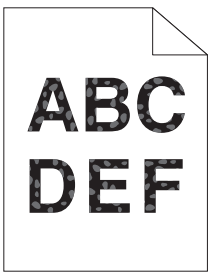
症状	処置
カラーの点が等間隔に印字される。	1　ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。 **参照** ・詳しくは、「ドラムカートリッジを交換する (P.106)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

たて方向に白抜けがある



症状	処置
たて方向に白抜けがある。	1　清掃棒を使ってプリンターの内部を清掃し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。 参照 ・詳しくは、「LEDプリントヘッドの清掃 (P.115)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順２に進みます。
	2　ドラムカートリッジが正しく取り付けられているかを確認します。 参照 ・詳しくは、「ドラムカートリッジを交換する (P.106)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順3に進みます。
	3　ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。 参照 ・詳しくは、「ドラムカートリッジを交換する (P.106)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

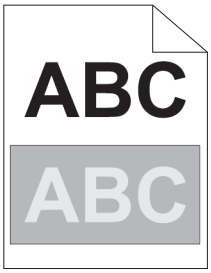
色がまだらになる

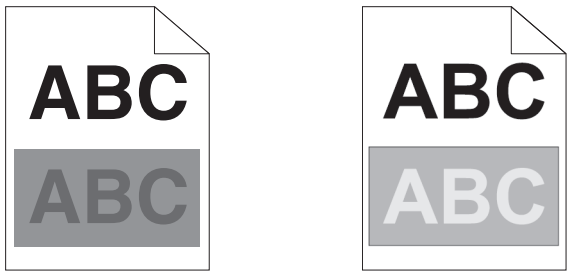


症状	処置
色がまだらになる。	1　適した用紙が使用されていることを確認します。 参照 ・詳しくは、「用紙について (P.52)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順2に進みます。

症状	処置
	2　転写ロール（BTR）の転写電圧を上げます。 **参照** ・詳しくは、「[2次転写電圧オフセット調整] (P.48)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順3に進みます。
	3　ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。 **参照** ・詳しくは、「ドラムカートリッジを交換する (P.106)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

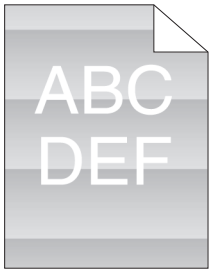
文字や画像の残像が写る



症状	処置
文字や画像の残像が写る。	1　残像の種類を特定します。 濃い残像が写る場合　薄い残像が写る場合  濃い残像が写る場合は、手順2aに進みます。 薄い残像が写る場合は、手順2bに進みます。 残像の種類が特定できない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

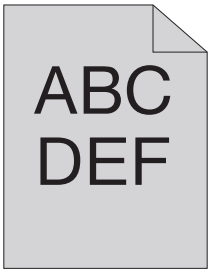
症状	処置
	2a 転写電圧を調整します。 **a** 〈メニュー〉ボタンを押します。 **b** ▲または▼ボタンを押して［管理者設定］を選び、OKボタンを押します。 **c** ▲または▼ボタンを押して［メンテナンス］を選び、OKボタンを押します。 **d** ▲または▼ボタンを押して［1 次転写電圧オフセット調整］を選び、OKボタンを押します。 **e** ▲または▼ボタンを押して［K オフセット］または［YMC オフセット］を選び、値を下げます。 トラブルが解決しない場合は、手順3に進みます。
	2b 転写電圧を調整します。 **a** 〈メニュー〉ボタンを押します。 **b** ▲または▼ボタンを押して［管理者設定］を選び、OKボタンを押します。 **c** ▲または▼ボタンを押して［メンテナンス］を選び、OKボタンを押します。 **d** ▲または▼ボタンを押して［1 次転写電圧オフセット調整］を選び、OKボタンを押します。 **e** ▲または▼ボタンを押して［K オフセット］または［YMC オフセット］を選び、値を上げます。 問題が解決しない場合は、手順3に進みます。
	3 適した用紙が使用されていることを確認します。 **参照** ・詳しくは、「用紙について (P.52)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順4に進みます。
	4 ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。 **参照** ・詳しくは、「ドラムカートリッジを交換する (P.106)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

等間隔の濃度ムラがある



症状	処置
等間隔の濃度ムラがある。	1 ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。 **参照** ・詳しくは、「ドラムカートリッジを交換する (P.106)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

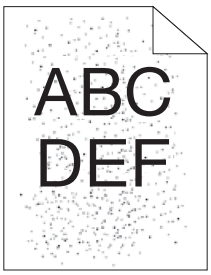
ぼやけている



症状	処置
ぼやけている。	1 全体が薄く印字される場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。その他の場合は手順２に進みます。
	2 ［マーキングユニットのリフレッシュ］を実行し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。 **参照** ・詳しくは、「［マーキングユニットのリフレッシュ］(P.48)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順3に進みます。
	3 ［トナーリフレッシュ］を実行し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。 **参照** ・詳しくは、「［トナーリフレッシュ］(P.48)」を参照してください。 **補足** ・この機能を使うとトナーを消費するので、トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、およびトナー回収ボトルの交換時期が早くなることがあります。 トラブルが解決しない場合は、手順4aまたは4bに進みます。

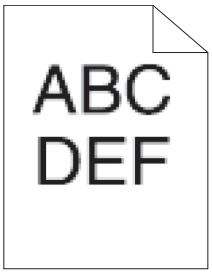
症状	処置
	4a 弊社製以外のトナーカートリッジを使用している場合は、［カスタムトナーモード］を［有効］にします。 **参照** ・詳しくは、「[カスタムトナーモード] (P.49)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順5に進みます。
	4b 弊社製のトナーカートリッジを使用している場合は、ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。 **参照** ・詳しくは、「ドラムカートリッジを交換する (P.106)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。
	5 弊社製のトナーカートリッジに交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。 **参照** ・詳しくは、「トナーカートリッジを交換する (P.104)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

ビーズ状の小さな点がある



症状	処置
ビーズ状の小さな点がある。	1 本機が高度（標高）の高い場所に設置されている場合は、設置場所の高度を設定し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。 **参照** ・詳しくは、「[高地使用設定] (P.49)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順２に進みます。
	2 ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。 **参照** ・詳しくは、「ドラムカートリッジを交換する (P.106)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

文字がギザギザになる

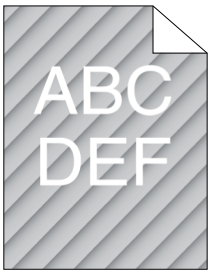


症状	処置
文字がギザギザになる。	PCLドライバーを例に説明します。 1　プリンタードライバーで、[スクリーン]を[精細度優先]に設定します。 **a** [詳細設定]タブで、[イメージ]の[スクリーン]を[精細度優先]に設定します。 トラブルが解決しない場合は、手順2に進みます。
	2　プリンタードライバーで、[印刷モード]を[高画質]に設定します。 **a** [カラー]タブで、[カラーモード]を[カラー(自動判別)]に設定します。 **b** [印刷モード]を[高画質]に設定します。 トラブルが解決しない場合は、手順3に進みます。
	3　プリンタードライバーの[ページ印刷モード]を有効にします。 **a** [詳細設定]タブで、[イメージ]の[ページ印刷モード]を[する]に設定します。 トラブルが解決しない場合は、手順4に進みます。
	4　ダウンロードフォントを使用している場合は、本機、およびお使いのOSやアプリケーションに対応しているフォントであることを確認します。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

縞模様が入る

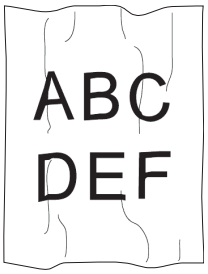
症状	処置
縞模様が入る。	1 ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。 参照 ・詳しくは、「ドラムカートリッジを交換する (P.106)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

斜線が入る



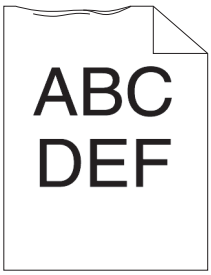
症状	処置
斜線が入る。	1 ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。 参照 ・詳しくは、「ドラムカートリッジを交換する (P.106)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

出力紙にしわができる／出力紙が汚れる



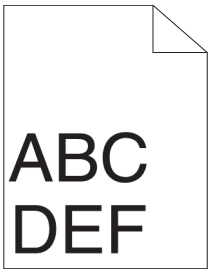
症状	処置
出力紙にしわができる。 出力紙が汚れる。	1　適した用紙が使用されていることを確認します。 参照 ・詳しくは、「用紙について (P.52)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、手順2に進んでください。
	2　用紙ガイドを正しく調整します。 トラブルが解決しない場合は、手順3に進みます。
	3　新しい用紙に交換します。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

出力紙の先端に損傷がある



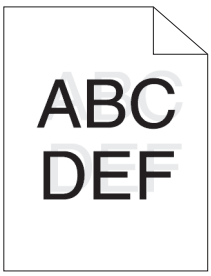
症状	処置
出力紙の先端に損傷がある。	1　用紙ガイドを正しく調整します。 トラブルが解決しない場合は、手順2aまたは手順2bに進みます。
	2a　手差しトレイを使用している場合は、用紙を裏返します。 トラブルが解決しない場合は、手順3に進みます。
	2b　手差しトレイ以外のトレイを使用している場合は、用紙を交換します。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。
	3　用紙を交換します。 トラブルが解決しない場合は、手順4に進みます。
	4　手差しトレイ以外のトレイを使用します。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

印字位置がずれている



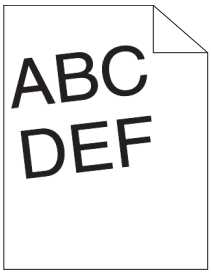
症状	処置
印字位置がずれている。	1　用紙ガイドを正しく調整します。 トラブルが解決しない場合は、手順２に進みます。
	2　手差しトレイ以外のトレイを使用します。 トラブルが解決しない場合は、手順3に進みます。
	3　使用しているアプリケーションで余白が正しく設定されているかを確認します。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

カラーレジストレーションが合っていない



症状	処置
カラーレジストレーションが合っていない。	1　プリンタードライバーで正しい用紙種類が設定されているかを確認します。 トラブルが解決しない場合は、手順２に進みます。
	2　［カラーレジ調整］を実行します。 **参照** ・詳しくは、「[カラーレジ調整] (P.48)」を参照してください。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

斜めに印字される



症状	処置
斜めに印字される。	1　用紙ガイドを正しく調整します。 トラブルが解決しない場合は、手順2に進みます。
	2　手差しトレイ以外のトレイを使用します。 トラブルが解決しない場合は、手順3に進みます。
	3　新しい用紙に交換します。 トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

9.2.4　電子証明書のトラブル

症状	処置
次のボタンが使用できない。 ・[証明書署名要求（CSR）の生成] ・[証明書のインポート]	SSL/TLS通信が無効になっている可能性があります。自己署名証明書を作成し、SSL/TLS通信を有効にします。 **参照** ・SSL/TLS通信や証明書については、「暗号化機能を使う(P.97)」を参照してください。
証明書をインポートできない。	時刻設定が正しくない可能性があります。証明書の有効期限と本機の時刻設定を確認します。
	証明書ファイルが正しくない可能性があります。パスワードが正しいかを確認します。
	証明書のファイル種別が、PKCS#7／PKCS#12／X.509証明書であることを確認します。
	インポートする証明書の鍵用途や拡張鍵用途などの属性情報が正しく設定されていることを確認します。
	Webブラウザーが正しくない可能性があります。Internet Explorer®を使用します。
[証明書の詳細]で証明書を設定できない。	証明書の有効期限が切れている可能性があります。本機の時刻設定が正しいことと、証明書の有効期限が切れていないことを確認します。
	証明書のパスが無効です。インポートした証明書の証明書チェーン（パス検証）が正しく検証されていない場合があります。高レベルの証明書（信頼できる/中級）のすべてがインポートされ、削除されていないことを確認します。また、有効期限が切れていないことも確認します。

症状	処置
証明書がインポートされているが、［自デバイス］を選ぶと表示されない。	証明書の種類が正しくありません。プリンター用の証明書をインポートするには、秘密キーと対のPKCS # 12（p12/pfx）形式の証明書をインポートします。
サーバーの検証が正常に動作していない。	サーバーの認証に使用する信頼されたルート証明書をインポートしても、パスを検証するときに、中間証明書が必要な場合があります。認証局で証明書ファイルを実行した場合は、すべてのパスを含む形式で証明書が作成され、証明書がインポートされます。

9.2.5 無線 LAN 接続のトラブル

症状	処置
無線LAN接続が設定できない。	LANケーブルが本機から外れていることを確認します。
	［Wi-Fi設定］が有効になっていることを確認します。 **参照** ・詳しくは、「［Wi-Fi設定］(P.38)」を参照してください。
	コンピューターのファイアウォール設定により、本機との通信が遮断されている可能性があります。ファイアウォールを無効にします。
	無線LANアクセスポイントがIEEE 802.11b/g/nに準拠し、2.4 GHz帯で使用可能か確認します。
WPS方式で無線LAN接続が設定できない。	無線LANアクセスポイントのセキュリティー設定がWPAまたはWPA2であることを確認します。WEPは、WPSでは対応していません。
WPS（プッシュボタン方式）で無線LAN接続が設定できない。	本機のWPS操作を開始してから2分以内に無線LANアクセスポイントのWPSボタンを押します。 **参照** ・無線LANアクセスポイントの操作については、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。
WPS（PINコード方式）で無線LAN接続が設定できない。	無線LANアクセスポイントに入力したPINコードが正しいことを確認します。 **参照** ・PINコードの入力方法については、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

9.2.6 Wi-Fi Direct のトラブル

症状	処置
モバイル機器から本機を検出できない。	本機がWi-Fi Directを使用して別のモバイル機器と接続されている可能性があります。本機と別のモバイル機器の接続を切断してください。 **参照** ・詳しくは、「Wi-Fi Directネットワークからモバイル機器を切断する (P.73)」を参照してください。

症状	処置
モバイル機器と本機を接続できない。	Android機器のWi-Fi Direct機能を使って本機と接続する場合は、本機の［グループ設定］を［グループオーナー］にします。 **参照** ・設定については、「[Wi-Fi Direct設定] (P.40)」を参照してください。
「Wi-Fi Directネットワークからモバイル機器を切断する (P.73)」の手順を行っても本機からモバイル機器を切断できない。	モバイル機器が本機に自動的に再接続している可能性があります。Wi-Fi Directのパスフレーズを初期化し、モバイル機器を切断します。 **参照** ・詳しくは、「パスフレーズを初期化する (P.73)」を参照してください。
本機のネットワークモードをアドホックモードに設定できない。	［Wi-Fi Direct設定］が無効になっていることを確認します。
［Wi-Fi Direct設定］を有効にできない。	ネットワークモードがインフラストラクチャーモードになっていることを確認します。
	［IP動作モード］が［IPv6］以外のモードに設定されていることを確認します。

9.2.7 トレイモジュール（トレイ 2）（オプション）のトラブル

症状	処置
トレイモジュール（トレイ2）（オプション）が正常に動作しない。	本機の電源を切り、10秒間待ってから、再度本機の電源を入れます。問題が解決しない場合は、本機の電源コードを抜き、トレイモジュール（トレイ2）（オプション）と本機の接続に問題がないことを確認します。
	プリンター設定リストを出力し、［オプション］にトレイモジュール（トレイ2）（オプション）が記載されていることを確認します。 **参照** ・リストについては、「[レポート/リスト] (P.34)」を参照してください。 記載されていないときは、装着しなおします。 **参照** ・詳しくは、「トレイモジュール（トレイ2）（オプション）を取り外す (P.169)」およびトレイモジュール（トレイ2）（オプション）の取扱説明書を参照してください。
	トレイモジュール（トレイ2）（オプション）がお使いのプリンタードライバーで選ばれていることを確認します。
	用紙が正しくセットされていることを確認します。 **参照** ・詳しくは、「トレイ1とトレイモジュール（トレイ2）（オプション）に用紙をセットする (P.56)」を参照してください。

9.2.8　その他のトラブル

症状	処置
本機が動いていない。ディスプレイが表示されず、ボタンも動作しない。	電源コードをいったん抜いて差しなおします。
ドライバーをインストールするときに本機が見つからない。	USBケーブルまたはLANケーブルが本機に正しく接続されていることを確認します。
	ネットワーク経由で接続するときは、本機のIPアドレスが正しく設定されていることを確認します。 **参照** ・詳しくは、「ネットワーク設定を確認する (P.30)」を参照してください。
	本機の電源が入っていることを確認します。電源が入っている場合は、本機の電源を切り、再度電源を入れます。
	お使いのWindows® OSで、ネットワークの探索が有効になっていることを確認します。
	[お好みインストール]でドライバーをインストールします。 **参照** ・詳しくは、「[お好みインストール]でインストールする (P.23)」を参照してください。

9.3 エラーコードが表示されたら

エラーが発生して操作が正常に終了しなかった場合や本機に故障が発生した場合は、操作パネルのディスプレイにメッセージとエラーコード（***-***）が表示されます。
次の表でエラーコードを参照して、処置してください。

注記

・エラーが発生した場合は、本機のメモリーに蓄積されている内容が消去されることがあります。

補足

・次の表に記載されていないエラーコードが表示された場合は、操作パネルに表示されたメッセージの説明に従ってください。表の記載や操作パネルに表示されたメッセージの説明に従って処置をしても正常に戻らないときは、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。

エラーコード	対処方法
004-310	本機の電源を切ります。トレイが正しく取り付けられていることを確認し、再度本機の電源を入れます。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。
010-397	定着ユニットにエラーが起こりました。本機の電源を切り、再度電源を入れます。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。
016-338	本機の電源を切ります。Wi-Fiアダプターが正しく取り付けられていることを確認し、再度本機の電源を入れます。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。
016-404	証明書に問題があります。システム管理者にお問い合わせください。[OK]ボタンを押すと初期化を開始します。
016-405	
016-520	本機の証明書が無効です。システム管理者にお問い合わせください。
016-521	宛先クライアントの証明書が無効です。システム管理者にお問い合わせください。
016-522	SSL証明書を取得できませんでした。システム管理者にお問い合わせください。
016-523	SSL証明書が正しくありません。システム管理者にお問い合わせください。
016-524	SSL証明書の有効期限が切れました。システム管理者にお問い合わせください。
016-527	システム管理者にお問い合わせください。状態が改善されないときは、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。
016-541	無線LAN Mixed Mode EnterpriseまたはWPA2-Enterpriseを使用中に、サーバーまたはクライアントの無線証明書が正しく参照されません。システム管理者に依頼して、本機を有線LANに接続し、無線LAN設定を初期化してください。その後、無線証明書をインポートし、Mixed Mode EnterpriseまたはWPA2-Enterpriseを再設定してください。
016-542	Mixed Mode EnterpriseまたはWPA2-Enterprise操作で証明書を取得しているときに、サーバー証明書エラーが起こりました。Radiusサーバーで使用していたサーバー証明書の有効期限が切れているなど、サーバー証明書に問題があります。システム管理者に依頼して、Radiusサーバーで使用していたサーバー証明書を確認してください。
016-543	無線LAN Mixed Mode EnterpriseまたはWPA2-Enterpriseを使用中に、サーバーまたはクライアントの無線証明書の破損エラーが起こりました。システム管理者に依頼して、本機を有線LANに接続し、無線LAN設定を初期化してください。その後、無線証明書をインポートし、Mixed Mode EnterpriseまたはWPA2-Enterpriseを再設定してください。

エラーコード	対処方法
016-718	プリント時に十分なメモリーがないため、エラーが起こりました。プリントは中止されます。プリントするデータのサイズを削減してください。RAMディスクを使用している場合は、RAMディスクのサイズを削減してください。 **参照** ・RAMディスクの機能については、「[RAMディスク] (P.45)」を参照してください。
016-720	対応していないページ記述言語（PDL）が含まれています。対応しているプリンタードライバーを使用してください。 **参照** ・プリンタードライバーのインストール方法については、「Windows®用のソフトウェアをインストールする (P.22)」および「Mac用のソフトウェアをインストールする (P.26)」を参照してください。
016-757	アカウントが登録されていません。システム管理者にお問い合わせください。
016-758	この機能は使用できません。システム管理者にお問い合わせください。
016-759	印字可能ページ数が上限を超えました。システム管理者にお問い合わせください。
016-799	無効なジョブです。プリンタードライバーで本機の設定を確認します。
016-924	暗号化方式をWEPに設定して無線LAN環境に接続する場合は、「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクから起動できる［おまかせセットアップ］を使った無線LANの設定ができません。無線LANアクセスポイントの暗号化方式がWEPの場合は、本機の操作パネルから無線LANの設定をします。 **参照** ・無線LAN設定については、「無線LANに手動設定で接続する (P.21)」を参照してください。
027-446	IPv6アドレスが重複しています。IPv6アドレスを変更してください。
027-452	IPv4アドレスが重複しています。IPv4アドレスを変更してください。
042-700	本機の温度が下がるまでしばらく待ち、本機の電源を切り、再度電源を入れます。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。
092-310	本機の電源を切ります。カラートナー濃度（CTD）センサーを乾いた清潔な綿棒で拭き、再度本機の電源を入れます。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。 **参照** ・詳しくは、「カラートナー濃度（CTD）センサーの清掃 (P.114)」を参照してください。

9.4 修理に出す前に

9.4.1 修理依頼について

以下の点を同意の上、修理依頼をお願いします。

- 修理作業においてプリンター内のデータが失われる場合があります。この場合当社では責任を負うことができませんので、あらかじめご承知おきください。
- 修理作業において取り外した部品の所有権は当社に帰属し、当該部品はご返却いたしかねますのであしからずご了承ください。
- 本体に保存されたデータ（受信データ等）の復旧依頼、バックアップ依頼は、対応しかねますのでご了承ください。

付録

主な仕様 158
保証について 162
本機を移動する 168
オプション製品と Wi-Fi アダプターを取り外す 169
最新のソフトウェアを入手する 181
本機のファームウェアを更新する 182

主な仕様

商品コード	Color MultiWriter 5850C：TPNE0098 Color MultiWriter 5800C：TPNE0099
形式	デスクトップ
プリント方式	LED ゼログラフィー **注記** ・LED + 乾式電子写真方式
ウォームアップ時間	20秒以下（電源投入時、室温23°C） （スリープモード時も同じ）
連続プリント速度	Color MultiWriter 5850C 片面印刷 A4：カラー 28枚／分、モノクロ28枚／分 両面印刷 A4：カラー 18ページ／分、モノクロ18ページ／分 Color MultiWriter 5800C 片面印刷 A4：カラー 23枚／分、モノクロ23枚／分 両面印刷 A4：カラー 16ページ／分、モノクロ16ページ／分 **注記** ・同一原稿連続プリント時。 ・郵便はがき（日本郵便製）などの用紙種類、用紙サイズやプリント条件によってプリント速度が低下します。また、画質調整のため、プリント速度が低下する場合があります。
ファーストプリント時間	A4：カラー 12.5秒、モノクロ12秒 **注記** ・本体給紙トレイから給紙した場合。数値は出力環境によって異なります。
解像度	1200 × 2400 dpi
階調	各色 256 階調（1670 万色）
用紙サイズ	標準トレイ A4、B5、A5、A6、レター、リーガル、7.25 x 10.5"、8.5 x 13"、ユーザー定義サイズ（幅76.2～215.9 mm、長さ148～355.6 mm） トレイモジュール（オプション） A4、B5、A5、レター、リーガル、7.25 x 10.5"、8.5 x 13"、ユーザー定義サイズ（幅76.2～215.9 mm、長さ190.5～355.6 mm） 手差しトレイ A4、B5、A5、A6、レター、リーガル、7.25 x 10.5"、8.5 x 13"、ユーザー定義サイズ（幅76.2～215.9 mm、長さ127～355.6 mm） 両面印刷 幅139.7～215.9 mm、長さ210～355.6 mm 画像欠け幅 ：先端／後端／左右端 4.1 mm

用紙坪量	標準トレイ：60～220 g/m^2 手差しトレイ：60～220 g/m^2 トレイモジュール（オプション）：60～220 g/m^2 両面印刷：64～176 g/m^2 **注記** ・推奨用紙をご使用ください。用紙の種類（紙質、サイズ等）によっては、正しく印刷できない場合があります。特にユーザー定義用紙サイズのご使用にあたっては、用紙走行性の事前確認をお願いします。インクジェット専用用紙は使用しないでください。「かもめーる」や年賀状などの再生紙はがきは使用できない場合があります。使用済用紙の裏面および事前印刷用紙への印刷や、使用環境が乾燥地・寒冷地・高温多湿の場合、用紙によってはプリント不良などの品質低下が発生する場合があります。なお、推奨用紙や事前の用紙走行確認については、お買い求めの販売店またはサービス窓口までお問い合わせください。
給紙容量	標準：250枚 x 1トレイ+手差しトレイ50枚 オプション：トレイモジュール550枚 最大：850枚（標準+トレイモジュール） **注記** ・P紙（64 g/m^2）
出力トレイ容量	標準：150枚（フェイスダウン） **注記** ・P紙（64 g/m^2）
両面機能	標準
メモリー容量	512 MB
搭載フォント	日本語2書体（平成明朝、平成角ゴシック）、欧文81書体
ページ記述言語	標準：PCL6、PCL5e
エミュレーション	-

対応OS	標準：PCL6ドライバー Windows® 10（32 ビット） Windows® 10（64 ビット） Windows® 8.1（32 ビット） Windows® 8.1（64 ビット） Windows® 7（32 ビット） Windows® 7（64 ビット） Windows Vista®（32 ビット） Windows Vista®（64 ビット） Windows Server® 2012 R2（64 ビット） Windows Server® 2012（64 ビット） Windows Server® 2008 R2（64 ビット） Windows Server® 2008（32 ビット） Windows Server® 2008（64 ビット） 標準：Mac OS Xドライバー OS X 10.11 El Capitan OS X 10.10 Yosemite OS X 10.9 Mavericks OS X 10.8 Mountain Lion Mac OS X 10.7 Lion **注記** ・最新の対応OSについては、当社公式サイトをご覧ください。
インターフェイス	Ethernet 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T、Wireless IEEE802.11b/802.11g/802.11n、USB 2.0 （有線LANと無線LANは同時に使用できません。）
対応プロトコル	TCP/IP (IPv4/IPv6: Port9100/LPD/IPP/IPPS/Web Services on Devices)
電源	AC100 V±10%、15 A、50/60 Hz 共用 **注記** ・推奨コンセント容量。機械側最大電流は、12 A。
騒音	Color MultiWriter 5850C 稼動時（本体のみ）：6.94 B、53.1 dB (A) レディー時（本体のみ）：4.3 B、27.8 dB (A) Color MultiWriter 5800C 稼動時（本体のみ）：6.79 B、51.6 dB (A) レディー時（本体のみ）：4.3 B、27.8 dB (A) **注記** ・ISO7779 に基づいた測定。 ・単位B：音響パワーレベル (LwAd) 単位dB (A)：放射音圧レベル（バイスタンダ位置）

最大消費電力	Color MultiWriter 5850C 最大：1200 W、スリープモード時：1.0 W 平均：レディー時 44 W、稼動時 357 W Color MultiWriter 5800C 最大：1200 W、スリープモード時：1.0 W 平均：レディー時 44 W、稼動時 323 W
エネルギー消費効率	Color MultiWriter 5850C：66 kWh／年 区分：プリンター A Color MultiWriter 5800C：53 kWh／年 区分：プリンター A **注記** ・省エネ法（平成25 年3 月1 日付）で定められた測定方法による数値。
外形寸法	幅420 × 奥行480 × 高さ347 mm
質量	約24.1 Kg（消耗品含む）、約23.7 Kg（消耗品含まず）
使用環境	使用時 温度：10～32°C 湿度：10～85%（結露による障害は除く） 非使用時 温度：-20～40°C 湿度：5～85%（結露による障害は除く） **注記** ・使用直前の温度、湿度の環境、プリンター内部が設置環境になじむまで、使用される用紙の品質によってはプリント品質の低下を招く場合があります。
商品寿命	10万ページ、または5年の早い方 **注記** ・印刷可能ページ数は、A4サイズの普通紙を連続片面印刷した場合の目安であり、使用する用紙の種類、印刷環境などの印刷条件やプリンター電源投入頻度等により変動します。

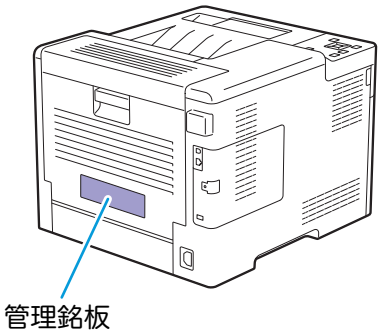
保証について

保証書について

本機には「保証書」が付いています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、「保証書」の記載内容に基づき、無料修理します。詳細については「保証書」をご覧ください。また、お買い求めの販売店またはサービス窓口へお問い合わせください。

注記

・本機の背面に製品の型番、SERIAL No.（製造番号）、定格、製造業者名、製造国が明記された管理銘板が貼ってあります（下図参照）。お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせをする際にこの内容をお伝えください。また、管理銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していないと、万一本機が保証期間内に故障した場合でも保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。



保守サービスについて

保守サービスは純正部品を使用することはもちろん、技術力においてもご安心してご利用いただける、当社指定の保守サービス会社をご利用ください。保守サービスには次のような種類があります。

- 契約保守
  年間一定料金で契約を結び、サービス担当者を派遣するシステムです。
- 出張修理
  サービス担当者がお客様のところに伺い、修理をするシステムです。料金は修理の程度、内容に応じて異なります。

保守サービスの種類

種　類	概　要	修理料金		お支払い方法	受付窓口 *1
		保証期間内	保証期間外		
契約保守	ご契約いただきますと、修理のご依頼に対しサービス担当者を派遣し、修理いたします。*3（原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引取りして修理する場合もありますのでご了承ください。）保守料は、システム構成に応じた一定料金を前払いしていただくため一部有償部品を除き、修理完了時にその都度お支払いいただく必要はありません。保守費用の予算化が可能になります。	機器構成、契約期間に応じた一定料金		契約期間に応じて一括払い	NECフィールディング（株）
スポット保守（出張修理）	修理のご依頼に対してサービス担当者を随時派遣し、修理いたします。*3（原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引取りして修理する場合もありますのでご了承ください。）ご契約は不要です。	無料*2	修理料 + 出張料	そのつど清算	

*1 受付窓口の所在地、連絡先などは添付の「NECサービス網一覧表」もしくは、インターネットのWeb ページ
http://www.fielding.co.jp/per/index.html
をご覧ください。

*2 本製品は「出張修理対象品」ですので、保証期間内の出張修理は無料です。出張修理の対象となっていない製品は出張料のみ有料となります。

*3 保守サービス会社は保守サービス実施にあたり、マイナンバー（個人番号）は取り扱いません。装置内に印字済み、若しくは印字途中の用紙や、記憶領域等が存在し、マイナンバー（個人番号）を含む情報が残っている可能性がある場合は引取修理を承れませんので、必ずお客様立会いの下に修理を行うこととさせて頂きます。

参照

・保守サービスの最新情報については、インターネットのWeb ページ
http://www.nec.co.jp/products/laser/support/
をご覧ください。

プリンターの耐久性について

Color MultiWriter 5850C、Color MultiWriter 5800Cの耐久性は、印刷ページ数が10万枚、または使用年数5年のいずれか早い方です。

消耗品の寿命について

プリンター型番	品名	印字可能枚数	消耗品型番
PR-L5850C	トナーカートリッジ（ブラック）*1	約3,000 ページ	PR-L5850C-14
	トナーカートリッジ（シアン）*1	約3,000 ページ	PR-L5850C-13
	トナーカートリッジ（マゼンタ）*1	約3,000 ページ	PR-L5850C-12
	トナーカートリッジ（イエロー）*1	約3,000 ページ	PR-L5850C-11
	大容量トナーカートリッジ（ブラック）*1	約6,000 ページ	PR-L5850C-19
	大容量トナーカートリッジ（シアン）*1	約6,000 ページ	PR-L5850C-18
	大容量トナーカートリッジ（マゼンタ）*1	約6,000 ページ	PR-L5850C-17
	大容量トナーカートリッジ（イエロー）*1	約6,000 ページ	PR-L5850C-16
PR-L5800C	トナーカートリッジ（ブラック）*2	約2,000 ページ	PR-L5800C-14
	トナーカートリッジ（シアン）*2	約2,000 ページ	PR-L5800C-13
	トナーカートリッジ（マゼンタ）*2	約2,000 ページ	PR-L5800C-12
	トナーカートリッジ（イエロー）*2	約2,000 ページ	PR-L5800C-11
共通品	ドラムカートリッジ（ブラック）	約50,000 ページ	PR-L5800C-31K
	ドラムカートリッジ（シアン）	約50,000 ページ	PR-L5800C-31C
	ドラムカートリッジ（マゼンタ）	約50,000 ページ	PR-L5800C-31M
	ドラムカートリッジ（イエロー）	約50,000 ページ	PR-L5800C-31Y
	トナー回収ボトル	約30,000 ページ	PR-L5800C-33

*1 Color MultiWriter 5850C専用です。Color MultiWriter 5800Cにはご利用いただけません。

*2 Color MultiWriter 5800C専用です。Color MultiWriter 5850Cにはご利用いただけません。

注記

・トナーについて

JIS X 6932 (ISO/IEC 19798) に基づく公表値です。実際の印刷可能ページ数は、印刷内容や用紙サイズ、用紙の種類、使用環境などや、本体の電源ON/OFFに伴う初期化動作や、プリント品質保持のための調整動作などにより変動し、公表値と大きく異なることがあります。
JIS X 6932 (ISO/IEC 19798) とはカラー電子写真式プリンター用トナーカートリッジの印刷可能ページ数を測定するための試験方法を定めた規格です。

・カラー／白黒のプリンタードライバー設定について

お買い上げ時のプリンタードライバー設定（初期設定）で、モノクロ文書のみを印刷した場合、機械の構造上カラートナーも消費することがあります。モノクロ文書のみを印刷する場合に、プリンタードライバーのカラーモードの設定をカラーから白黒に変更することで、カラートナーを消費せずに印刷することができます。

・ドラムについて

印刷可能ページ数はA4サイズ、片面プリント、像密度各色5%、カラー、１度にプリントするページ数を平均3.1枚として連続プリントした使用条件における参考値です。実際の印刷可能ページ数は、以上の諸条件の変更に加え、連続プリントページ数、用紙サイズ、用紙の種類、用紙送り方向、給紙・排紙トレイの設定、白黒カラー自動選択やその他のモード選択の使用状況、本体の電源ON/OFFに伴う初期化動作、プリント品質維持のための調整動作などの使用環境、設置環境の温度・湿度により変動し、参考値の半分以下になる場合があります。あくまでも目安としてお考えください。

・トナー回収ボトルについて
印刷可能ページ数は、A4サイズ、片面プリント、像密度各色5%、カラー・モノクロ比率5：5 でかつ、1度にプリントするページ数を平均3.1枚として連続印刷したときの参考値です。実際の交換サイクルは印刷条件、出力内容、用紙サイズ、種類や環境によって異なります。

補修用性能部品について

弊社は、本製品の消耗品および機械の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を、機械本体の製造終了後7年間保有しています。

情報サービスについて

プリンター製品に関する最新情報
インターネット［NEC Web サイト］
URL：http://jpn.nec.com/printer/laser/

プリンターに関する技術的なご質問、ご相談
NECプリンタインフォメーションセンター
フリーダイヤル　0120-614-552
（受付時間：9:00～17:00　月曜日～金曜日　＊土・日・祝日および当社所定の休日を除く）
携帯電話・PHSからでもご利用になれます。（電話番号をよくお確かめの上おかけください。）

MultiWriterサポート窓口について

<table>
<tr><th colspan="3">MultiWriterサポート窓口</th></tr>
<tr><td rowspan="2">修理受付窓口</td><td>保守契約（サポートパック含む）されているお客様</td><td>専用フリーダイヤルへおかけください。（契約後 担当営業または登録窓口より案内）
受付時間：年中無休24時間</td></tr>
<tr><td>保守契約されていないお客様</td><td rowspan="2">NECプリンタインフォメーションセンター
フリーダイヤル　0120-614-552
（受付時間：9:00～17:00　月曜日～金曜日
＊土・日・祝日および当社所定の休日を除く）

携帯電話・PHSからでもご利用になれます。
（電話番号をよくお確かめの上おかけください。）</td></tr>
<tr><td colspan="2">使い方相談</td></tr>
</table>

使用済みカートリッジ回収について

●方法1

直接回収

使用済みカートリッジをご購入時の梱包箱に入れて、下記連絡先にご連絡ください（フリーダイヤル）。また、インターネット（電子メール）を利用した受け付けも行っております。1本からでも、当社指定の宅配業者がお客様のところへ回収にお伺いいたします。なお、送料をお支払いいただく必要はありません。

- 連絡先
  EP カートリッジ回収センター
  TEL：0120-30-6924　FAX：0120-30-8049
  E-MAIL：ep-kai@mua.biglobe.ne.jp
- 受付時間
  9:00 ～ 17:00（土・日・祝日を除く）

●方法2

お持ち込みいただく場合

お買い上げの販売店までお持ちください。購入時の梱包箱をご利用くださいますと便利です。

補足

・回収を希望されないカートリッジ等につきましては、お客様が適切に処分してくださいますようお願い申し上げます。

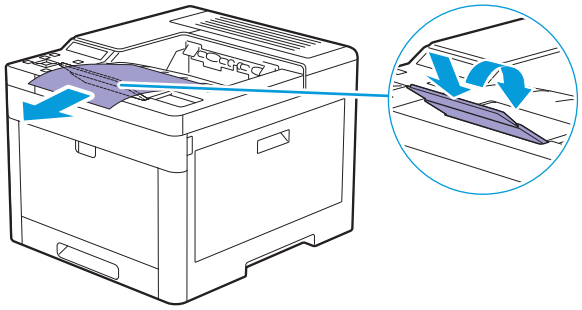
本機を移動する

注記

・トレイモジュール（トレイ2）（オプション）と専用キャビネット（オプション）が装着されている場合は、本機を移動する前に取り外してください。詳しくは、「トレイモジュール（トレイ2）（オプション）と専用キャビネット（オプション）を取り外す (P.172)」を参照してください。

1. 本機の電源を切り、すべてのケーブルを取り外します。

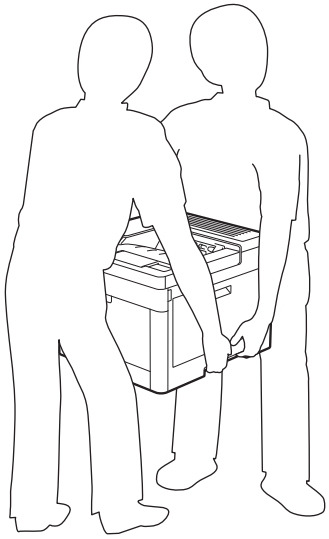
2. 排出トレイの用紙を取り除き、排出延長トレイを戻します。



3. 本機を持ち上げて、ゆっくりと移動します。

注記

・必ず2人で運んでください。



補足

・長距離を移動する場合は、トナーカートリッジを取り外してから本機を箱に詰めてください。移動中にトナーがこぼれるのを防ぎます。トナーカートリッジの取り外しかたついては「トナーカートリッジを交換する (P.104)」を参照してください。

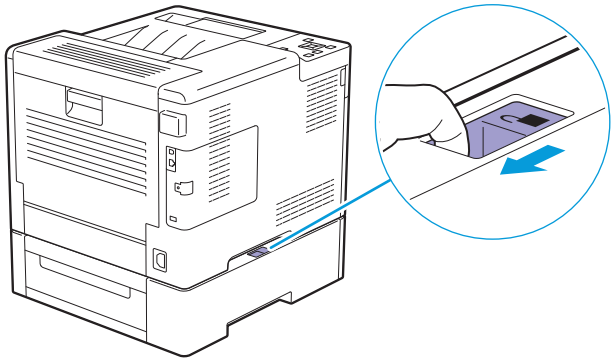
オプション製品とWi-Fiアダプターを取り外す

補足

・本機を移動する場合や本機とオプション製品を輸送する場合は、Wi-Fiアダプター、トレイモジュール（トレイ2）（オプション）、専用キャビネット（オプション）、および専用キャスター台（オプション）を本機から取り外します。

トレイモジュール（トレイ 2）（オプション）を取り外す

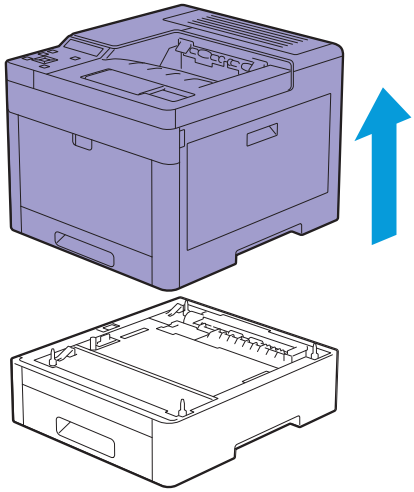
1. **本機の電源を切り、すべてのケーブルを取り外します。**
2. **トレイモジュール（トレイ2）（オプション）のロックスイッチをスライドさせ、ロックを外します。**



3. **本機をゆっくりとトレイモジュール（トレイ2）（オプション）から持ち上げて、平らな場所に置きます。**

注記

・必ず2人で持ち上げてください。

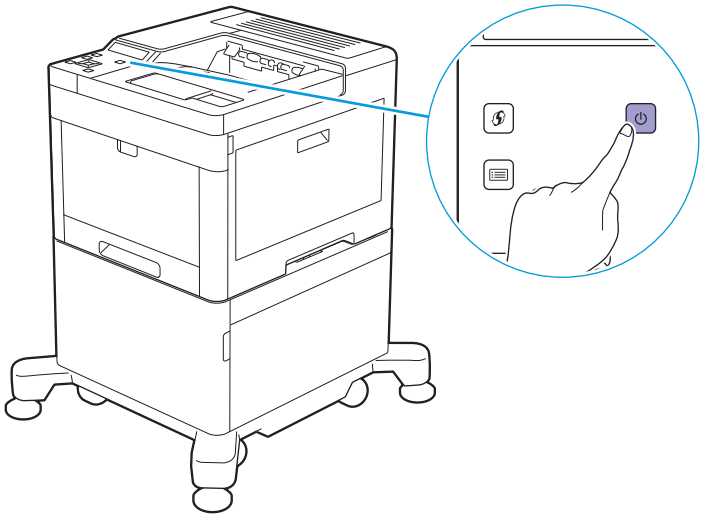


専用キャビネット（オプション）を取り外す

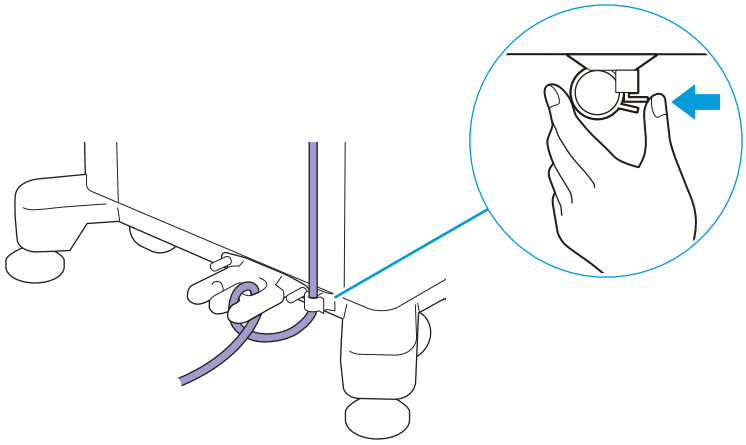
1. **本機の電源を切ります。**

参照

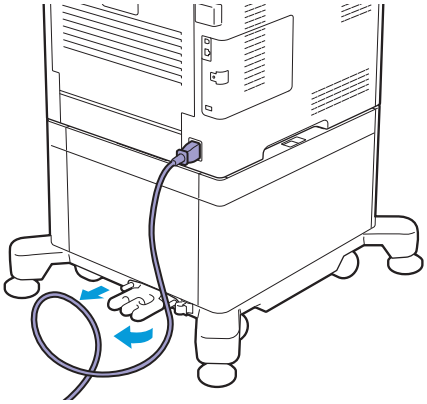
・電源を切る方法については、「電源を切る (P.18)」を参照してください。



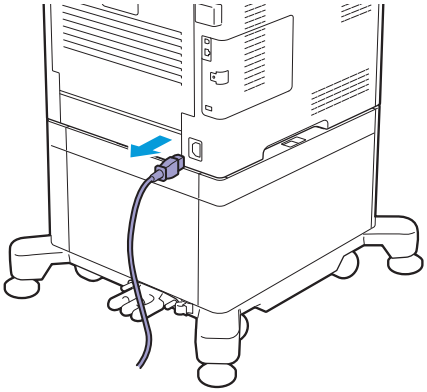
2. **ケーブル固定具のツメを押して固定具を開き、電源コードを取り外します。**



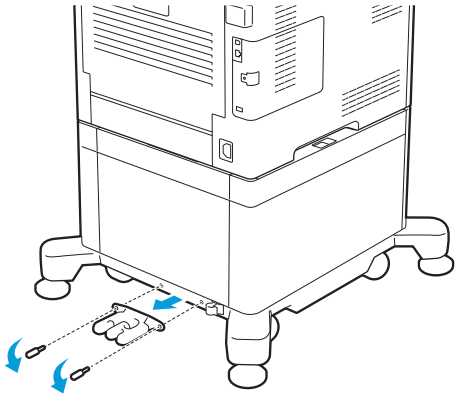
3. **ケーブルフックから電源コードを取り外します。**



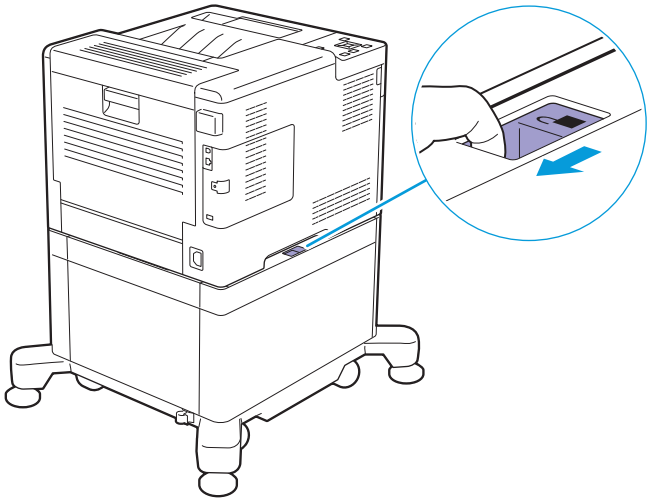
4. 電源コードを抜き、本機の背面からすべてのケーブルを取り外します。



5. ケーブルフックを留めている2つのねじを緩め、フックを専用キャビネット（オプション）から取り外します。



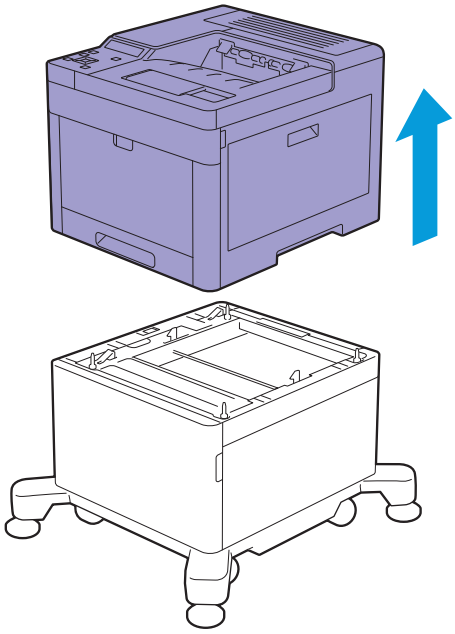
6. 専用キャビネット（オプション）のロックスイッチをスライドさせ、ロックを外します。



7. 本機をゆっくりと専用キャビネット（オプション）から持ち上げて、平らな場所に置きます。

注記

・必ず2人で持ち上げてください。

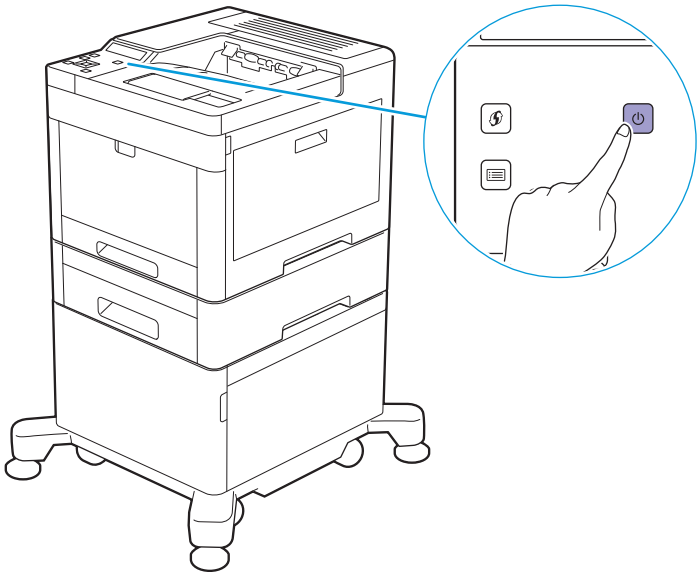


トレイモジュール（トレイ 2）（オプション）と専用キャビネット（オプション）を取り外す

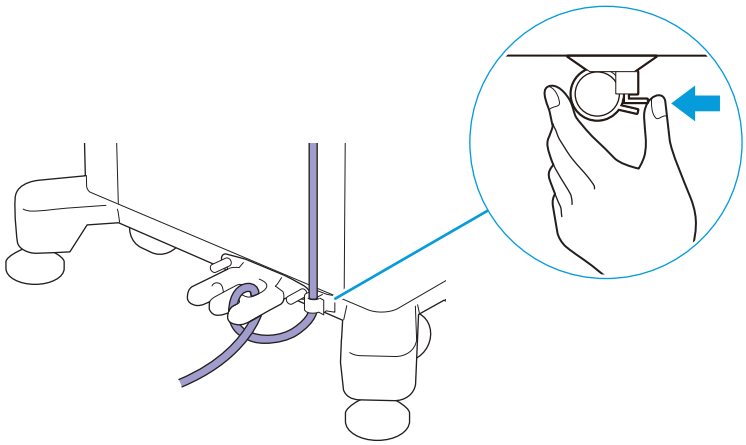
1. 本機の電源を切ります。

参照

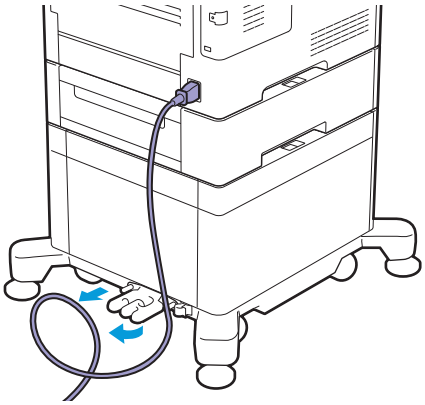
・電源を切る方法については、「電源を切る (P.18)」を参照してください。



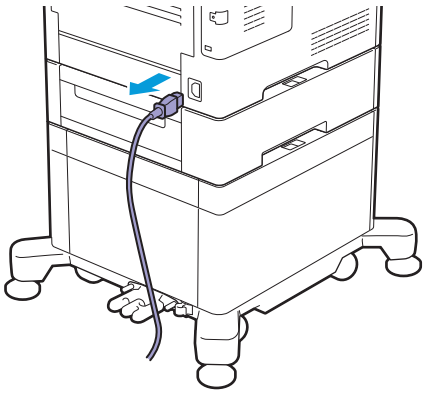
2. ケーブル固定具のツメを押して固定具を開き、電源コードを取り外します。



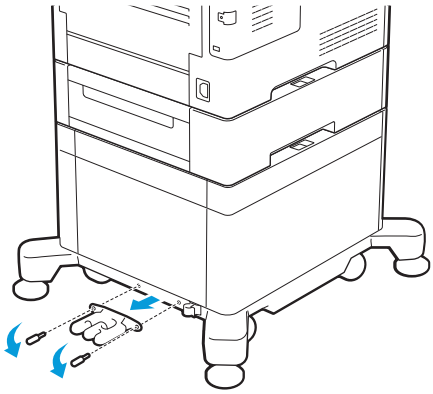
3. ケーブルフックから電源コードを取り外します。



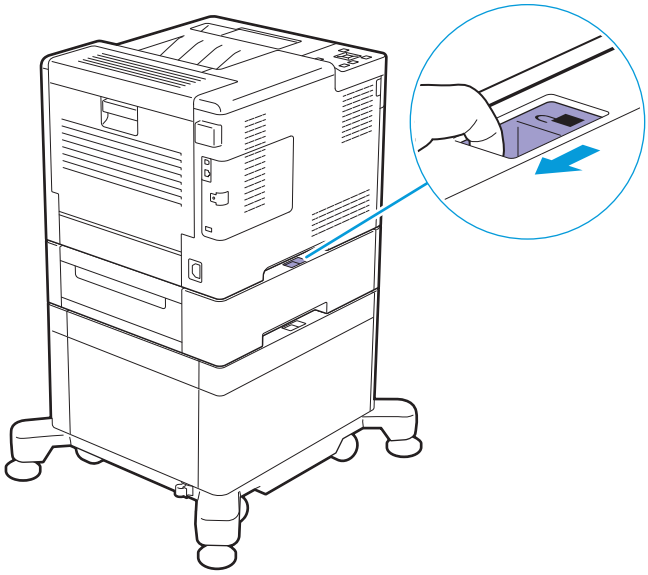
4. 電源コードを抜き、本機の背面からすべてのケーブルを取り外します。



5. ケーブルフックを留めている2つのねじを緩め、フックを専用キャビネット（オプション）から取り外します。



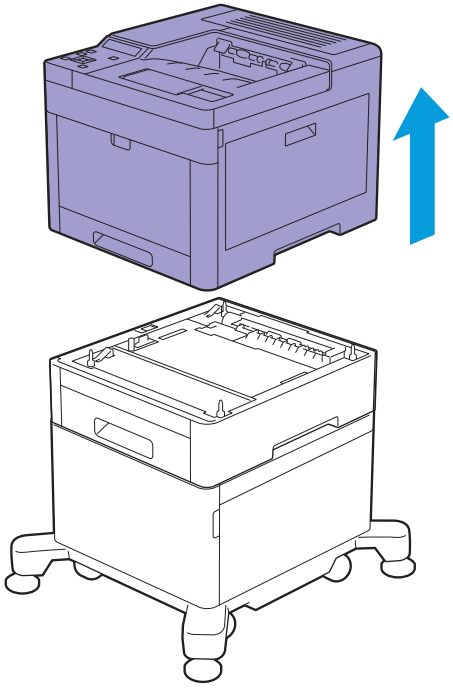
6. トレイモジュール（トレイ2）（オプション）のロックスイッチをスライドさせ、ロックを外します。



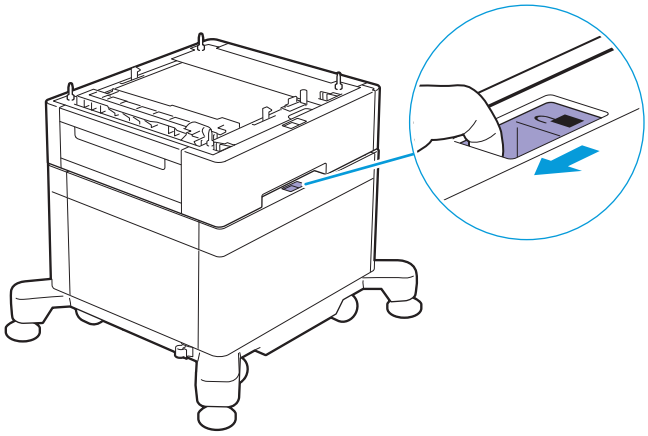
7. 本機をゆっくりとトレイモジュール（トレイ2）（オプション）から持ち上げて、平らな場所に置きます。

注記

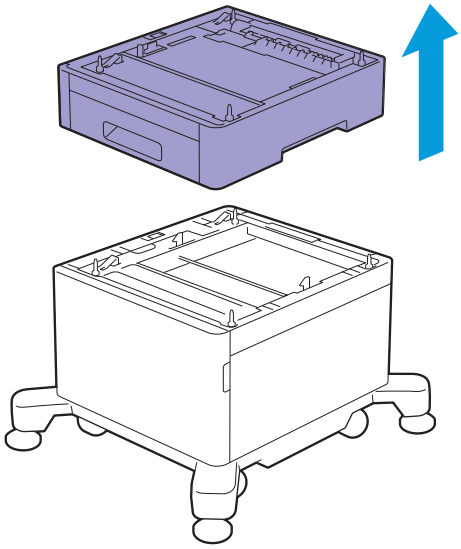
・必ず2人で持ち上げてください。



8. 専用キャビネット（オプション）のロックスイッチをスライドさせ、ロックを外します。



9. トレイモジュール（トレイ2）（オプション）をゆっくりと専用キャビネット（オプション）から持ち上げて、平らな場所に置きます。

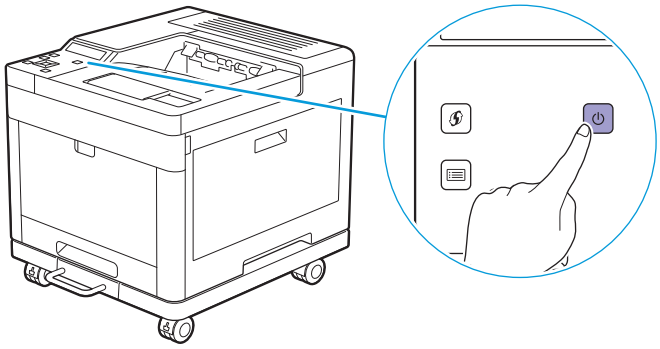


専用キャスター台（オプション）を取り外す

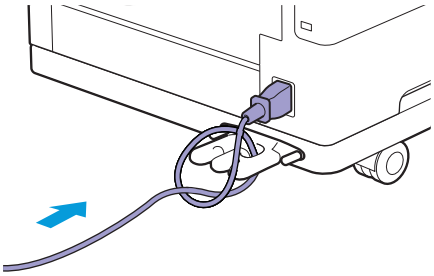
1. 本機の電源を切ります。

参照

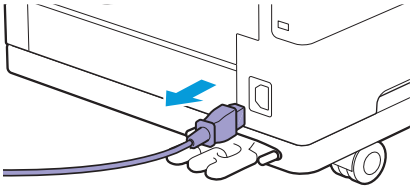
・電源を切る方法については、「電源を切る (P.18)」を参照してください。



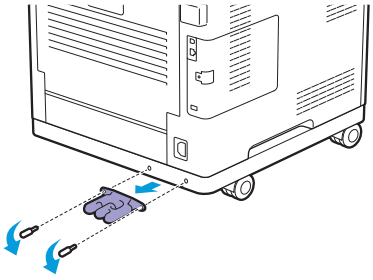
2. 電源コードをケーブルフックから取り外します。



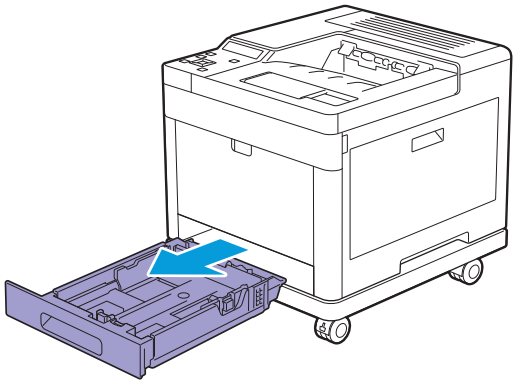
3. 電源コードを抜き、すべてのケーブルを本機の背面から取り外します。



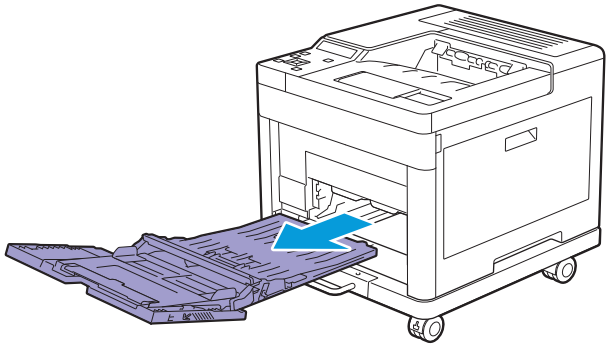
4. ケーブルフックを留めている2つのねじを緩め、フックを専用キャスター台から取り外します。



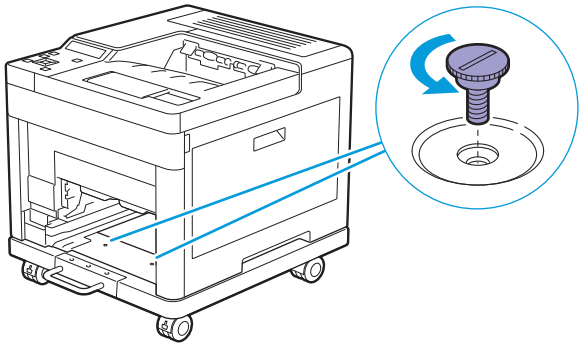
5. トレイ1を本機から取り外します。



6. 手差しトレイを本機から取り外します。



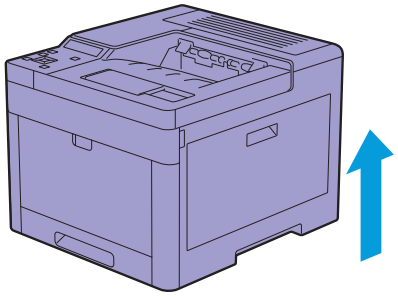
7. 専用キャスター台を留めている2つのねじを緩めます。

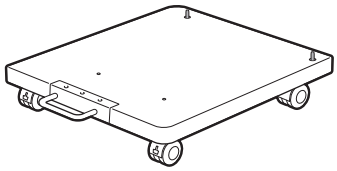


8. 本機をゆっくりと専用キャスター台から持ち上げて、平らな場所に置きます。

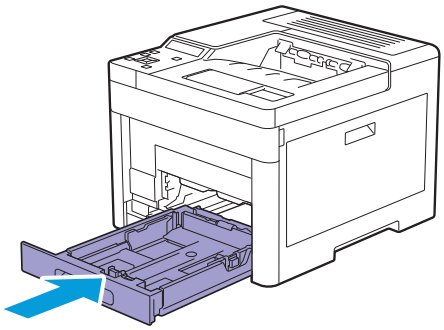
注記

・必ず2人で持ち上げてください。

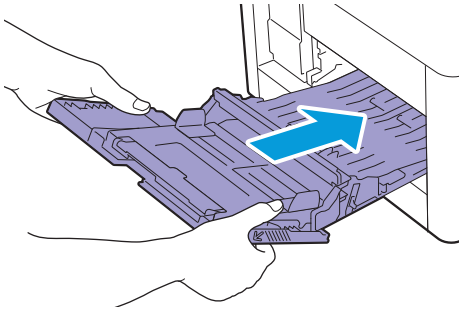




9. トレイ1を本機に差し込み、奥に突き当たるまでゆっくりと挿入します。



10. 手差しトレイを本機に差し込みます。

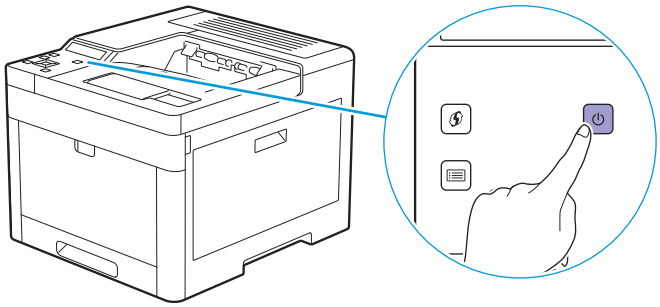


Wi-Fi アダプターを取り外す

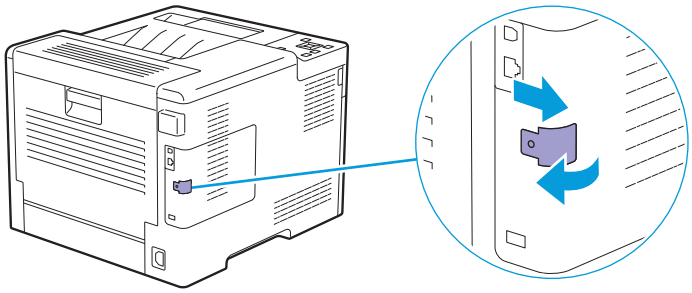
1. 本機の電源を切ります。

参照

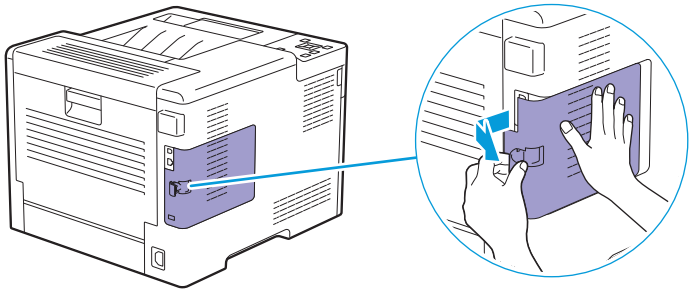
・電源を切る方法については、「電源を切る (P.18)」を参照してください。



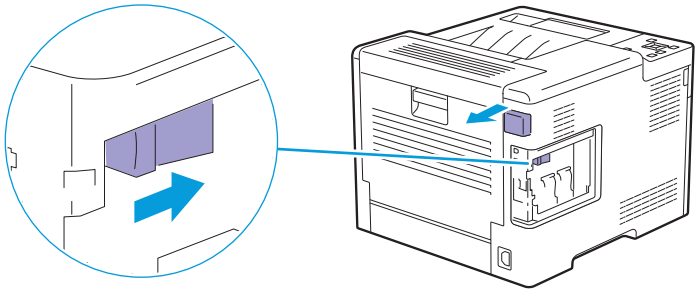
2. ラッチを右にスライドさせ、手前に開きます。



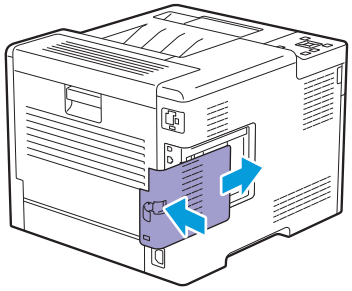
3. カバーを片方の手で押えながら、もう一方の手でラッチを手前に引き、カバーを取り外します。



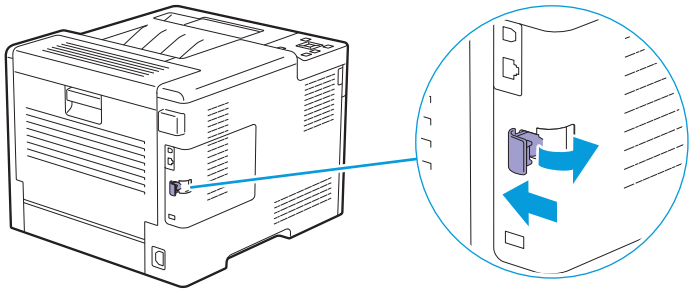
4. レバーを本機の前方向に押し、Wi-Fiアダプターを引き出します。



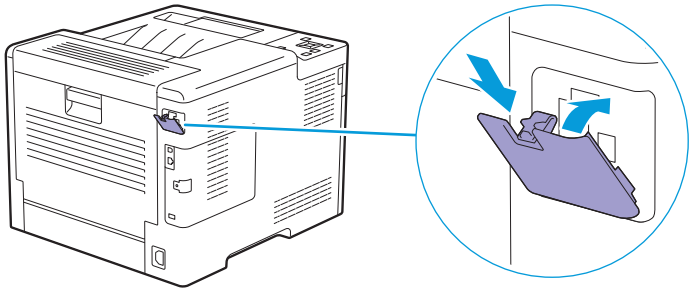
5. カバーを取り付け、カバーを本機の前方向にスライドさせます。



6. ラッチを本機の前方向に倒してから左にスライドさせ、カバーをロックします。



7. Wi-Fiアダプターソケットのカバーを取り付けます。



最新のソフトウェアを入手する

最新のソフトウェアは弊社公式サイトからダウンロードできます。
ここでは、Windows® 7およびWindows® 10を例に手順を説明します。

補足

・通信費用はお客様の負担になりますのでご了承ください。

1. **［スタート］＞［デバイスとプリンター］をクリックします。**
   Windows® 10の場合は、スタートボタンを右クリックし、［コントロールパネル］＞［ハードウェアとサウンド］＞［デバイスとプリンター］をクリックします。
2. **本機のアイコンを右クリックし、［プリンターのプロパティ］を選びます。**
3. **［プリンター構成］タブ＞［バージョン情報］をクリックします。**
4. **［NECホームページ］をクリックします。**
   Webブラウザーが起動し、弊社公式サイトが表示されます。
5. **表示されるサイト上の指示に従って、必要なソフトウェアをダウンロードします。**

補足

・ダウンロードサイトのアドレス（URL）は次のとおりです。
http://jpn.nec.com/printer/laser/download/
・ソフトウェア機能の最新情報については、ソフトウェアのヘルプを参照してください。

本機のファームウェアを更新する

弊社公式サイトでは、本機のファームウェア（本機に組み込まれたソフトウェア）をお使いのコンピューターから更新できるツールを提供しています。最新のファームウェアおよび更新ツールは、次のURLからダウンロードできます。

http://jpn.nec.com/printer/laser/download/

表示されるサイト上の指示に従って、必要なファームウェアや更新ツールをダウンロードしてください。

補足

・通信費用はお客様の負担になりますのでご了承ください。

発行者 ― 日本電気株式会社